

# 観光指標モニタリング 年次レポート

## 2024年

2025年6月 せとうちDMO

SETOUCHI  
REFLECTION TRIP  
- JAPAN -  
setouchitrip.com

PASSPORT



United States  
of America

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

# 1. ①訪日外客数の推移\_年別\_全国籍

- 2015年以降、訪日外国人旅行者は年々増加し、2019年には過去最高となる約3,188万人を記録した。その後、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年には約24万人にまで落ち込んだが、2022年以降は水際対策の緩和により回復基調に転じた。2023年には約2,500万人、2024年には約3,687万人と、コロナ前を上回る過去最高を更新した。
- この回復を牽引しているのは、円安による日本旅行の割安感、国際航空路線の回復、そして欧米豪など長期滞在志向の高い市場からの旅行需要である。今後の更なる成長に向けては、地方への誘客促進や、高付加価値な宿泊・体験型観光コンテンツの整備が重要なカギとなる。

訪日外客数の推移

(万人)

4,000

| 年    | 訪日外客数(人)   |
|------|------------|
| 2015 | 19,737,409 |
| 2016 | 24,039,700 |
| 2017 | 28,691,073 |
| 2018 | 31,191,856 |
| 2019 | 31,882,049 |
| 2020 | 4,115,828  |
| 2021 | 245,862    |
| 2022 | 3,832,110  |
| 2023 | 25,066,350 |
| 2024 | 36,870,148 |

500

0

1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

3,687

3,188

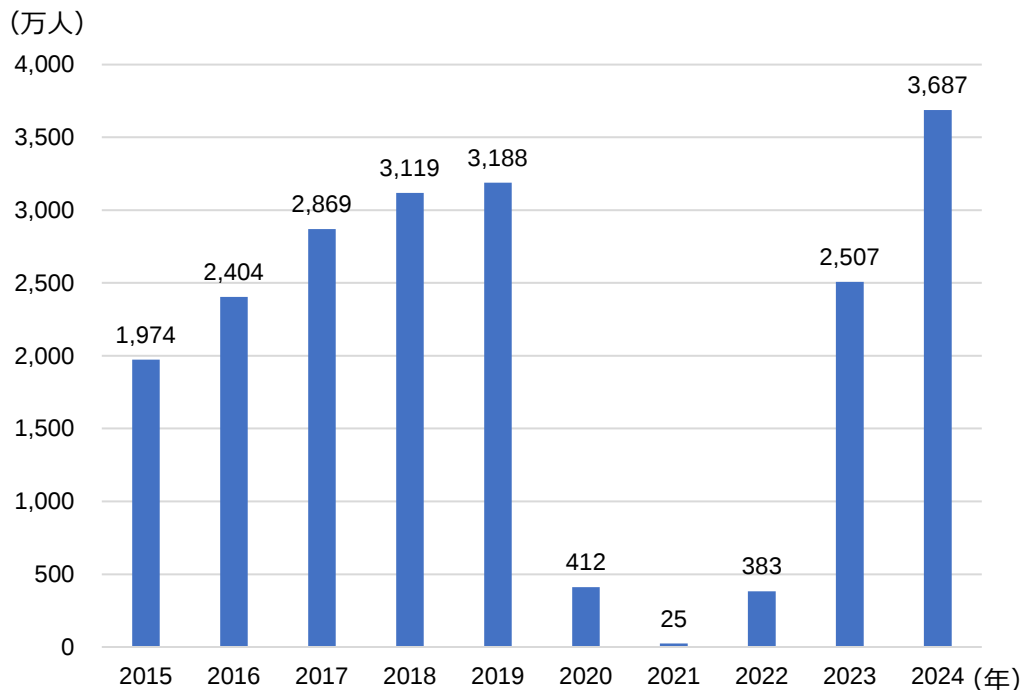
1,974

2019年比  
115.6%

# 1. ①訪日外客数の推移と増減要因

- インバウンドは2015年以降、大きく分けて「成長 → 激減 → 回復・拡大」という流れをたどってきた。その推移は国際情勢・天災・為替・イベント・外交・政策の影響を大きく受けている。
- 成長期（2015～2019年）の訪日外客数は、2019年には3,188万人と過去最高に達した。この時期には訪日ビザ緩和（中国向け）、ラグビーワールドカップ（2019年）、瀬戸内国際芸術祭（2016・2019年）などがプラスに寄与している。
- 激減期（2020～2022年）には新型コロナウイルス流行により訪日客が激減したものの、回復・拡大期には円安や旅行先としての日本の人気上昇などを背景に急回復し、2024年には過去最高の3,687万人となった。

訪日外国人旅行者数の推移



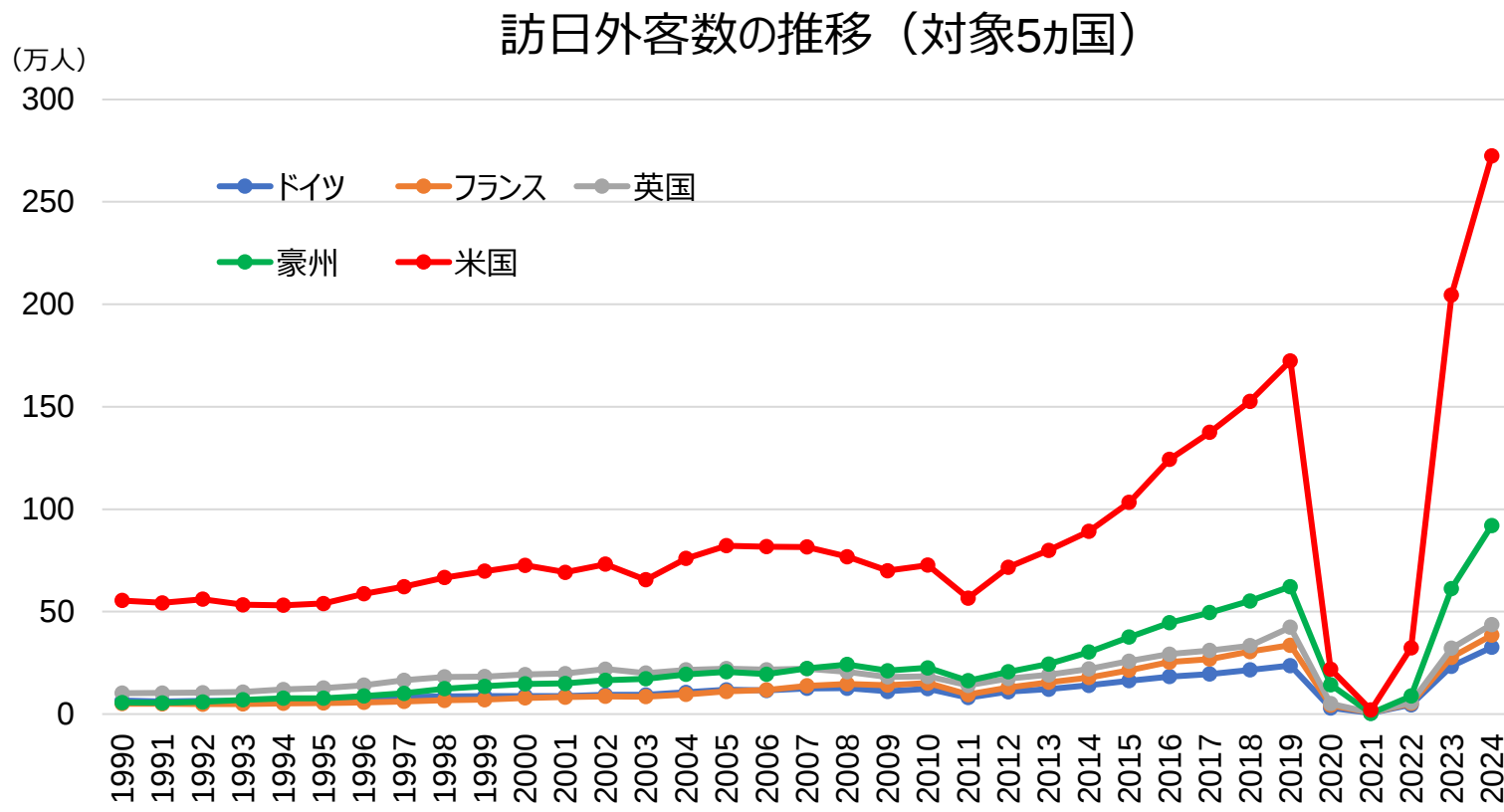
出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

訪日観光への具体的影響事例（2015～2024）

| 事例            | 年                | 区分   | 内容・影響                       |
|---------------|------------------|------|-----------------------------|
| 熊本地震          | 2016             | 天災   | 九州方面への訪日が一時的に激減。台湾・韓国客が大幅減  |
| 北海道胆振東部地震     | 2018             | 天災   | 札幌・新千歳空港が一時閉鎖、訪日客等に大きな影響    |
| 能登半島地震        | 2024             | 天災   | 北陸方面の観光需要が一時低下。地域経済と観光業に打撃  |
| 円安進行          | 2023～2024        | 為替   | 訪日旅行が“割安”に。欧米・中韓などからの旅行熱が上昇 |
| ラグビーワールドカップ   | 2019             | イベント | 欧州・豪州客が急増。地方開催都市にも恩恵        |
| 瀬戸内国際芸術祭      | 2016, 2019, 2022 | イベント | 多様な国籍のインバウンドから注目。地方×アートの好事例 |
| コロナ禍・インバウンド激減 | 2020～2022        | 疫病   | 国境封鎖で訪日客がほぼゼロ。観光業は大打撃       |
| 中国向けビザ免除      | 2024             | 政策   | 訪日中国人の回復に拍車。富裕層や長期滞在者が増加    |
| 日韓関係悪化        | 2019             | 外交   | 韓国からの訪日が急減。特に福岡・九州が影響大      |

# 1. ①訪日外客数の推移\_年別\_対象5カ国

- 国・地域ごとに回復のスピードにバラつきがあるものの、欧米豪の対象5カ国は2019年比で3～5割程度増加している。
- 特に、米国は円安のほか、直行便の早期回復や長期休暇を取得しやすい文化、日本文化への関心の高さなどを背景に大きく増加している。
- 富裕層による高付加価値旅行の需要や、安全で安心なアジアの渡航先としての日本の評価も追い風となっている。



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

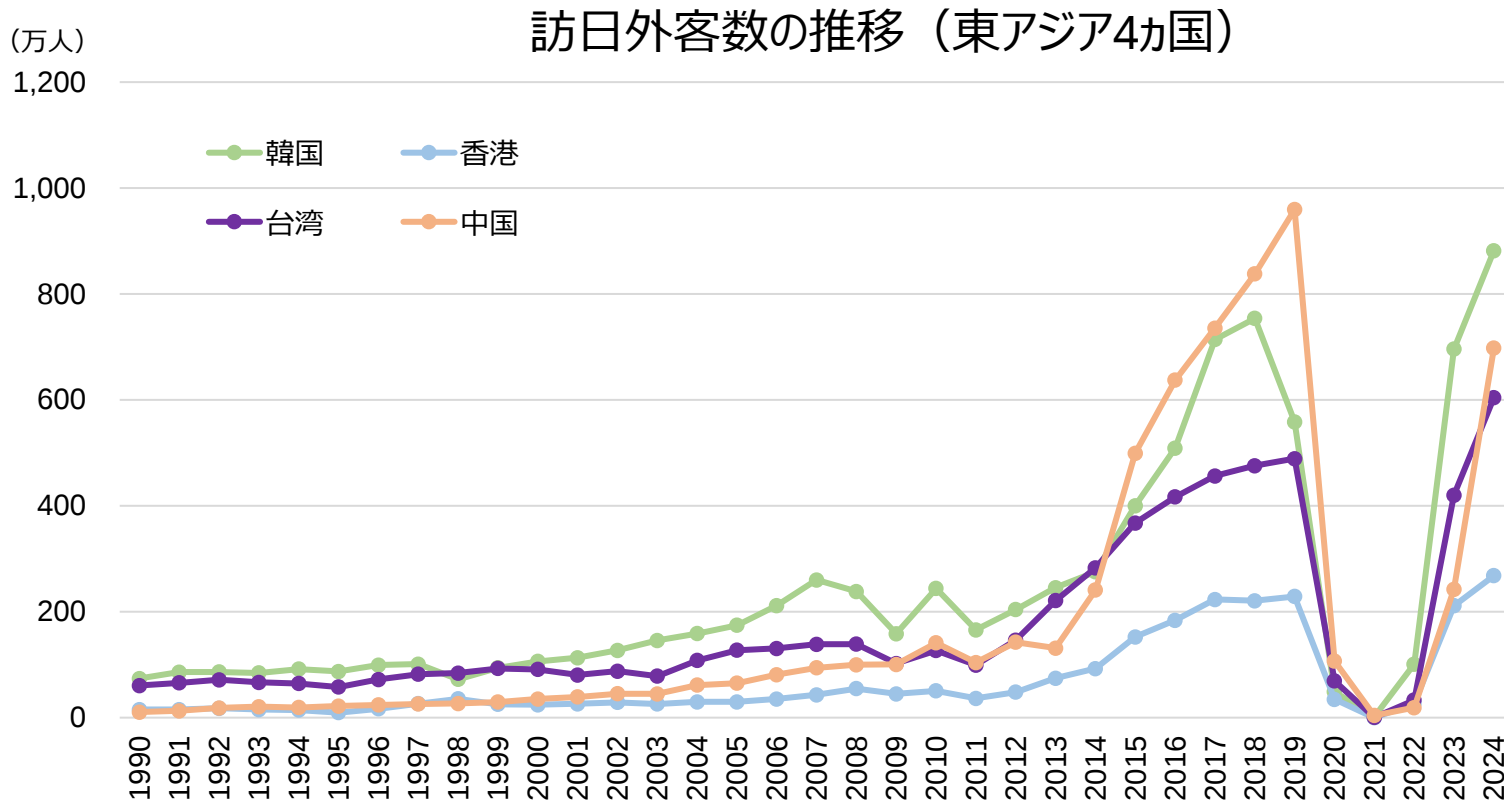
（単位：人、％）

| 国    | 2019      | 2024      | 伸び率  |
|------|-----------|-----------|------|
| ドイツ  | 236,544   | 325,870   | 37.8 |
| フランス | 336,333   | 385,071   | 14.5 |
| 英国   | 424,279   | 437,230   | 3.1  |
| 豪州   | 621,771   | 920,196   | 48.0 |
| 米国   | 1,723,861 | 2,724,594 | 58.1 |

※2023年はコロナ禍の制限影響のため2019年と比較

# 1. ①訪日外客数の推移\_年別\_東アジア4カ国

- 訪日外客数の多くを占める東アジア圏をみると、韓国、香港、台湾がコロナ前の2019年の水準を超えたほか、回復が遅れていた中国もコロナ前の7割程度の水準まで回復が進んでいる。
- 中国では2023年まで海外旅行に対する政府の制限や厳格な出入国管理が続いていたため、回復が他国に比べて遅れていたが、団体旅行の解禁やビザ発給の緩和などを背景に、2024年から中国人観光客の訪日が明らかに増加している。



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

(単位：人、%)

| 国  | 2019      | 2024      | 伸び率   |
|----|-----------|-----------|-------|
| 韓国 | 5,584,597 | 8,817,765 | 57.9  |
| 香港 | 2,290,792 | 2,683,391 | 17.1  |
| 台湾 | 4,890,602 | 6,044,316 | 23.6  |
| 中国 | 9,594,394 | 6,981,342 | -27.2 |

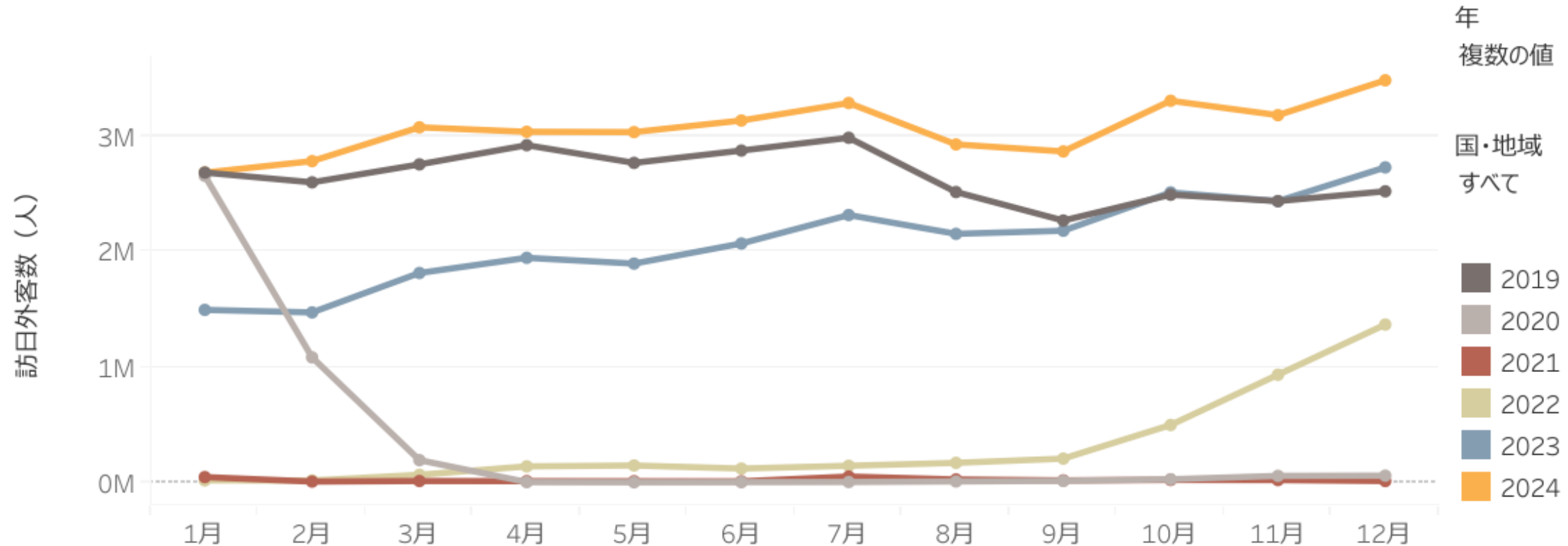
※2023年はコロナ禍の制限影響のため2019年と比較

# 1. ①訪日外客数の推移\_月別\_全国籍

- 2024年におけるインバウンド全体の動きをみると、多くの月でコロナ前の水準を超えている。
- 特に2024年夏以降はコロナ前（2019年）を大幅に上回る月も多く、回復というよりは拡大期（インバウンド市場全体が成長フェーズ）に入っている。

© 日本政府観光局（JNTO）

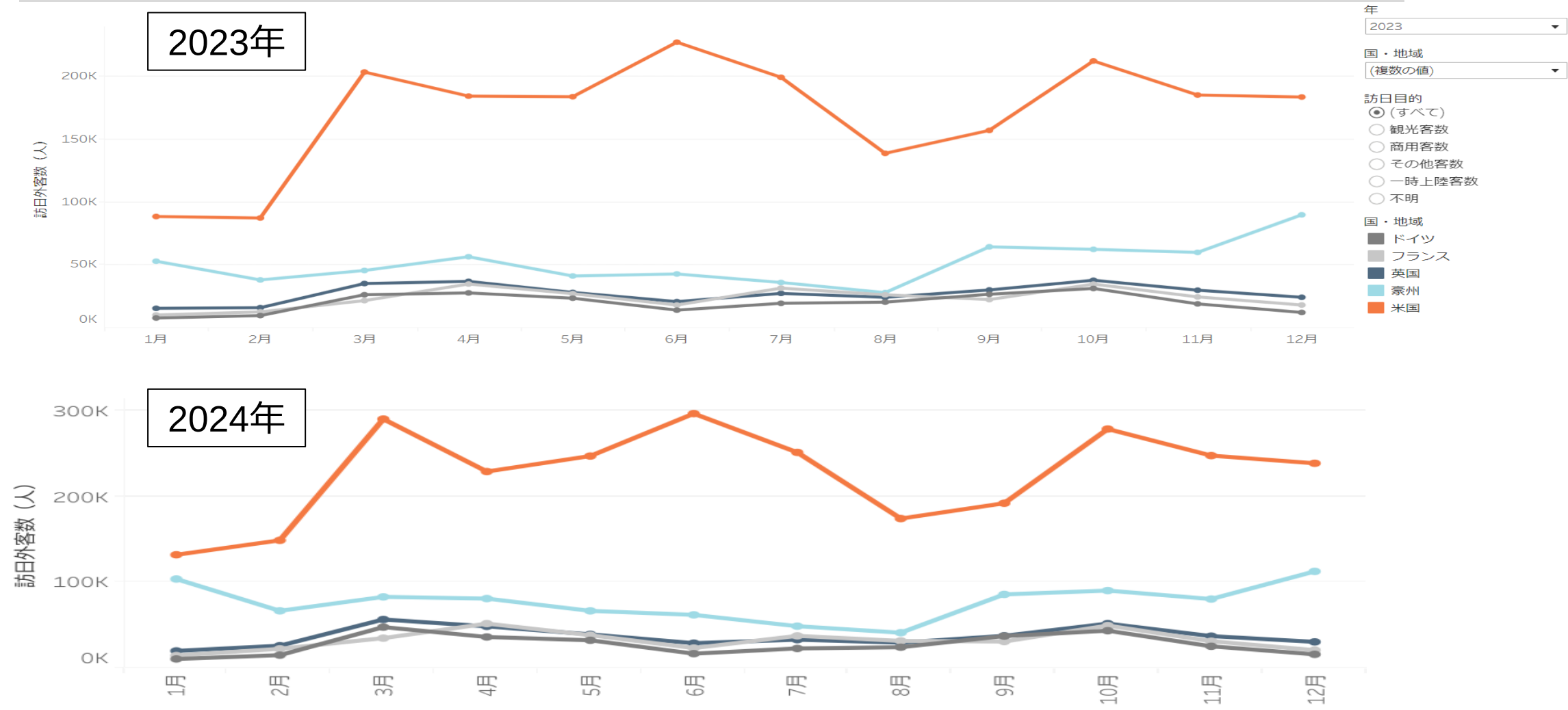
## 月別 訪日外客数の推移



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

# 1. ①訪日外客数の推移\_月別\_対象5カ国【2023年/2024年】

- 2023年と2024年のインバウンドの季節推移はほぼ同じ傾向であり、市場全体が確実に拡大している。
- 今後は季節性を踏まえ、需要拡大の持続が課題となる。繁忙期には受け入れ体制を強化し、閑散期には需要掘り起こしを図るなど、季節ごとの戦略が重要となる。これにより観光産業のさらなる成長が期待できる。

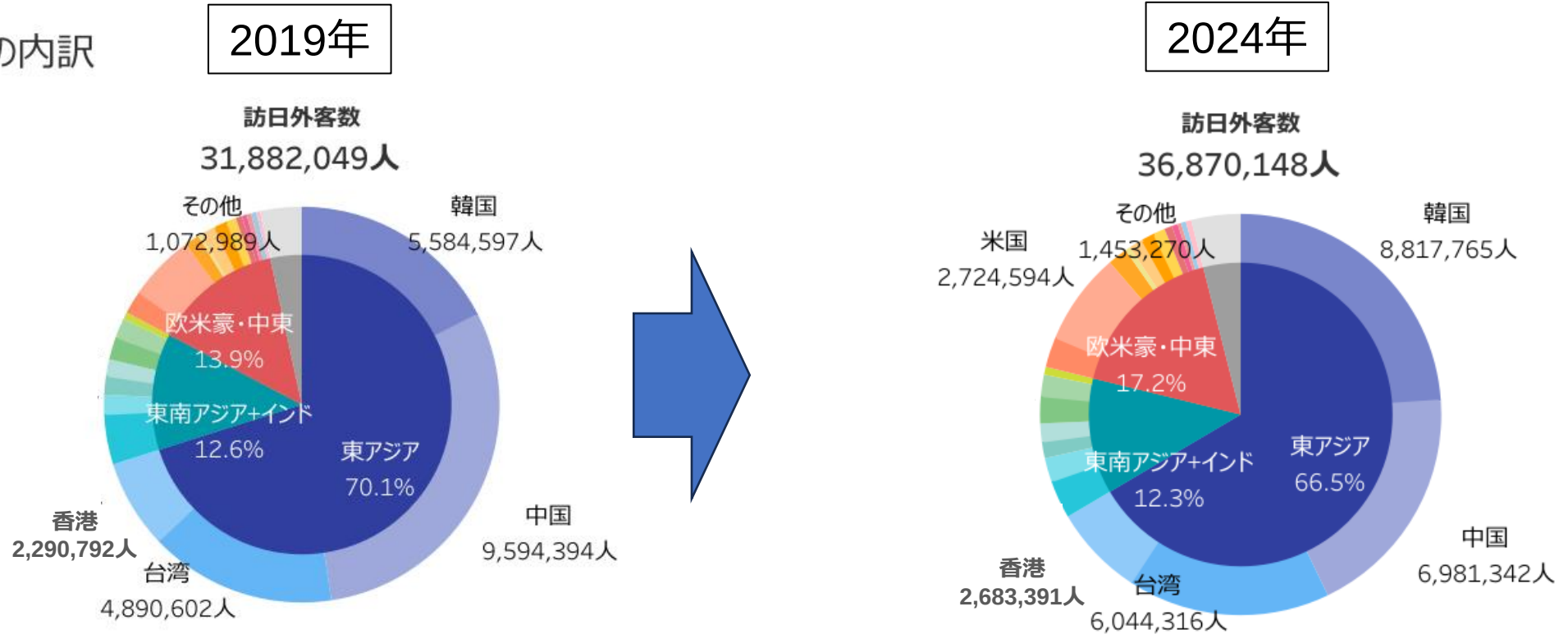


出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

# 1. ①訪日外客数の内訳【2019年/2024年】

- 2019年は東アジアが70.1%を占めているが、2024年の同割合は66.5%となっており、訪日客の国籍構成に変化が起きていることを示している。
- これは欧米豪など東アジア以外の市場が回復・拡大し、全体の多様化が進んでいることを意味する。
- 今後は各市場の特性に応じた誘客戦略がより重要となる。

## 各国・地域別の内訳

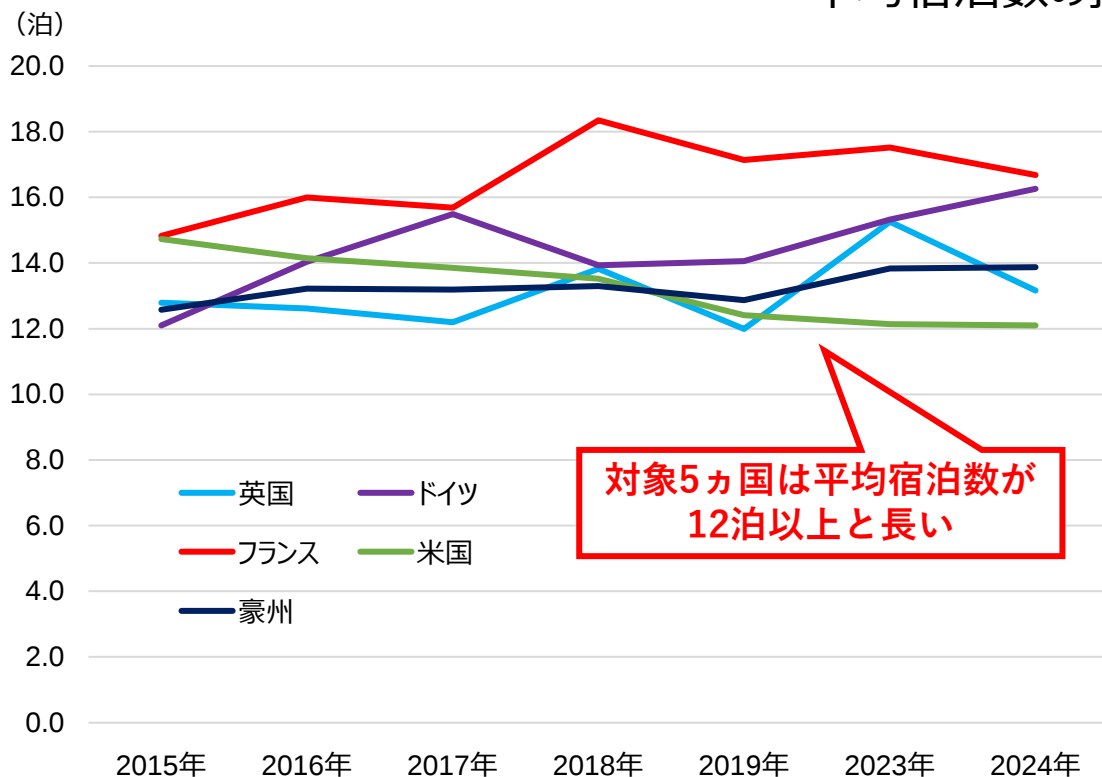


出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

# 1. ②平均宿泊数の推移\_年別\_対象5カ国

- 欧米豪5カ国はいずれも平均宿泊日数が12日以上と長い。特にフランス（16.7日）やドイツ（16.3日）などは2015年比で大幅に伸長しており、地方や広域観光への関心の高まりが示唆されている。
- 一方、米国の宿泊数は2015年の14.7日から12.1日へと短縮しており、日本単体での長期滞在から、日本を含む複数のアジア諸国を周遊する傾向へ移行している可能性がある。あわせて、リピーターによる短期・目的型旅行の増加も影響していると考えられる。

平均宿泊数の推移（対象5カ国）



(単位：泊)

|      | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2023年 | 2024年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 英国   | 12.8  | 12.6  | 12.2  | 13.8  | 12.0  | 15.3  | 13.2  |
| ドイツ  | 12.1  | 14.0  | 15.5  | 13.9  | 14.1  | 15.3  | 16.3  |
| フランス | 14.8  | 16.0  | 15.7  | 18.4  | 17.1  | 17.5  | 16.7  |
| 米国   | 14.7  | 14.1  | 13.8  | 13.5  | 12.4  | 12.1  | 12.1  |
| 豪州   | 12.6  | 13.2  | 13.2  | 13.3  | 12.9  | 13.8  | 13.9  |

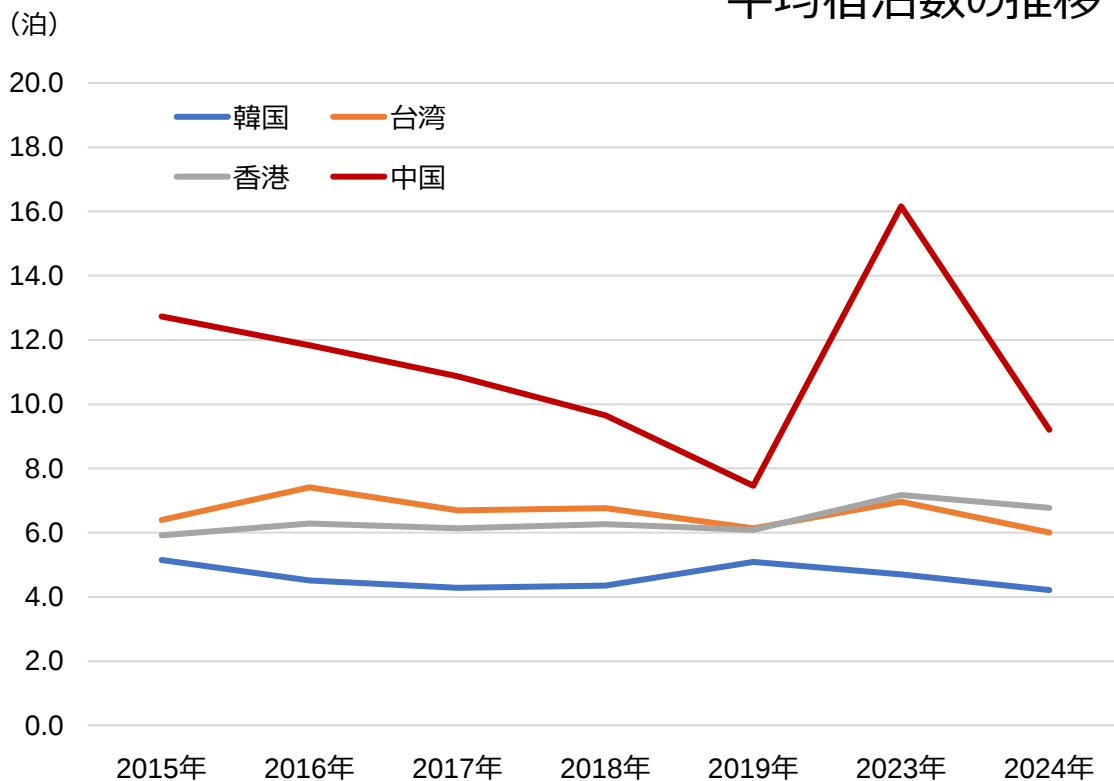
出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※2020、21、22年は新型コロナウイルスの影響のため3か年を非掲載とする

# 1. ②平均宿泊数の推移\_年別\_東アジア4カ国

- 東アジア4カ国の平均宿泊数をみると、中国は12.7日から9.2日へと大幅に減少し、韓国（5.2→4.2日）や台湾（6.4→6.0日）も短縮傾向にある。一方、香港は5.9日から6.8日へと増加しているが、いずれも10日未満で、地理的近接性から短期滞在が主流であることがうかがえる。
- 対照的に、欧米豪5カ国はすべて10日以上長期滞在型であり、地方展開や高付加価値商品の提供と相性が良い市場といえる。特に欧州勢の宿泊数は伸長しており、今後の地域経済への波及効果も期待される。

平均宿泊数の推移（東アジア4カ国）



(単位：泊)

|    | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2023年 | 2024年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 韓国 | 5.2   | 4.5   | 4.3   | 4.4   | 5.1   | 4.7   | 4.2   |
| 台湾 | 6.4   | 7.4   | 6.7   | 6.8   | 6.1   | 7.0   | 6.0   |
| 香港 | 5.9   | 6.3   | 6.1   | 6.3   | 6.1   | 7.2   | 6.8   |
| 中国 | 12.7  | 11.8  | 10.9  | 9.7   | 7.5   | 16.2  | 9.2   |

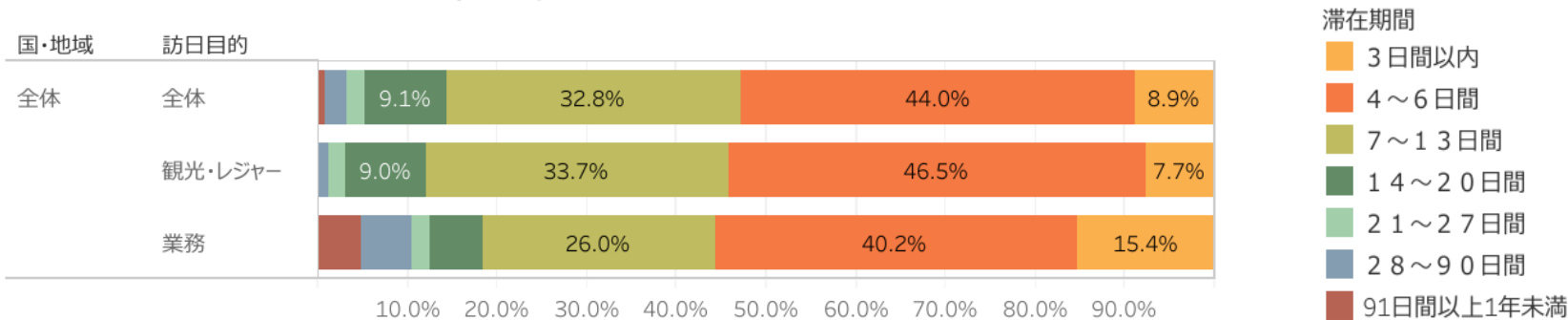
出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

※2020、21、22年は新型コロナウイルスの影響のため3か年を非掲載とする

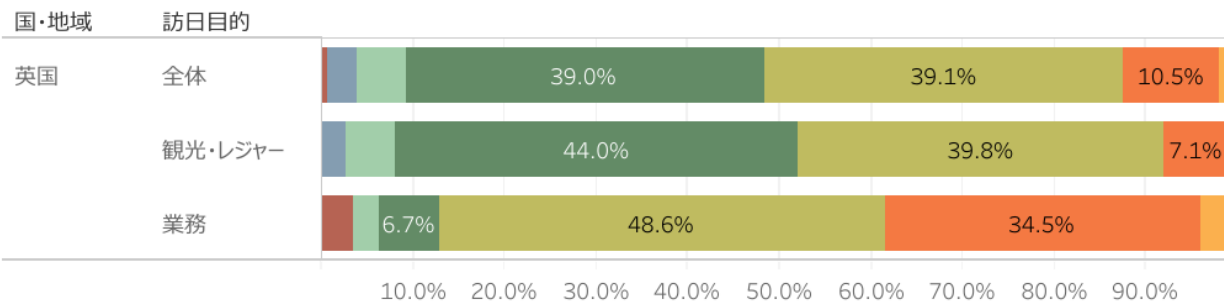
# 1. ②滞在期間別の内訳\_全国籍・英国・フランス【2024年】

- 全国籍に比べて対象5カ国の滞在期間は総じて長い。※緑・青系が滞在期間が長く、オレンジ系が滞在が短い。
- 英国、フランス、ドイツ、豪州などでは2週間以上滞在する割合が半数以上と高く、長期滞在型の旅行スタイルが定着していることがうかがえる。一方、アメリカは平均滞在日数こそ長い、2週間未満の滞在割合が約7割であり、欧州・豪州より短めの滞在が主流といえる。これは休暇制度や旅の目的、訪問先の分散度の違いが影響していると考えられる。

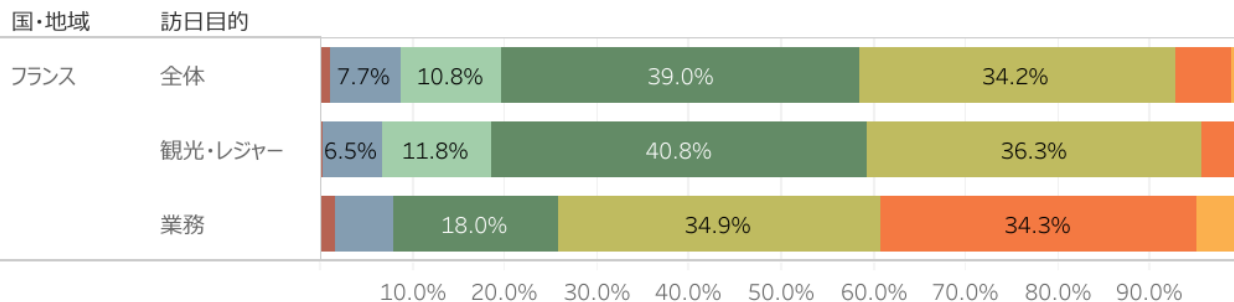
2024年 滞在期間別の内訳（全体）



2024年 滞在期間別の内訳（英国）



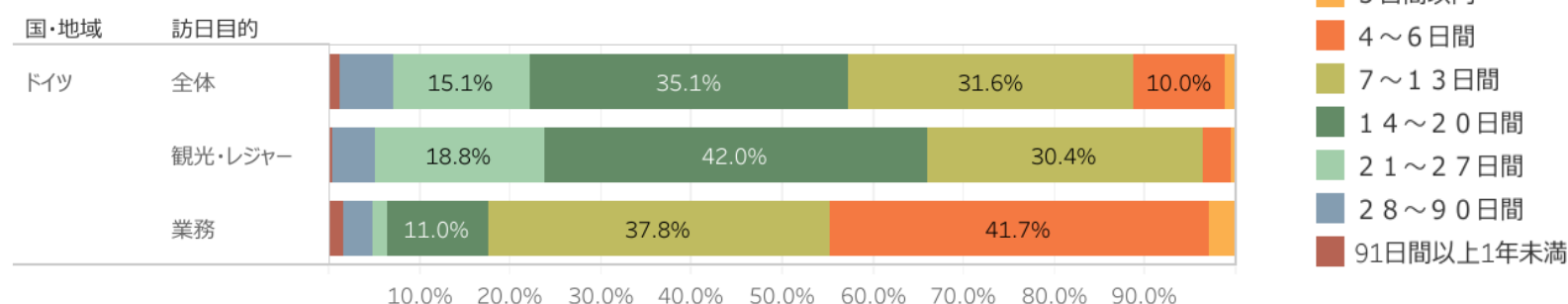
2024年 滞在期間別の内訳（フランス）



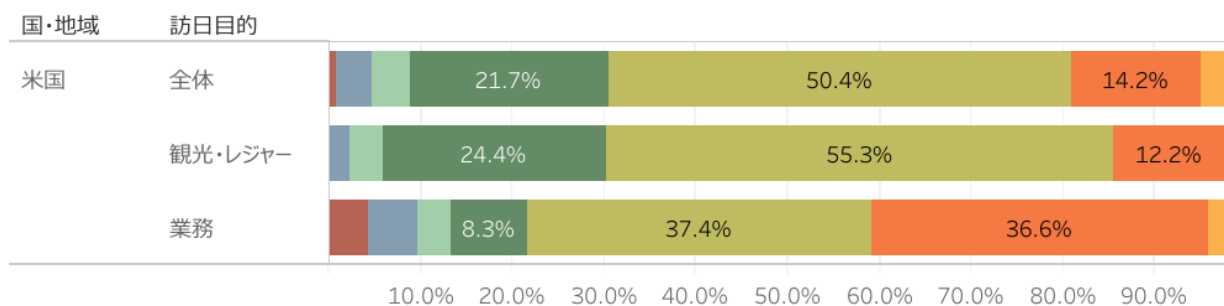
出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

# 1. ②滞在期間別の内訳\_ドイツ・米国・豪州 【2024年】

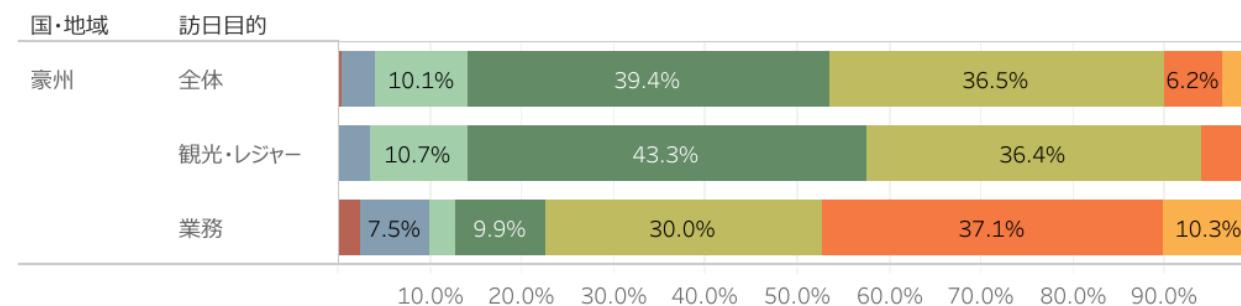
2024年 滞在期間別の内訳（ドイツ）



2024年 滞在期間別の内訳（米国）



2024年 滞在期間別の内訳（豪州）



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

# 1. ③訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出額の推移\_年別\_全国籍・対象5カ国

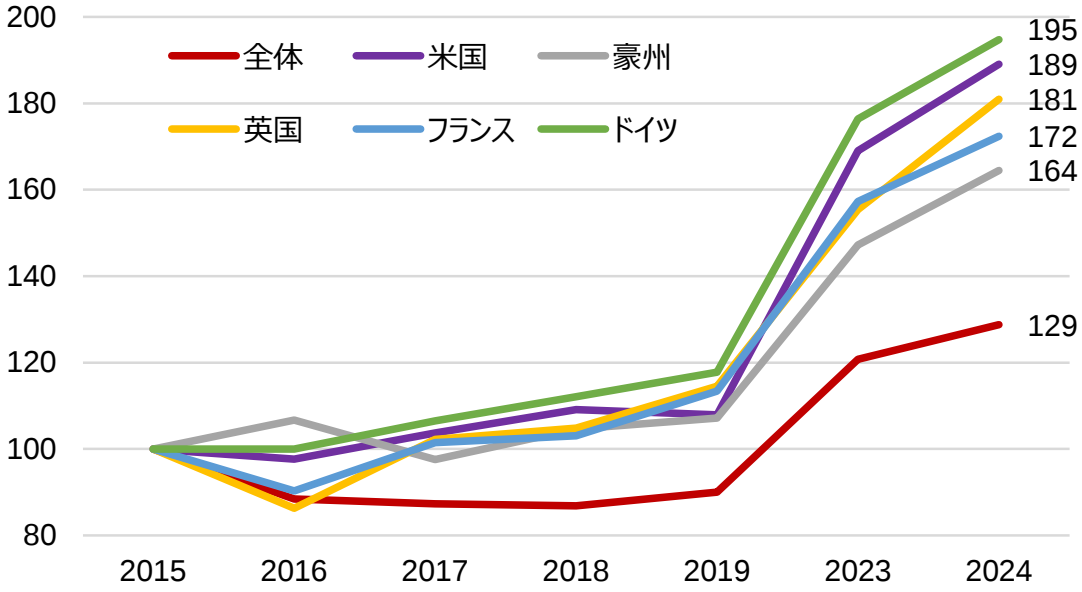
- 訪日外国人1人当たりの旅行支出額は、2015年を基準にすると欧米豪では約2倍に増加しており、長期滞在や高付加価値な体験への支出意欲が高まっていることがうかがえる。
- 一方、インバウンド全体では約3割の増加にとどまり、短期滞在やリピーターの多い東アジア市場の影響で平均値が抑えられている。観光収入の高単価化には、欧米豪などの長期・高支出市場の誘致が有効と考えられる。
- オーバーツーリズムの問題が顕在化している今日においては、単なる訪日者数の増加にとどまらず、支出額や滞在の質を重視したアプローチが求められる。

1人当たり旅行支出額

(単位：円) (2015年=100)

|      | 2015    | 2016    | 2017    | 2018    | 2019    | 2023    | 2024    |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全体   | 176,167 | 155,896 | 153,921 | 153,029 | 158,531 | 212,764 | 226,851 |
| 米国   | 175,554 | 171,418 | 182,071 | 191,539 | 189,411 | 296,813 | 331,976 |
| 豪州   | 231,349 | 246,866 | 225,845 | 242,041 | 247,868 | 340,661 | 380,492 |
| 英国   | 210,681 | 181,795 | 215,392 | 220,929 | 241,264 | 327,505 | 381,318 |
| フランス | 209,333 | 189,006 | 212,442 | 215,786 | 237,420 | 329,332 | 360,952 |
| ドイツ  | 171,031 | 171,009 | 182,207 | 191,736 | 201,483 | 301,712 | 333,027 |

1人当たり旅行支出額の推移 (2015年=100)

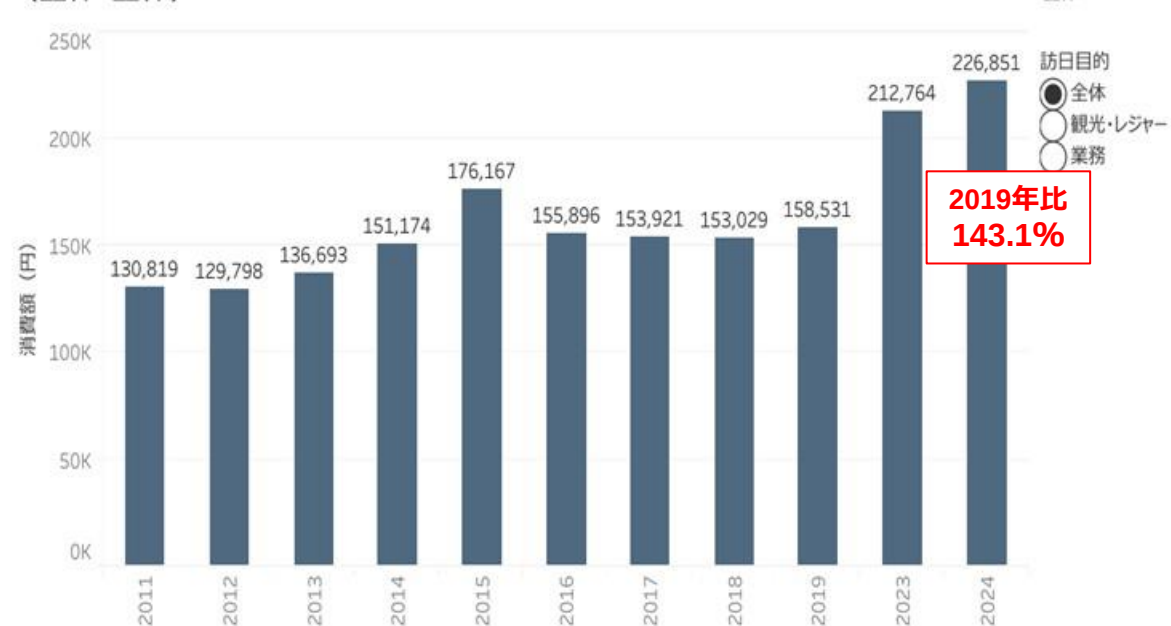


出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」  
 ※2020、21年は新型コロナウイルスの影響のためデータなし。2022年は試算値のため3か年を非掲載とする

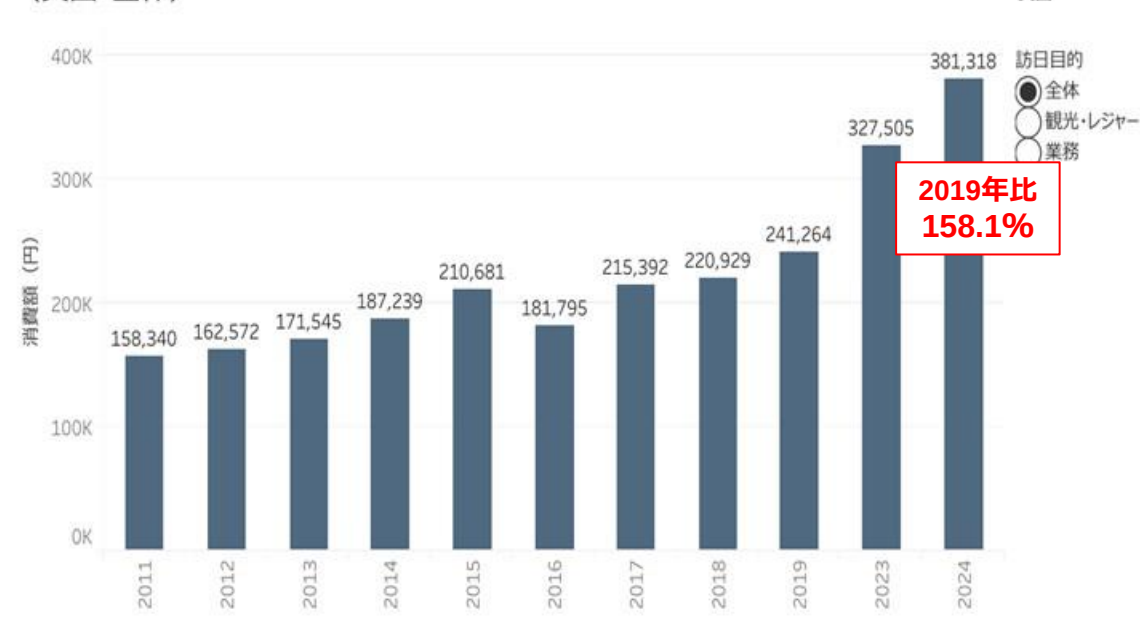
# 1. ③訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出額の推移\_年別\_全国籍・英国

- ・ 欧米豪の主要国すべてで、1人当たり旅行支出額が2019年から2024年にかけて大幅に増加しており、欧米豪5カ国はいずれも50～80%の伸びを記録している。これは円安による購買力の上昇に加え、長期滞在や地方観光、高付加価値な体験型旅行へのニーズが拡大していることを示している。
- ・ また、コロナ後の旅行に対する意識の変化や、「一度の訪日でより多くを体験したい」という傾向も背景にあると考えられる。結果として、欧米豪は高単価・高付加価値市場としての存在感が一層強まっている。
- ・ 今後の観光戦略では、こうした高単価市場への対応強化が収益向上の鍵となる。

訪日外国人旅行者1人当たりの旅行支出額の推移  
(全体・全体)



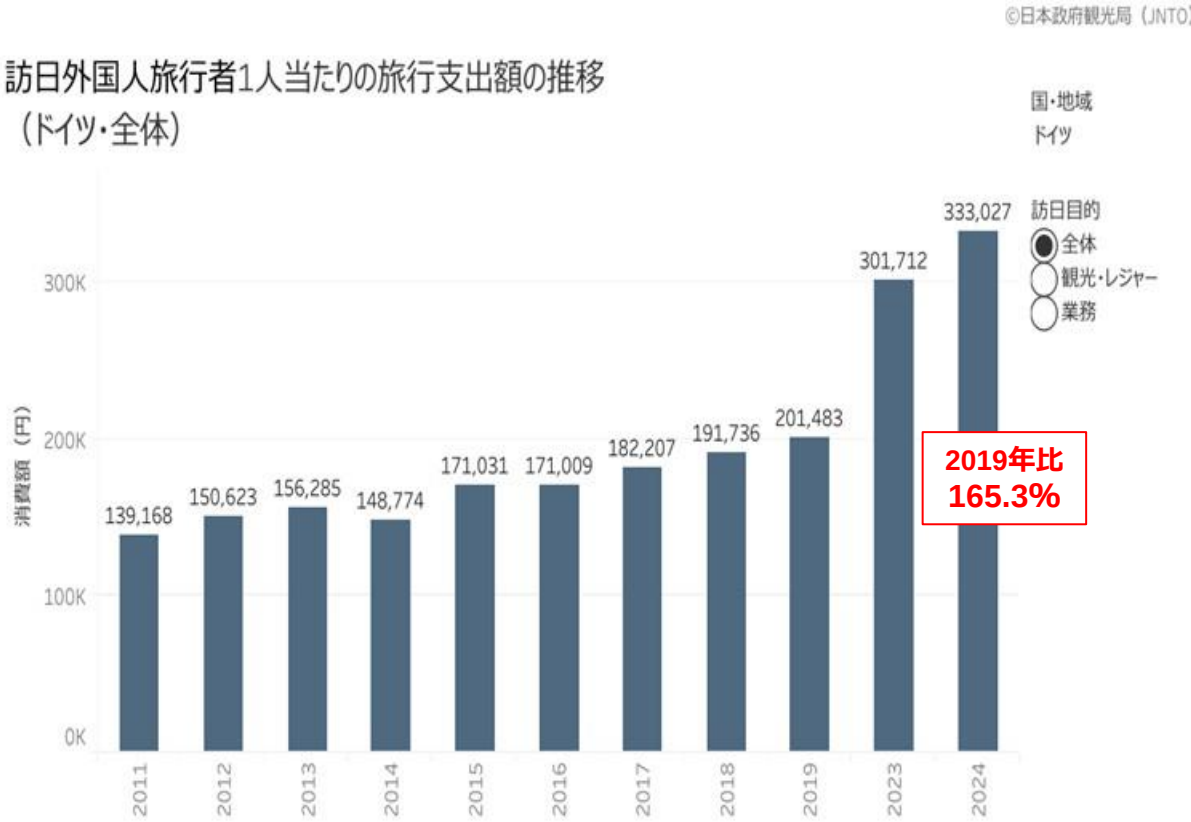
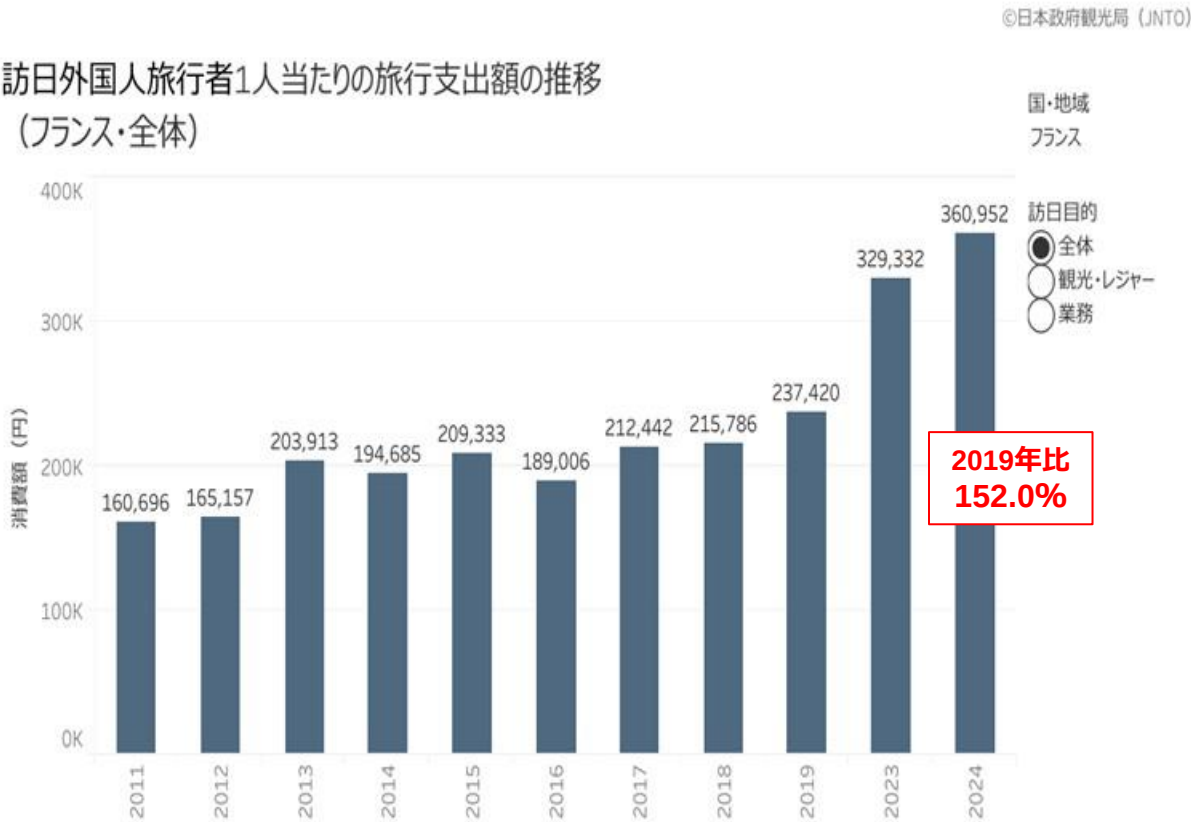
訪日外国人旅行者1人当たりの旅行支出額の推移  
(英国・全体)



出典：日本政府観光局 (JNTO) 「日本の観光統計データ」

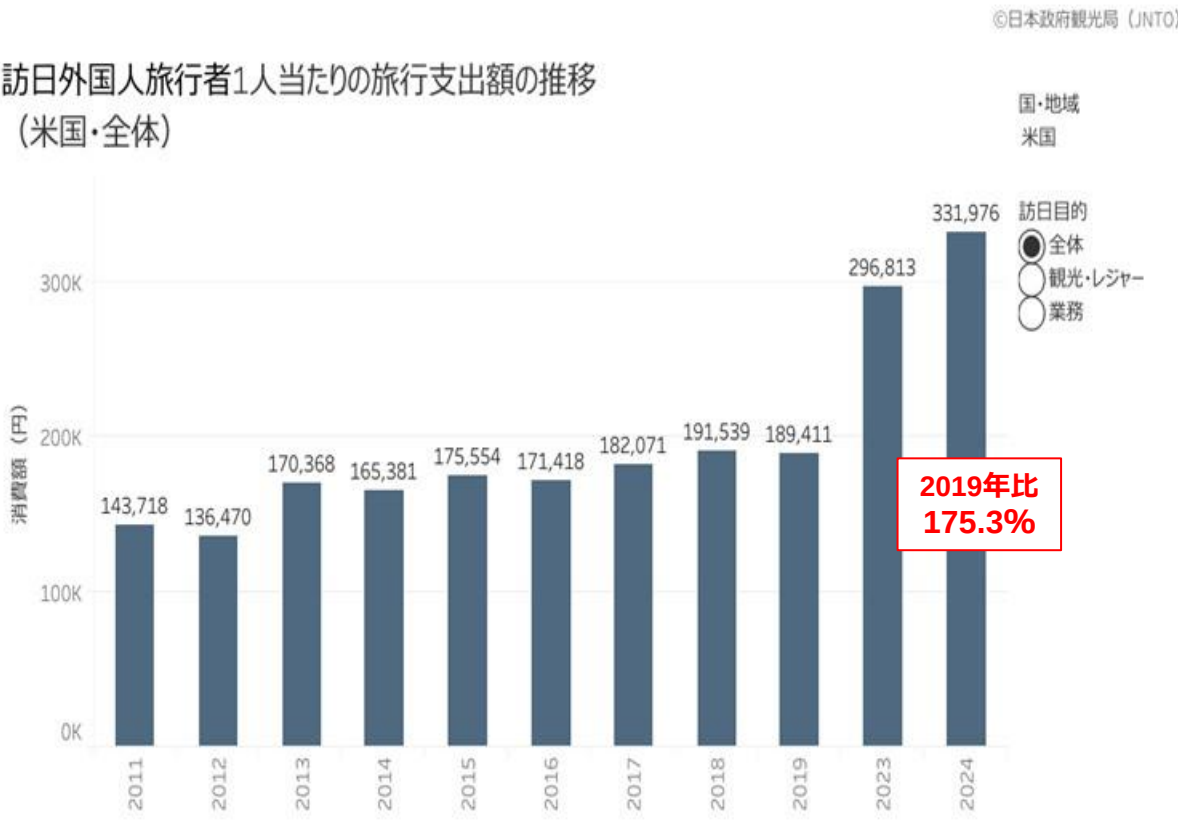
※2020、21年は新型コロナウイルスの影響のためデータなし。2022年は試算値のため3か年を非掲載とする

# 1. ③訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出額の推移\_年別\_フランス・ドイツ



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」  
 ※2020、21年は新型コロナウイルスの影響のためデータなし。2022年は試算値のため3か年を非掲載とする

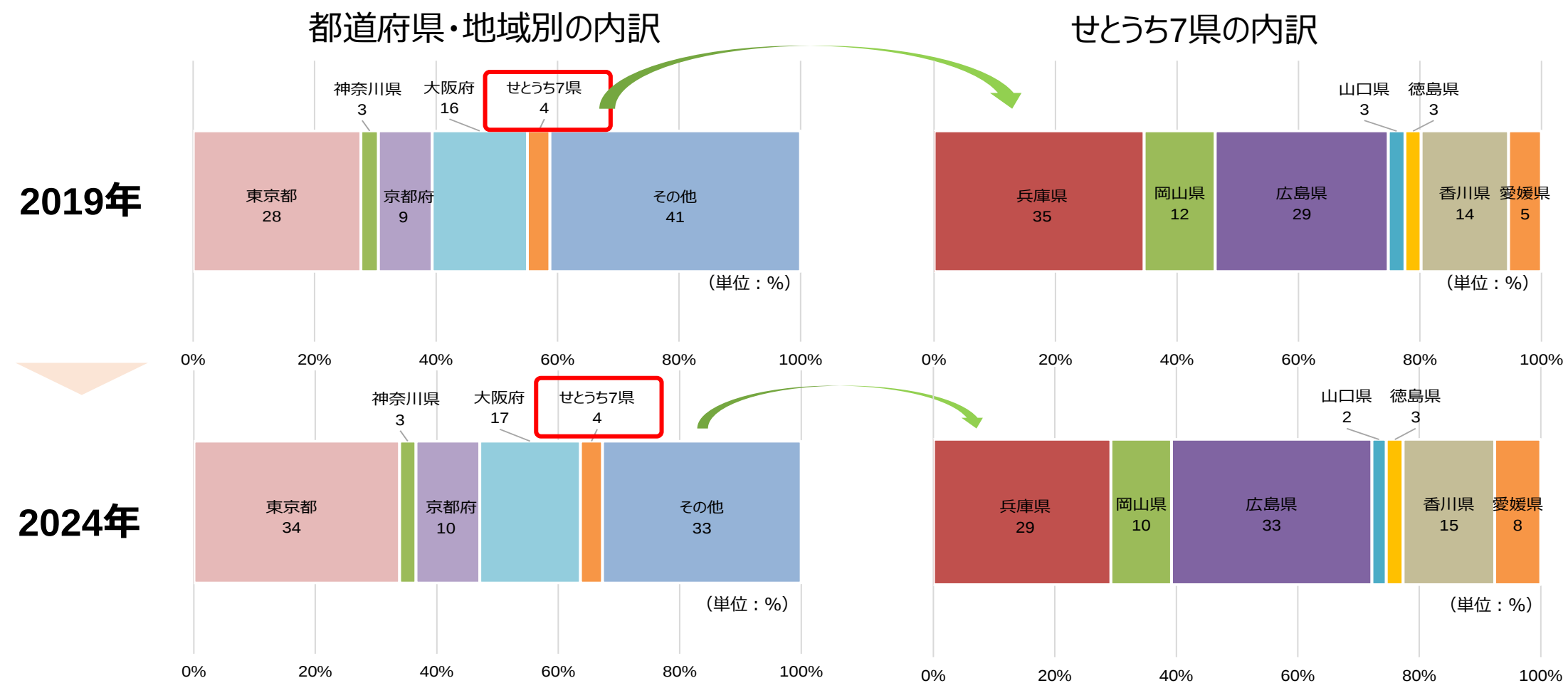
# 1. ③訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出額の推移\_年別\_米国・豪州



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」  
 ※2020、21年は新型コロナウイルスの影響のためデータなし。2022年は試算値のため3か年を非掲載とする

# 1. ④外国人延べ宿泊者数の内訳\_全国・せとうち7県【2019/2024年】

- 外国人宿泊者の都道府県別のシェアをみると、東京や大阪等が拡大し、その他の地方エリアの割合が低下しているものの（2019年41%⇒2024年33%）、せとうち7県はシェアを維持しており、地方でも検討しているエリアといえる。
- なお、せとうち7県の内訳をみると、広島県のシェアが拡大しており、欧米豪の増加が寄与していることが窺える。

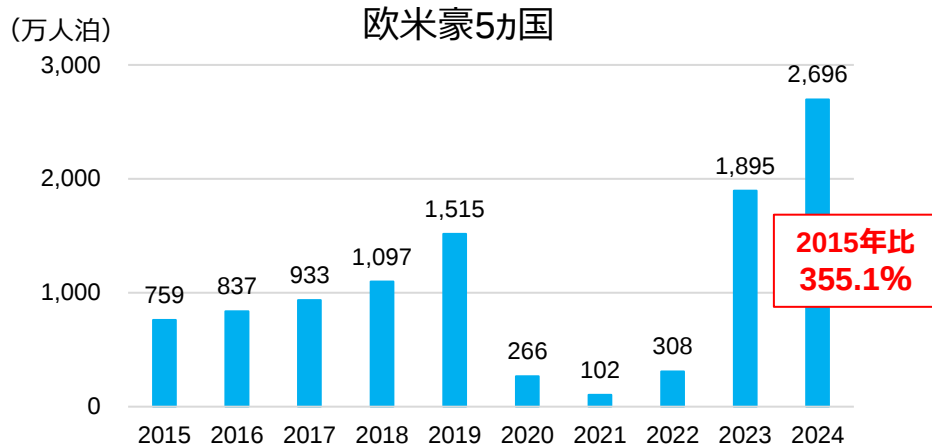
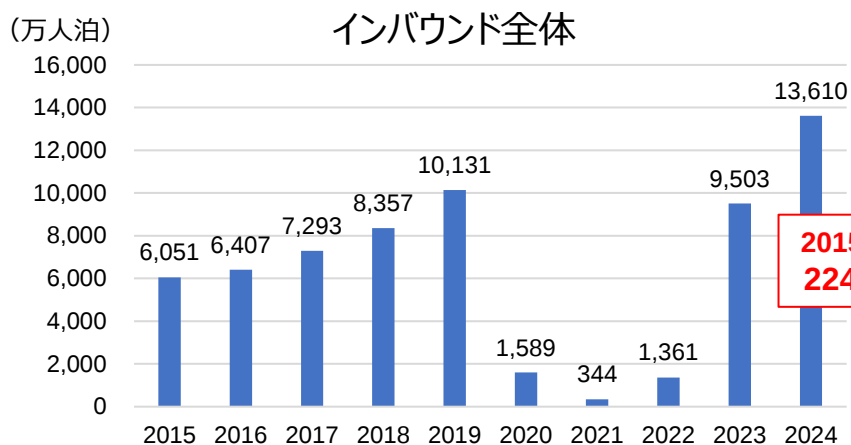


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

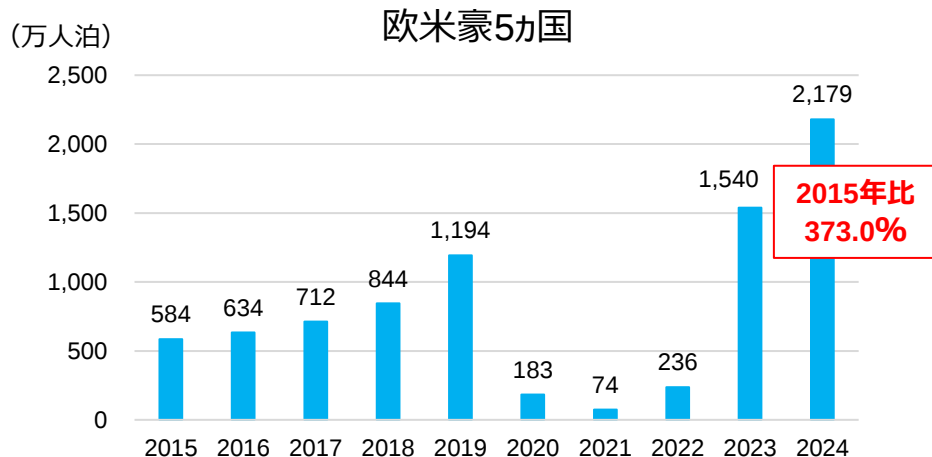
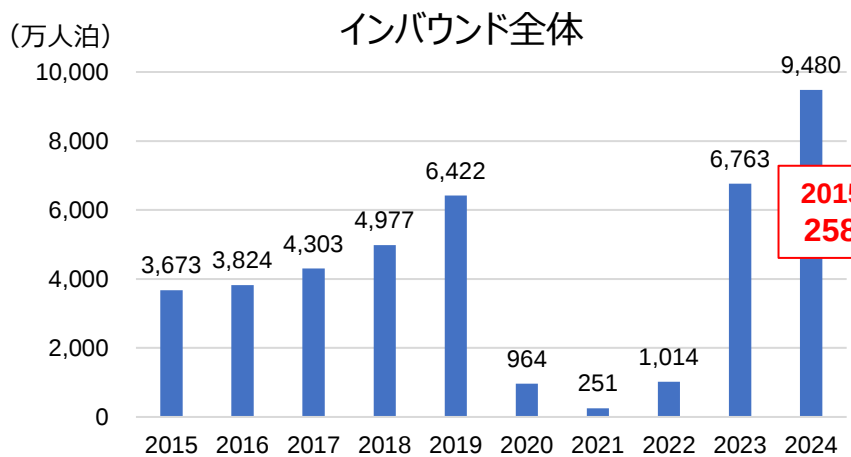
# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_全国・3大都市圏

- 2015年比で全国のインバウンドは224.9%増、欧米豪5カ国は355.1%増と、訪日観光市場はこの10年間で大きく成長している。特に欧米豪市場は、高付加価値志向や長期滞在ニーズの高まりを背景に、著しい伸びを示している。
- 3大都市圏では、インバウンド全体が258.1%増、5カ国は373.0%増となっており、依然として訪日観光の中心地であることが明らかである。

全国



3大都市圏

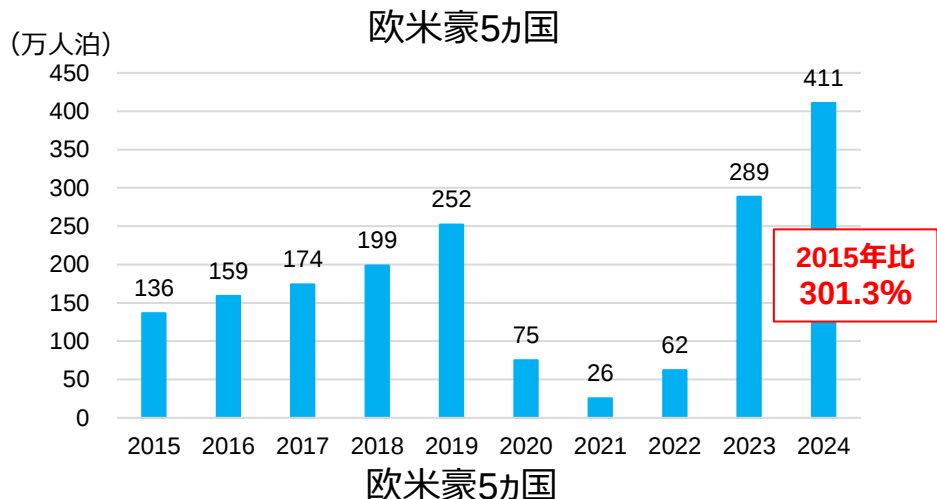
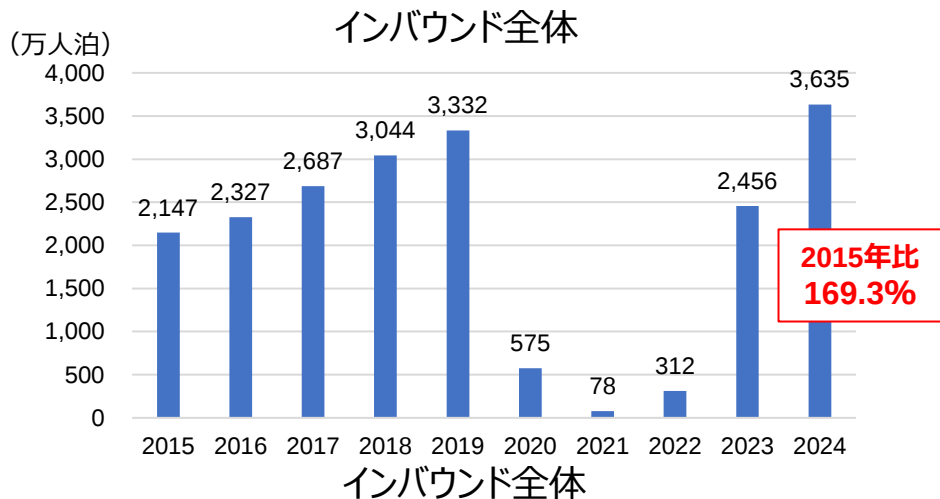


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」 注：従業者数10人以上の施設、3大都市圏とは「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都」の7都府県を指す

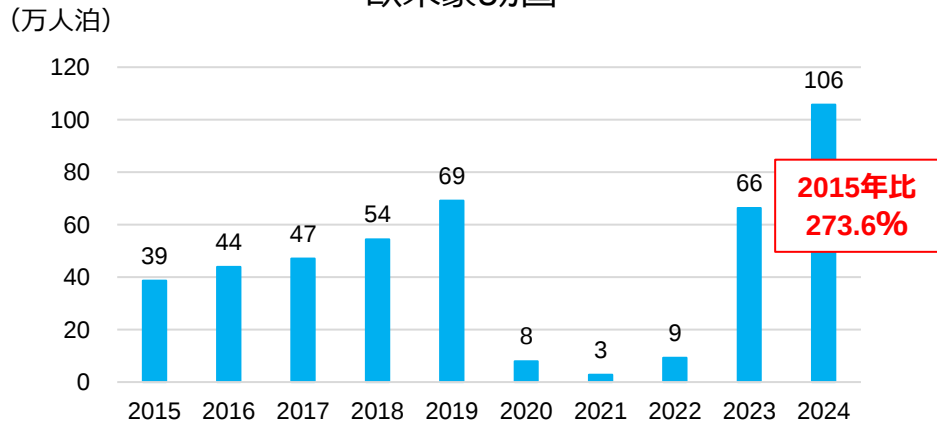
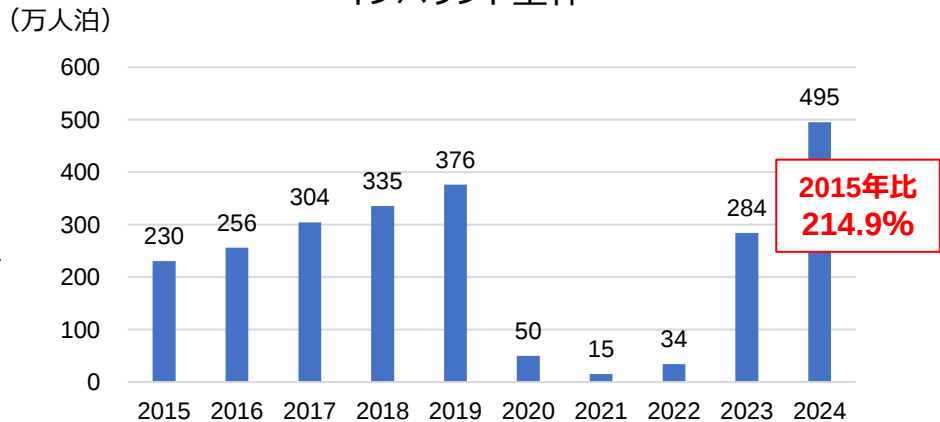
# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_地方部・せとうち7県

- ・ 地方部は、インバウンドが169.3%増と控えめな伸びにとどまるが、欧米豪は301.3%増と堅調である。
- ・ せとうち7県は、インバウンドが214.9%増と、地方部（169.3%）を上回っている。
- ・ 外国人旅行者にとっての注目度が高まる中、今後は、広域周遊や地域連携による戦略的な誘客が重要となる。
- ・ その中で長期滞在志向や高付加価値消費の特徴を持つ欧米豪市場は、今後の地方誘客や観光の質的成長の鍵を握る存在と言える。

## 地方部



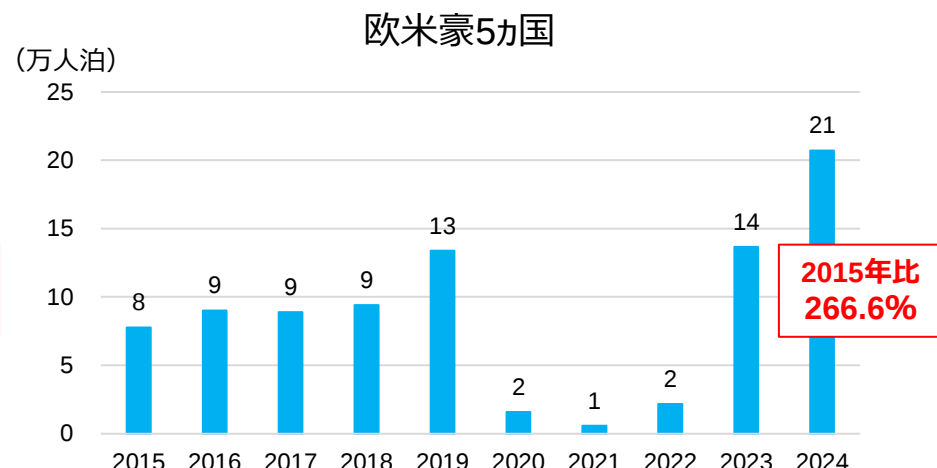
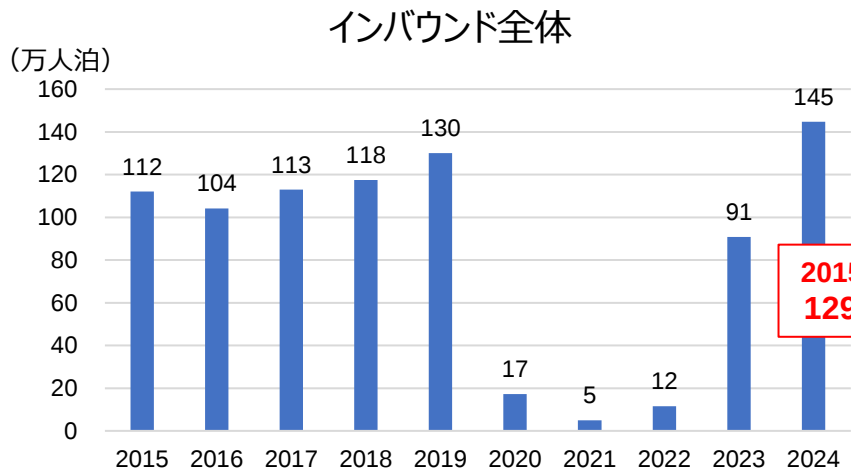
## せとうち7県



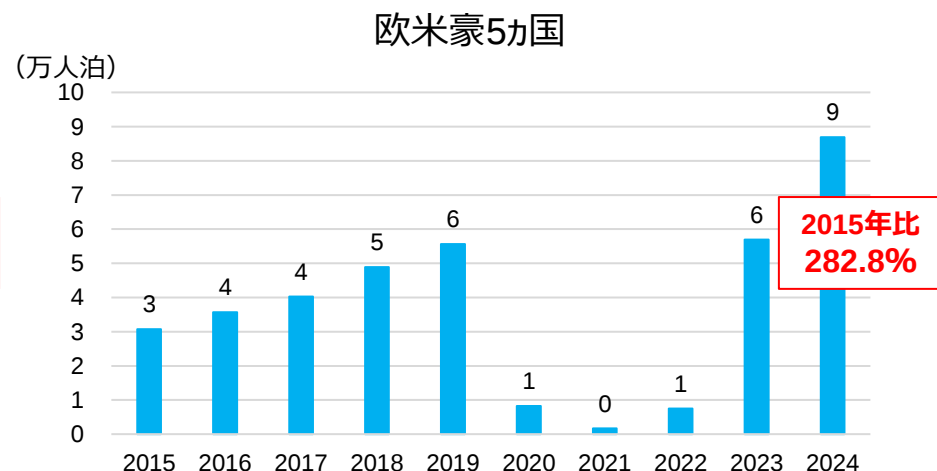
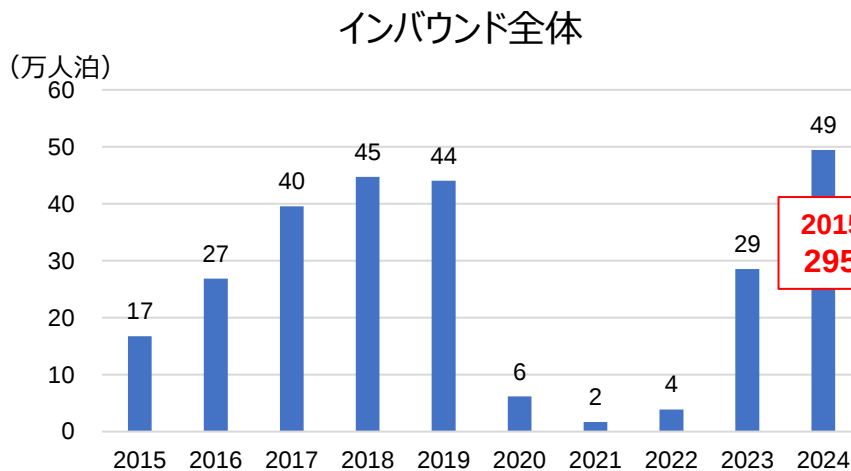
# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_兵庫県・岡山県

- 兵庫県ではインバウンド全体の伸び（129.2%）に比べて欧米豪5カ国の伸び（266.6%）が顕著であり、訪日客の構成が大きく変化していることがうかがえる。
- 一方、岡山県ではインバウンド全体（295.5%）の伸びが大きく、欧米豪5カ国（282.8%）もそれに近い伸びを示している。これにより、兵庫では欧米豪の比重が急速に高まり、岡山では全体的な誘客力の向上が読み取れる。

## 兵庫県



## 岡山県

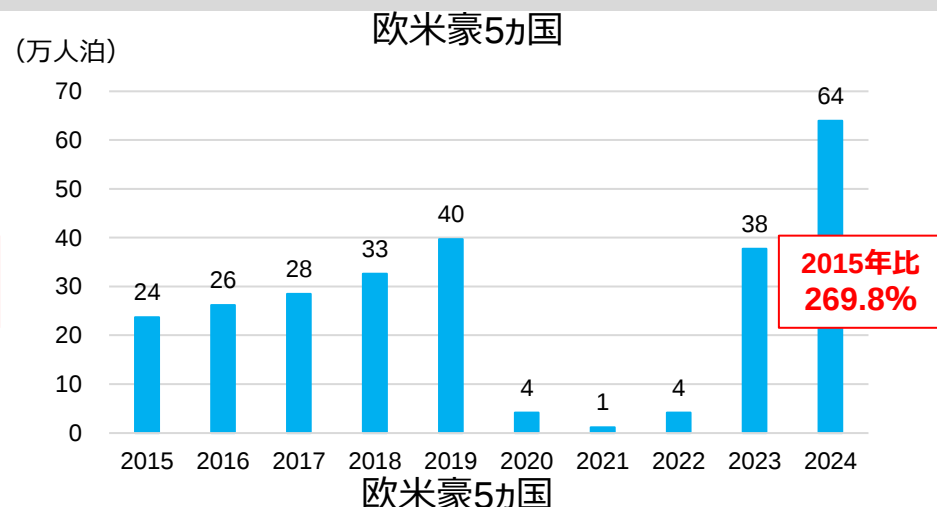
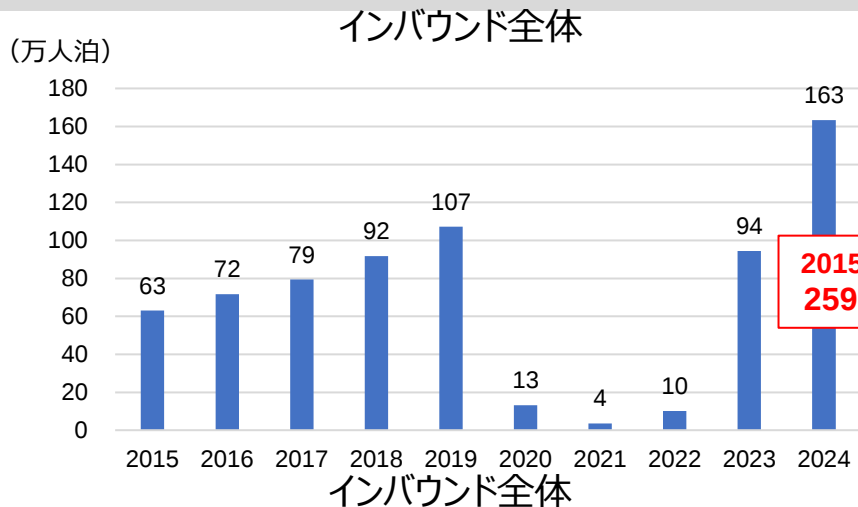


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」 注：従業者数10人以上の施設

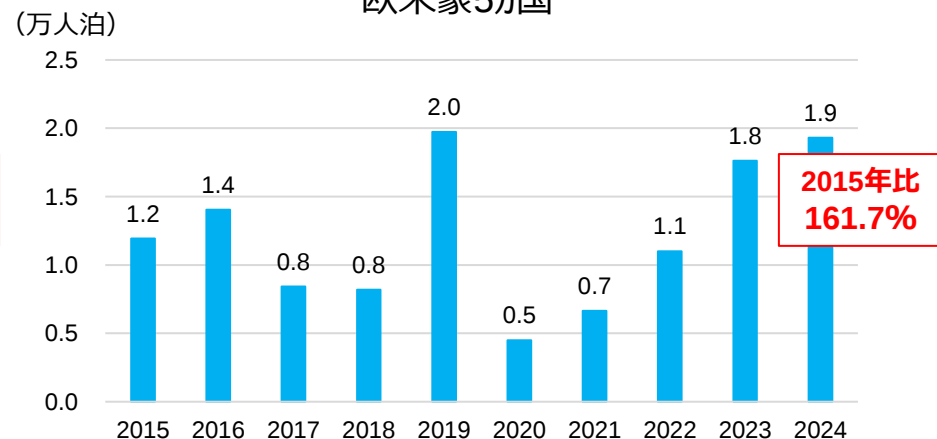
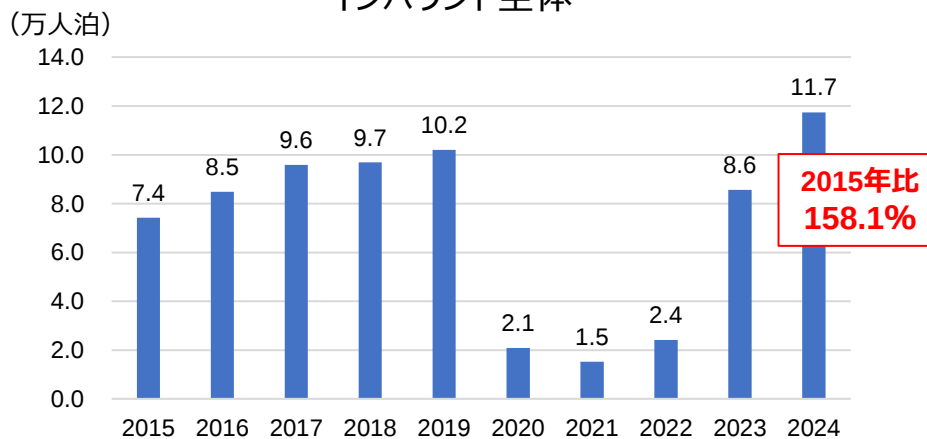
# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_広島県・山口県

- 広島県ではインバウンド全体（259.2%増）と欧米豪5カ国（269.8%増）が共に大きく伸びており、全体的な訪日需要の拡大に加え、欧米豪市場の取り込みにも成功しているといえる。特に2023年のG7広島サミットの開催などが欧米豪市場の関心を高めた可能性がある。
- 一方、山口県では全体（158.1%増）、欧米豪5カ国（161.7%増）ともに伸び率は相対的に控えめであり、訪日市場の成長を取り込みきれていない傾向がうかがえる。

## 広島県



## 山口県



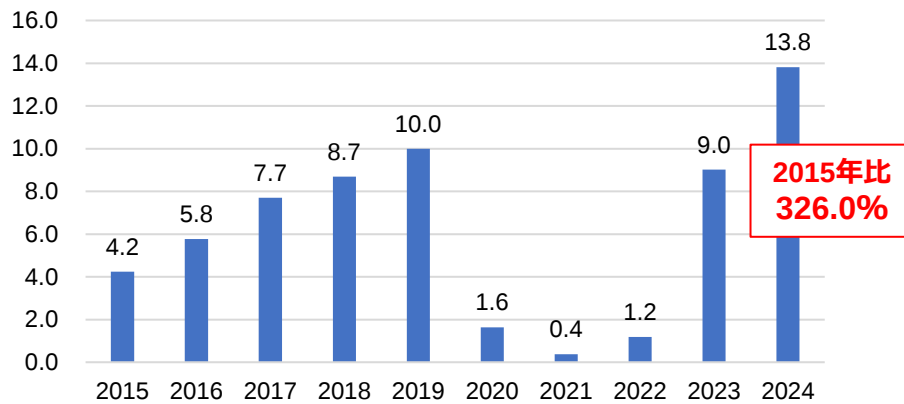
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」 注：従業者数10人以上の施設

# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_徳島県・香川県

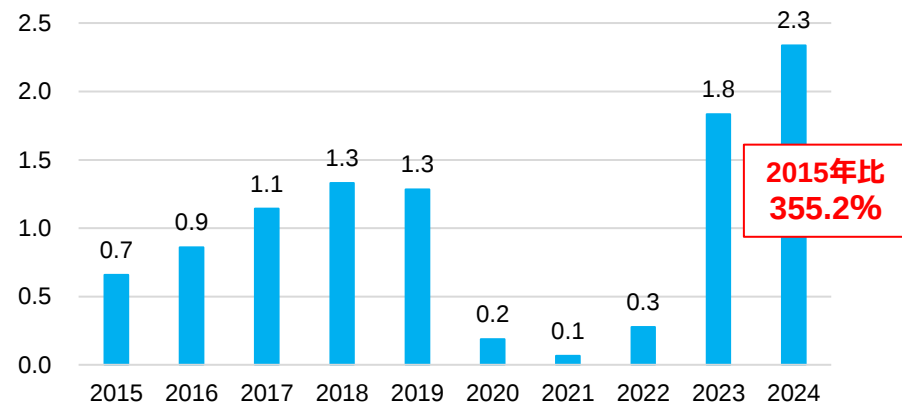
- 徳島県ではインバウンド全体（326.0%増）・欧米豪5カ国（355.2%増）ともに大きく伸びており、特に欧米豪からの誘客に成功していることがうかがえる。自然や文化体験型の観光資源が長期滞在型旅行者のニーズと合致している可能性がある。
- 香川県では全体（442.4%増）の伸びが顕著で、国内外の旅行者の関心が高まっているといえる。欧米豪5カ国も大幅な増加を示しており、せとうちの景観やアートなどが広く受け入れられていることが背景にあると考えられる。

## 徳島県

(万人泊) インバウンド全体

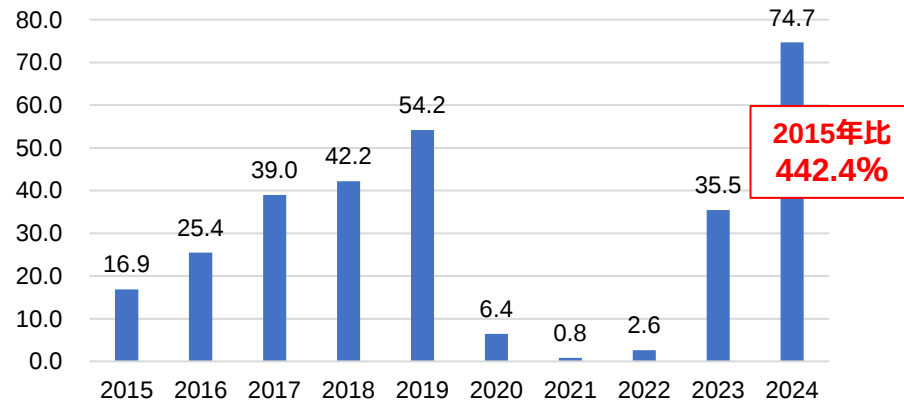


(万人泊) 欧米豪5カ国

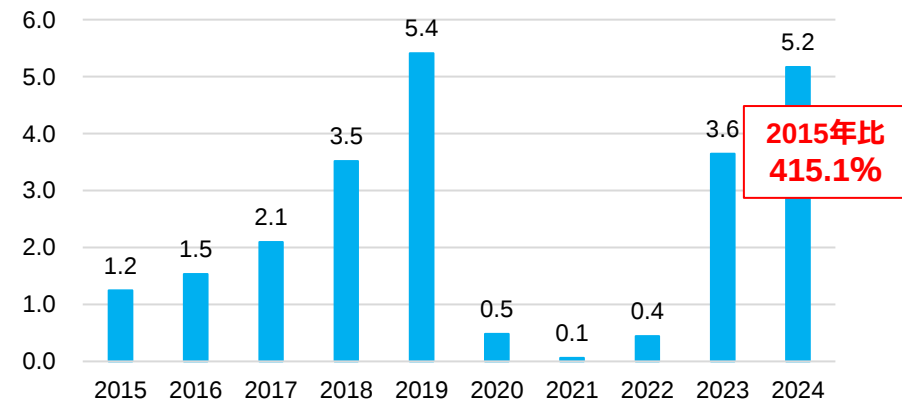


## 香川県

(万人泊) インバウンド全体



(万人泊) 欧米豪5カ国

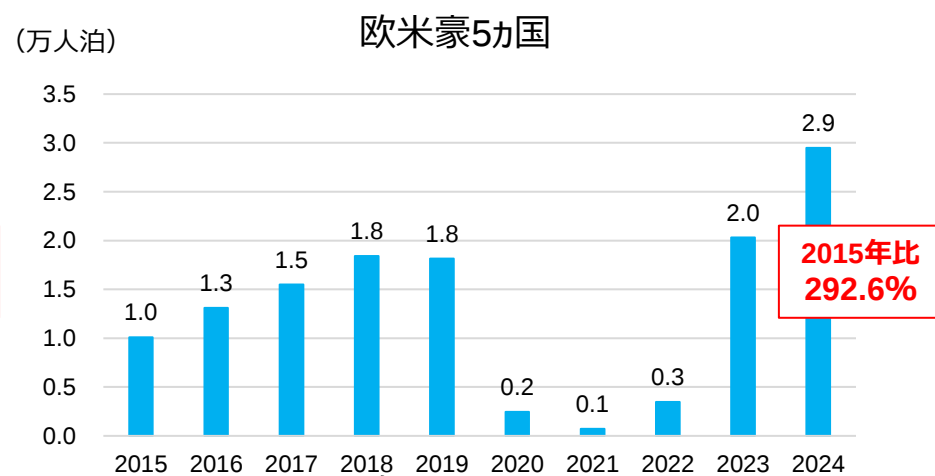
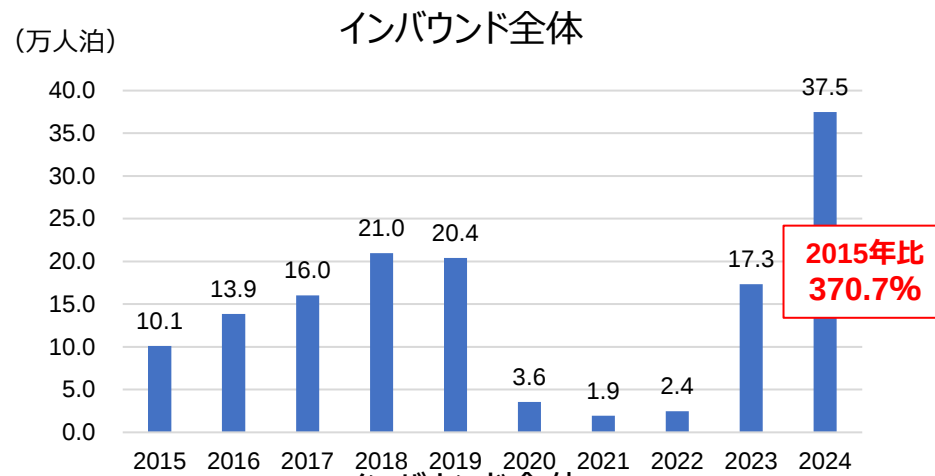


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」 注：従業者数10人以上の施設

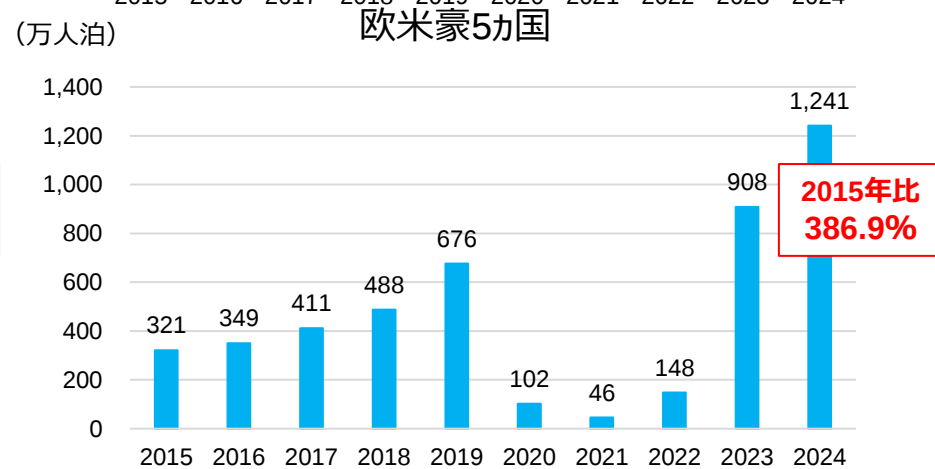
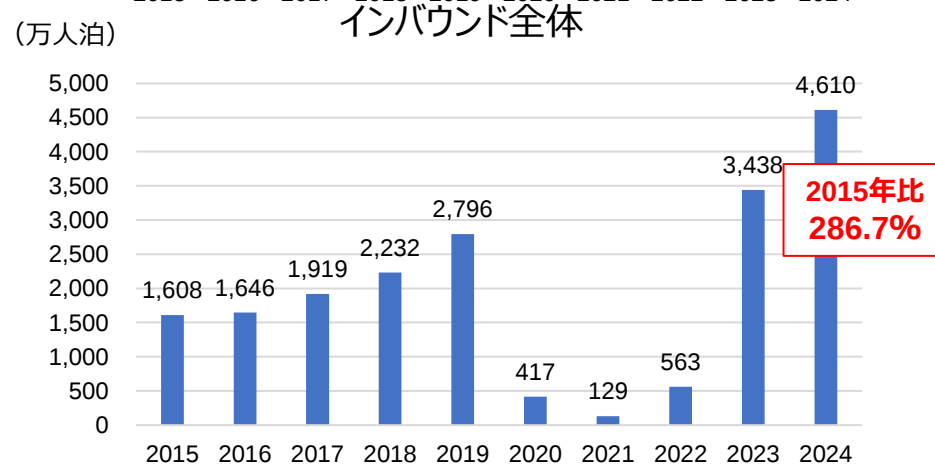
# 1. ④外国人延べ宿泊者数の推移\_年別\_愛媛県・東京都（参考）

- 愛媛県ではインバウンド全体が370.7%増と非常に高い伸びを示しており、地域の魅力が幅広い訪日客に浸透してきたことがうかがえる。一方で、欧米豪5カ国は292.6%増にとどまり、全体に比べて伸びはやや緩やかである。これはアジア圏からの訪日客の増加が全体を押し上げた可能性を示す。
- 一方、東京では欧米豪5カ国が386.9%増と全体（286.7%増）を大きく上回っており、長期滞在を伴う欧米豪市場の回復と拡大が進んでいることが読み取れる。

## 愛媛県



## 東京都



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」 注：従業者数10人以上の施設

# 1. ④延べ宿泊者数の実績・目標

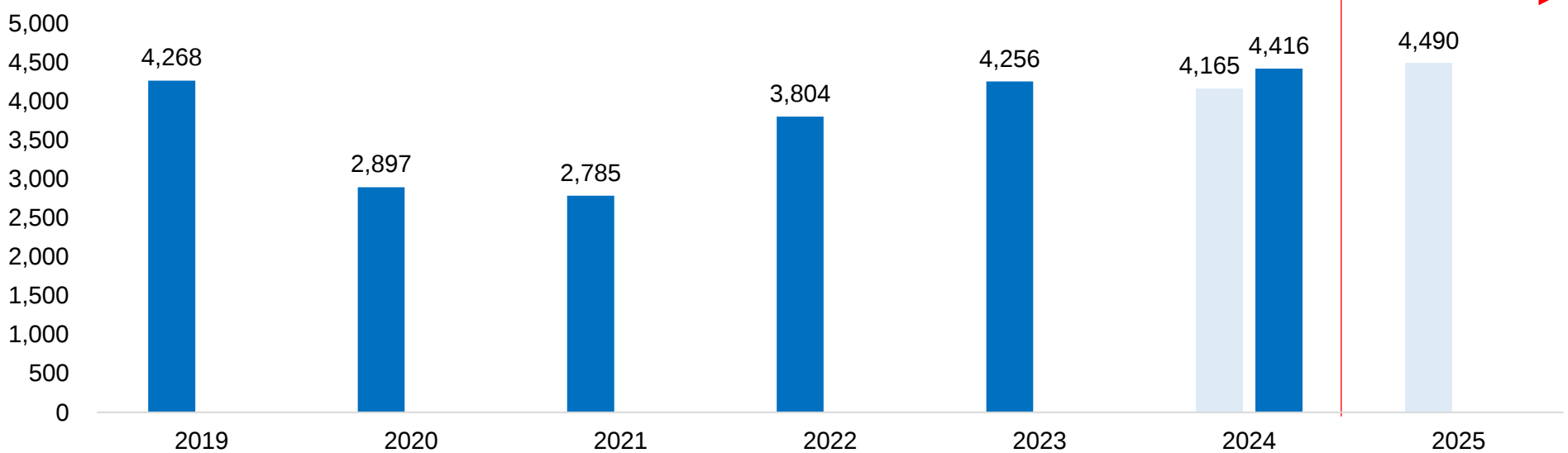
- せとうち7県の延べ宿泊者数の2024年実績は、国内が4,416万人泊、外国が495万人泊（目標323万人泊）、対象5カ国が106万人泊（目標64万人泊）となり、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」、「せとうちエリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくりマスタープラン」で設定している目標を上回った。

（単位：万人泊）

|       | 実績    |       |       |       |       |       |       | 目標    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |       | 2025年 |
|       |       |       |       |       |       | 目標    | 実績    |       |
| 国内    | 4,268 | 2,897 | 2,785 | 3,804 | 4,256 | 4,165 | 4,416 | 4,490 |
| 外国    | 376   | 50    | 15    | 34    | 283   | 323   | 495   | 599   |
| 対象5カ国 | 69    | 8     | 3     | 9     | 66    | 64    | 106   | 134   |

（万人泊）

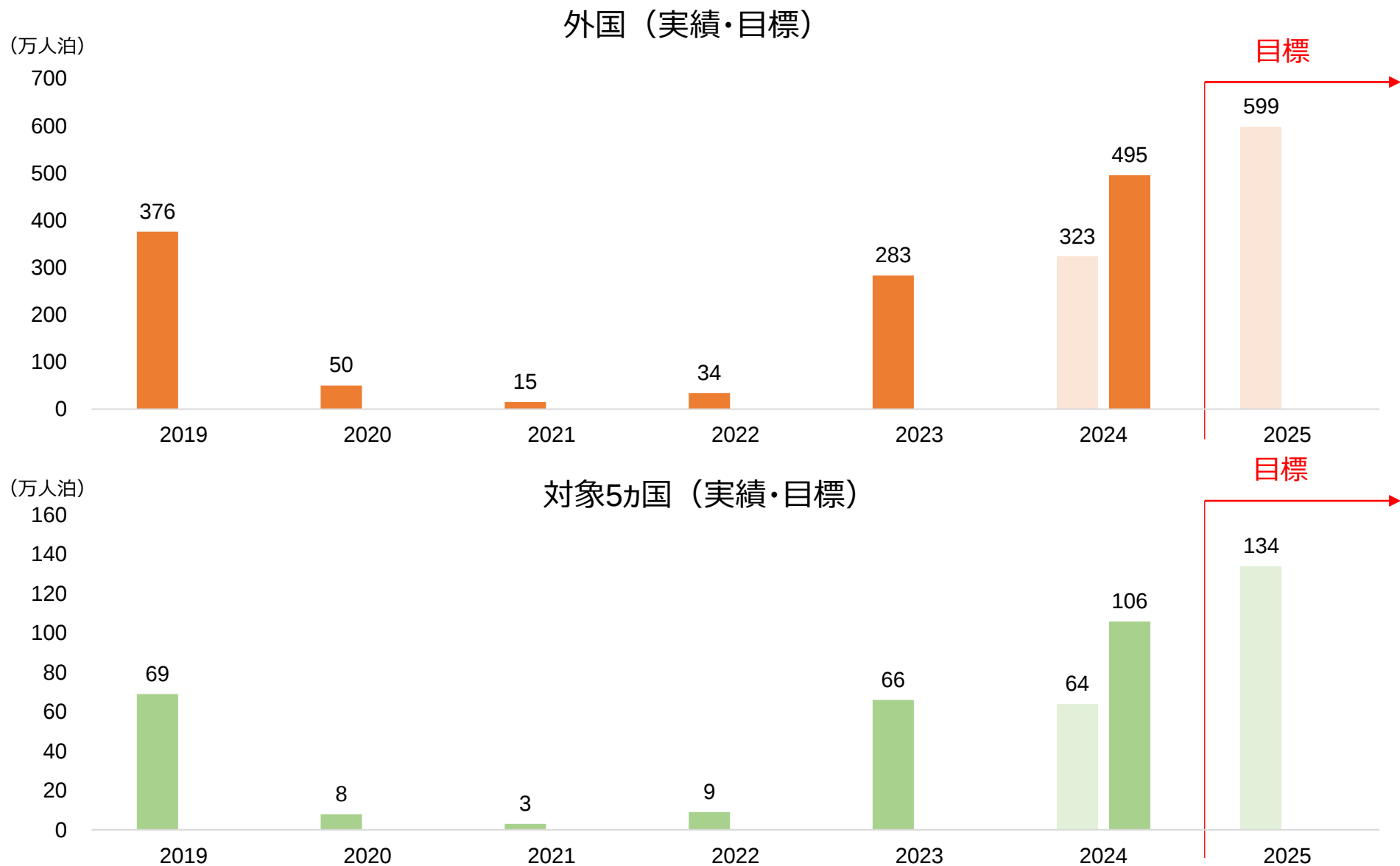
国内（実績・目標）



注：従業者数10人以上の施設

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」

# 1. ④延べ宿泊者数の実績・目標\_全国籍・対象5カ国



注：従業者数10人以上の施設

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」

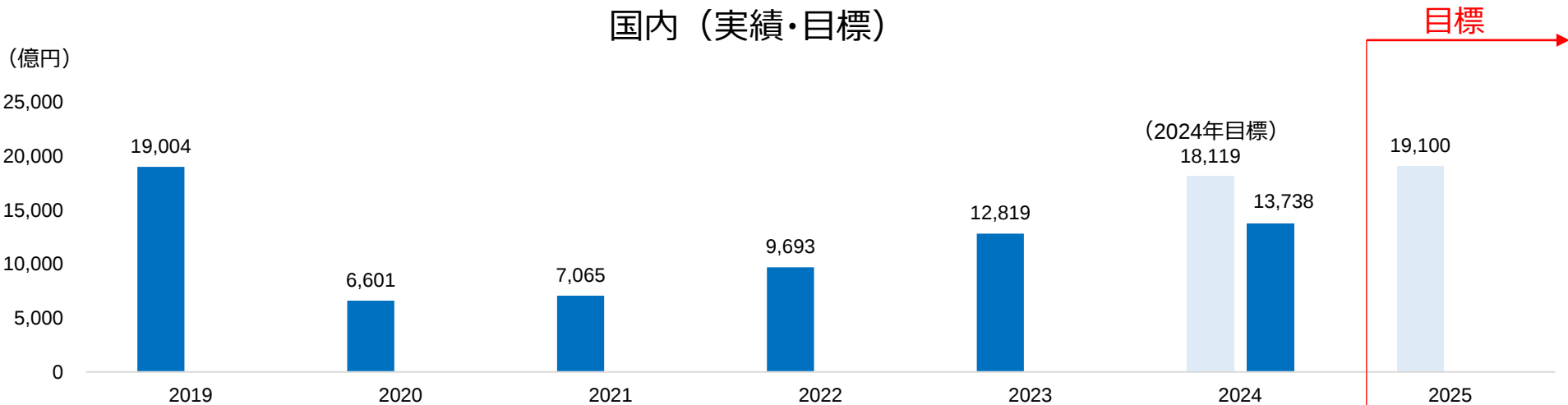
# 1. ⑤旅行消費額の実績・目標

- 2024年のせとうち7県の国内旅行消費額（13,738億円）は2023年の実績を上回ったものの、目標額（18,119億円）を下回り、2019年の水準とも大きな乖離がある。一方、インバウンド消費額は円安の追い風を受け、特に欧米豪を中心に大きく伸長。目標を大きく上回った。
- 欧米豪向けプロモーションや体験型コンテンツの造成などの地道な取り組みも、訪日需要の掘り起こしに貢献したと考えられる。

（単位：億円）

|       | 実績     |       |       |       |        |        |        |       | 目標     |
|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
|       | 2019年  | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年  | 2024年  |        |       | 2025年  |
|       | 旧基準実績  |       |       |       |        | 旧基準目標  | 旧基準実績  | 新基準実績 | 新基準目標  |
| 国内    | 19,004 | 6,601 | 7,065 | 9,693 | 12,819 | 18,119 | 13,738 |       | 19,100 |
| 外国    | 674    | 90    | 27    | 62    | 597    | 627    | 1,211  | 1,873 | 2,386  |
| 対象5カ国 | 114    | 13    | 4     | 15    | 149    | 115    | 275    | 441   | 583    |

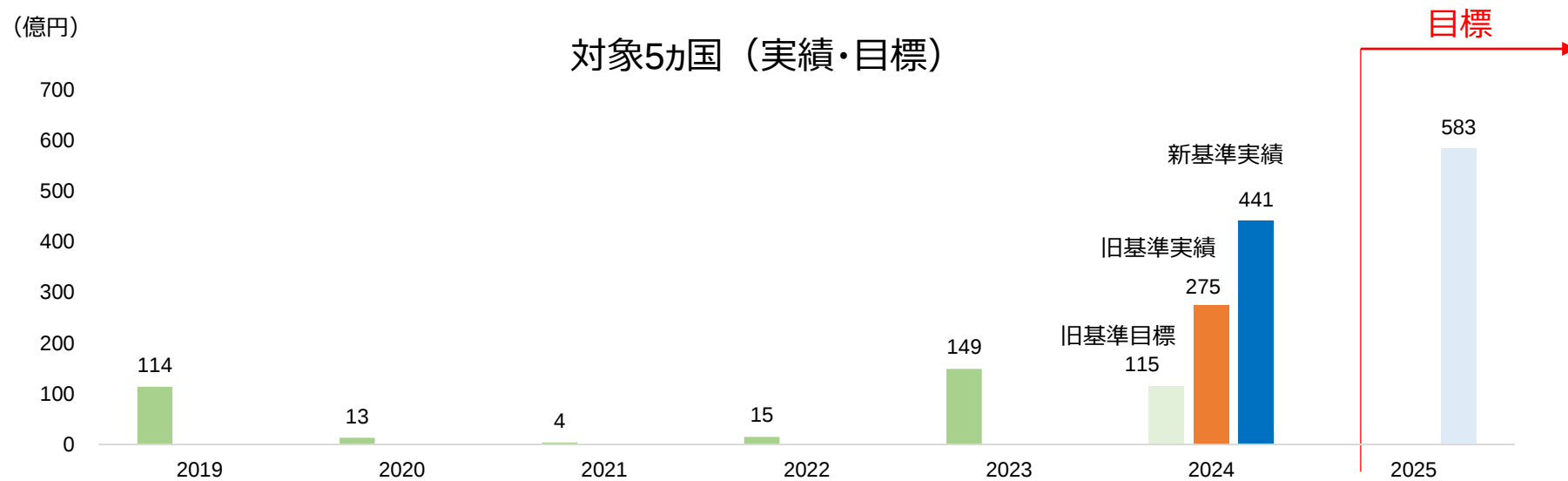
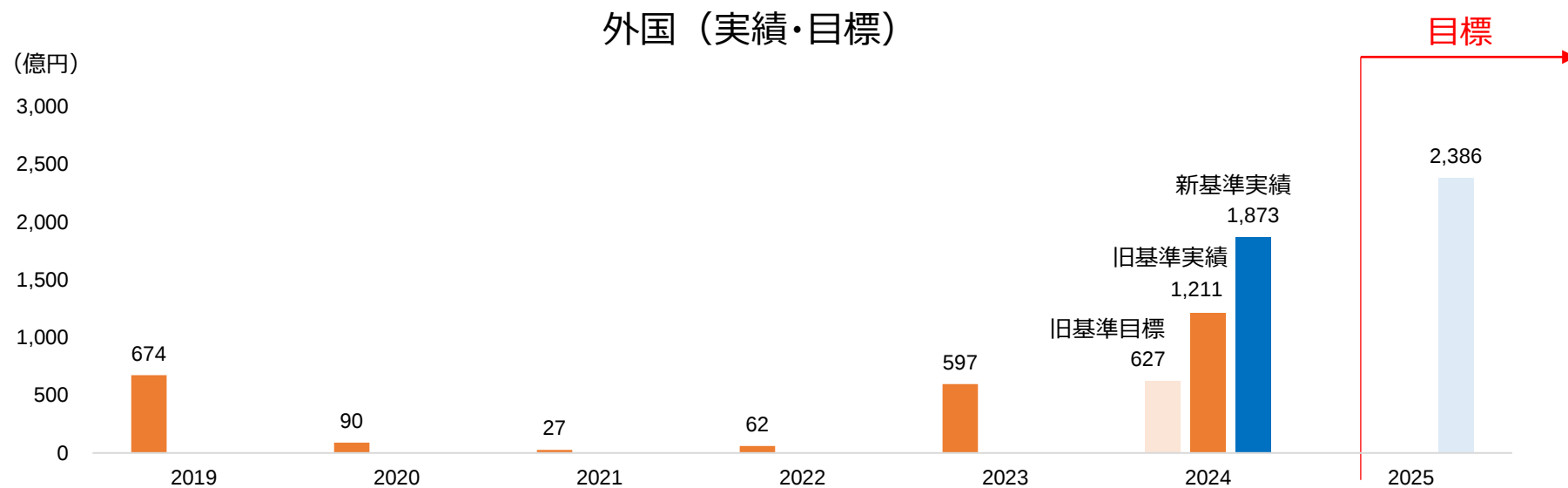
国内（実績・目標）



注：従業者数10人以上の施設、旧基準・新基準についてはP58参照

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」より推計、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」

# 1. ⑤旅行消費額の実績・目標



注：従業者数10人以上の施設

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」より推計、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

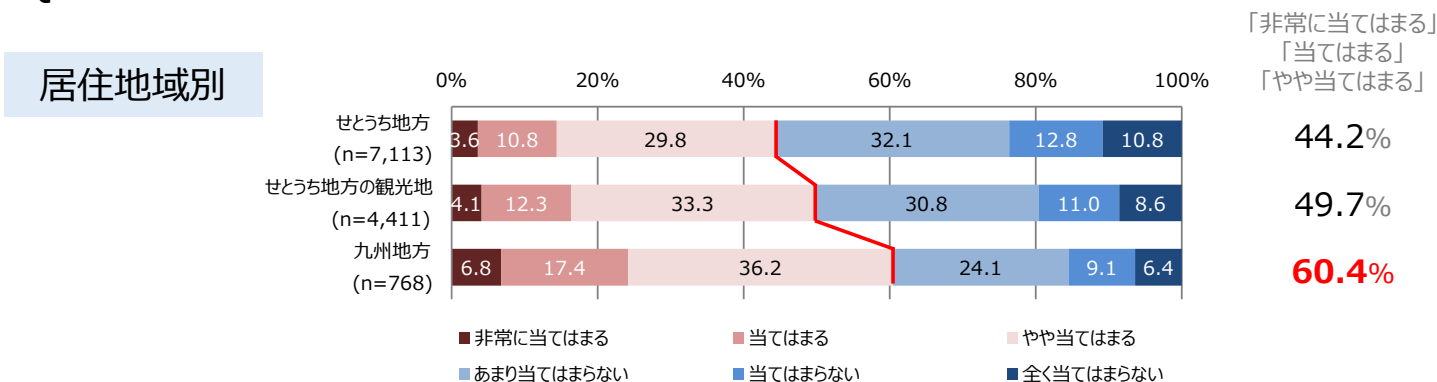
……P.64

## 2. ①住民満足度\_総合満足度

- **経済的な満足度の評価について**
- 本調査においては、Q4-1「観光客の来訪によって、経済的に良い影響を感じている」を「経済的な満足度」と定義し、評価分析を行う。
- それぞれ「非常に当てはまる」「当てはまる」「やや当てはまる」の回答を肯定的回答：『**当てはまる**』（『**満足**』）とし、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」「全く当てはまらない」の回答を否定的回答：『**当てはまらない**』（『**不満**』）として区分を行う。

### 総合満足度 経済的な良い影響（経年比較）

#### Q4.1 観光客の来訪によって、経済的に良い影響を感じている。（SA）



#### 満足（計）

|            | R4    | R5    | R6    | 前年比  |
|------------|-------|-------|-------|------|
| せとうち地方     | 45.8  | 48.4  | 44.2  | -4.2 |
| n=         | 7,163 | 8,262 | 7,113 |      |
| せとうち地方の観光地 | 49.5  | 54.6  | 49.7  | -4.9 |
| n=         | 4,434 | 5,012 | 4,411 |      |
| 九州地方       | —     | —     | 60.4  |      |
| n=         |       |       | 768   |      |

【単位：%】 【単位：pt】

■ 居住地域別にみると、『当てはまる』は九州地方で6割台と高く、せとうち地方を16.2ポイント、せとうち地方の観光地を10.7ポイント上回っている。

■ 経年比較でみると、『当てはまる』はせとうち地方、せとうち地方の観光地ともに前回調査を下回っているものの大きな差はみられない。

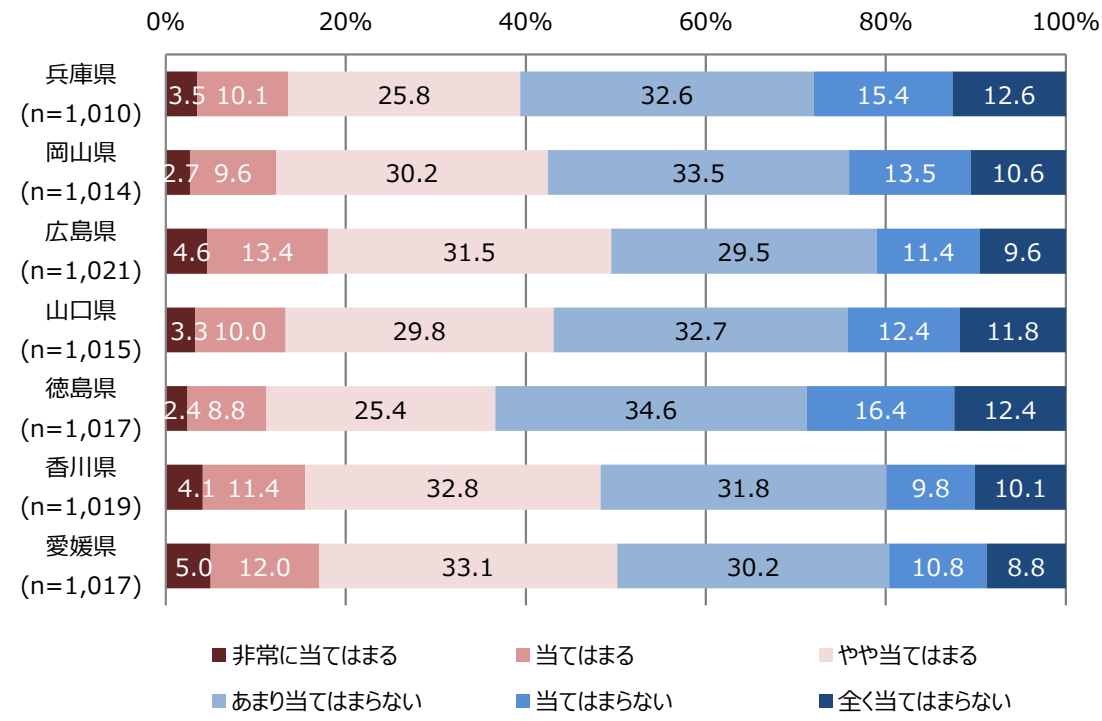
# 2. ①住民満足度\_満足度に影響を及ぼす要因の把握（居住地域別の影響）

総合満足度 経済的な良い影響（前回比較）

「非常に当てはまる」  
「当てはまる」  
「やや当てはまる」  
参考  
前回調査（R5）

せとうち地方

|     |       |       |          |
|-----|-------|-------|----------|
| 兵庫県 | 39.4% | 50.8% | ↓ 11.4pt |
| 岡山県 | 42.4% | 46.3% | ↓ 3.9pt  |
| 広島県 | 49.6% | 52.3% | ↓ 2.7pt  |
| 山口県 | 43.1% | 45.5% | ↓ 2.4pt  |
| 徳島県 | 36.6% | 41.4% | ↓ 4.8pt  |
| 香川県 | 48.3% | 51.3% | ↓ 3.0pt  |
| 愛媛県 | 50.1% | 51.1% | ↓ 1.0pt  |



出典：せとうち観光推進機構「住民満足度調査報告書」（令和6年度）

## 2. ①住民満足度\_分析結果と課題まとめ

### 総合満足度について

- せとうち地方において、観光客の来訪による経済的な良い影響を感じている住民の割合が44.2%（前回調査：48.4%）、精神的な良い影響を感じている住民の割合が41.6%（前回調査：46.1%）といずれも前回調査を下回っており、せとうち地方の居住地別にみても、7県すべてで低下していた。
- これまで夏～秋にかけて行っていた調査を今年度は冬に実施したため、季節的な観光へのモチベーションが若干マイナス方向へ影響したものと思われる。
- 居住地域別にみると、せとうち地方の観光地の満足度は、経済的・精神的ともに九州地方を10.0pt程度下回っていた。
- 「経済面への期待」「地域活性化への期待」は総合満足度に大きな影響を与えているため、せとうち地方の住民の総合満足度を向上させるためには、住民の「経済面への期待」「地域活性化への期待」を高めることが必要だと考えられる。

| 経済的な良い影響        |                 | 精神的な良い影響        |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| せとうち地方          |                 |                 |                 |
| R6<br>(n=7,113) | R5<br>(n=8,262) | R6<br>(n=7,113) | R5<br>(n=8,262) |
| 44.2%           | 48.4%           | 41.6%           | 46.1%           |
| ↑4.2pt差↑        |                 | ↑4.5pt差↑        |                 |

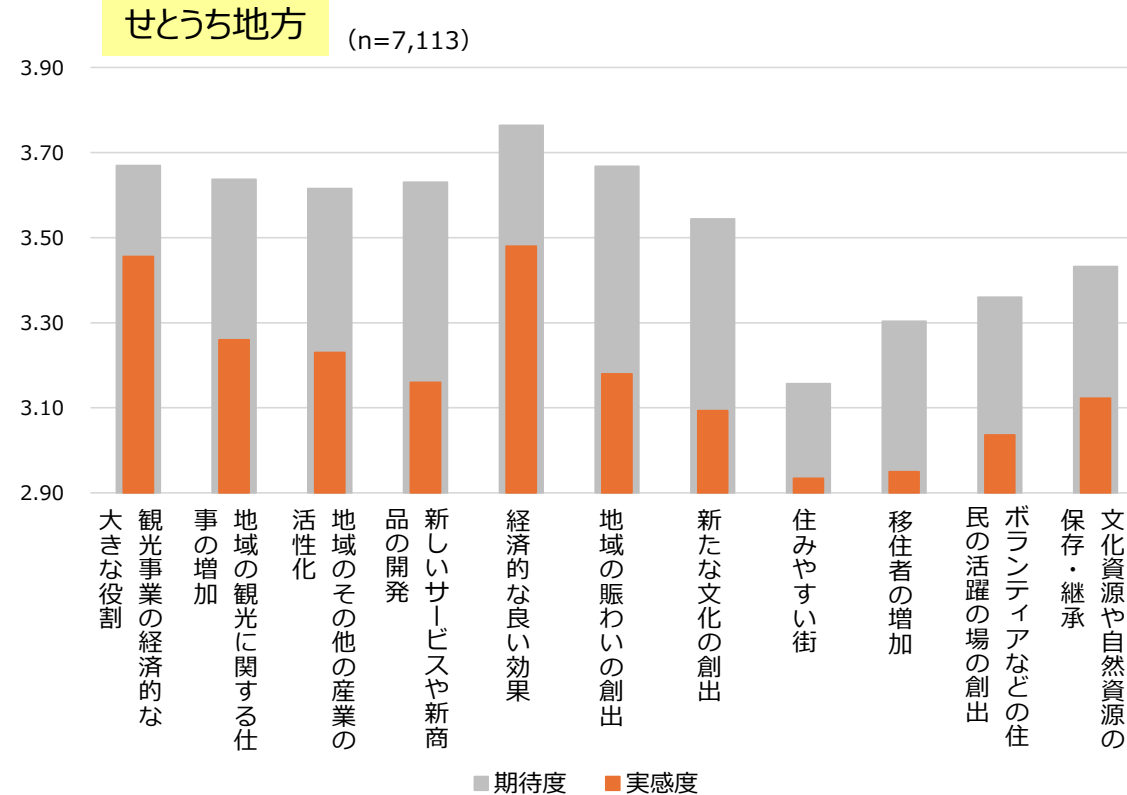
| 経済的な良い影響      |         | 精神的な良い影響      |         |
|---------------|---------|---------------|---------|
| せとうち地方<br>観光地 | 九州地方    | せとうち地方<br>観光地 | 九州地方    |
| (n=4,411)     | (n=768) | (n=4,411)     | (n=768) |
| 49.7%         | 60.4%   | 45.3%         | 54.6%   |
| ↑10.7pt差↑     |         | ↑9.3pt差↑      |         |

出典：せとうち観光推進機構「住民満足度調査報告書」（令和6年度）

## 2. ①住民満足度\_分析結果と課題まとめ

### 期待と実感のギャップ

#### ■期待度と実感度



- 観光客の来訪による経済効果・地域活性化への期待度と実感度について、すべての項目で実感度が期待度を下回っていた。特に、「地域の賑わいの創出」「新しいサービスや新商品の開発」「新たな文化の創出」について期待度と実感度のギャップが大きかった。最もギャップが小さかったのは、「観光事業の経済的な大きな役割」であった。
- 「地域の賑わいの創出」や「新たな文化の創出」などは時間をかけて醸成される要素があるため、他に比べて実感が薄いのではないかと推察される。

#### 期待度と実感度の算出方法

Q3-1～12「経済効果・地域活性化への期待」、Q3-13～24「経済効果・地域活性化の実感」の回答に **非常に当てはまる→6 当てはまる→5 やや当てはまる→4 あまり当てはまらない→3 当てはまらない→2 全く当てはまらない→1** とそれぞれ数字を振り、それらの平均値を期待度と実感度と定義している。

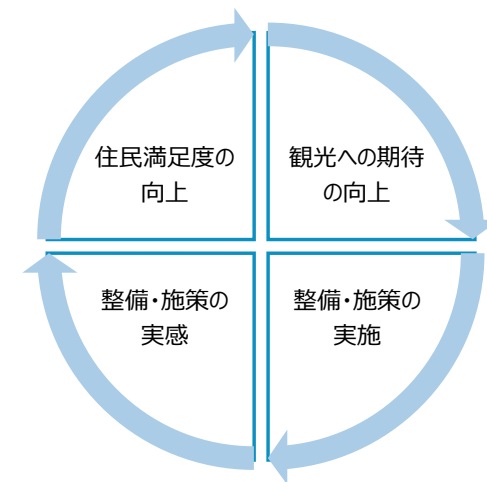
## 2. ①住民満足度\_分析結果と課題まとめ

### 観光振興に対して期待する効果

観光振興に対して期待する効果について、前回とは大きな差はみられなかったが、九州地方と比較すると、せとうち地方が九州地方を下回っていた。

せとうち地方がすべての項目で低く、特に期待はないと回答した人が九州地方よりも多かったことから、せとうち地方では、住民の観光に関する興味や理解が低いのではないかと推察される。

観光によって生まれる効果を住民に知ってもらい、観光への興味や理解を深めることで、「観光への期待向上→整備・施策の実施→整備・施策の実感→住民満足度の向上」といった好循環が生まれると考えられる。



### 整備が必要な取組について

せとうち地方では、優先して整備が必要な取組に「二次交通の整備」「観光客の来訪による渋滞の緩和」「他言語対応もできる観光案内所」が挙げられた。

観光地域別でみると、観光地以外は「二次交通の整備」のみだったが、観光地では「二次交通の整備」に加え、「観光客の来訪による渋滞の緩和」「他言語対応もできる観光案内所の整備」が挙げられた。引き続き、それぞれの地域に合った整備を進めていく必要がある。

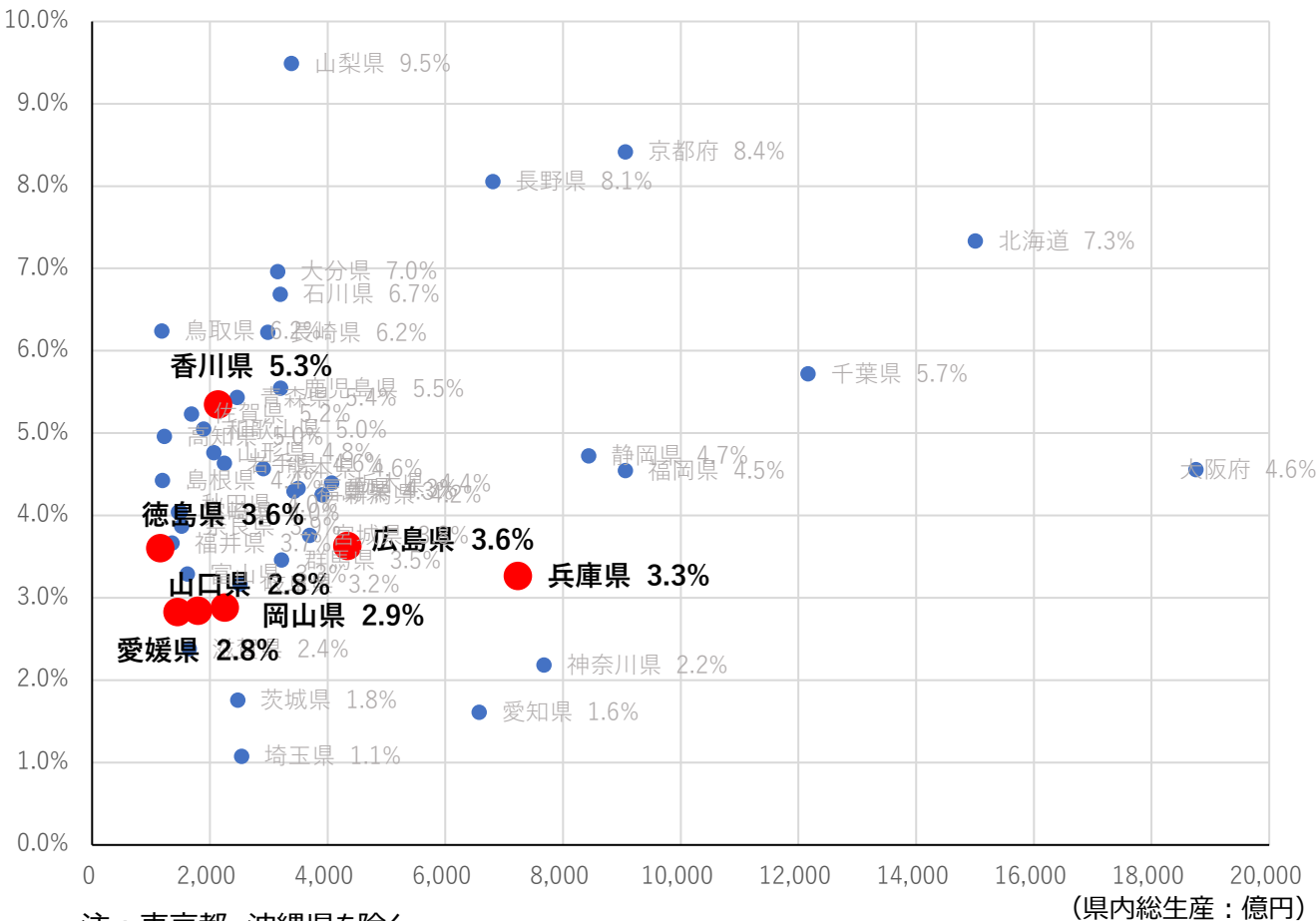
出典：せとうち観光推進機構「住民満足度調査報告書」（令和6年度）

## 2. (参考) 都道府県別のGDPとインバウンド消費額比率



- 九州7県では、国内総生産に占めるインバウンド消費額の比率が4.0～7.0%であるのに対し、せとうち7県では2.8～5.3%にとどまっている。
- 住民満足度調査は経済的満足度を評価する指標であるため、経済への影響度が比較的低いせとうち7県は、九州7県と比べて評価が低くなる傾向があると考えられる。

県内総生産に占めるインバウンド消費額比率（都道府県別2019年比較）



| 順位 | 都道府県 | 億円     | %     | 順位 | 都道府県 | 億円     | %    |
|----|------|--------|-------|----|------|--------|------|
| 1  | 沖縄県  | 8,864  | 19.1% | 25 | 三重県  | 3,497  | 4.3% |
| 2  | 山梨県  | 3,384  | 9.5%  | 26 | 福島県  | 3,428  | 4.3% |
| 3  | 京都府  | 9,059  | 8.4%  | 27 | 新潟県  | 3,904  | 4.2% |
| 4  | 長野県  | 6,808  | 8.1%  | 28 | 宮崎県  | 1,496  | 4.0% |
| 5  | 北海道  | 15,006 | 7.3%  | 29 | 秋田県  | 1,464  | 4.0% |
| 6  | 大分県  | 3,150  | 7.0%  | 30 | 奈良県  | 1,518  | 3.9% |
| 7  | 石川県  | 3,194  | 6.7%  | 31 | 宮城県  | 3,692  | 3.8% |
| 8  | 鳥取県  | 1,181  | 6.2%  | 32 | 福井県  | 1,354  | 3.7% |
| 9  | 長崎県  | 2,980  | 6.2%  | 33 | 広島県  | 4,340  | 3.6% |
| 10 | 千葉県  | 12,164 | 5.7%  | 34 | 徳島県  | 1,159  | 3.6% |
| 11 | 鹿児島県 | 3,200  | 5.5%  | 35 | 群馬県  | 3,218  | 3.5% |
| 12 | 青森県  | 2,462  | 5.4%  | 36 | 富山県  | 1,614  | 3.3% |
| 13 | 香川県  | 2,142  | 5.3%  | 37 | 兵庫県  | 7,237  | 3.3% |
| 14 | 佐賀県  | 1,683  | 5.2%  | 38 | 岐阜県  | 2,511  | 3.2% |
| 15 | 和歌山県 | 1,889  | 5.0%  | 39 | 岡山県  | 2,257  | 2.9% |
| 16 | 高知県  | 1,222  | 5.0%  | 40 | 東京都  | 33,171 | 2.9% |
| 17 | 山形県  | 2,064  | 4.8%  | 41 | 山口県  | 1,802  | 2.8% |
| 18 | 静岡県  | 8,432  | 4.7%  | 42 | 愛媛県  | 1,454  | 2.8% |
| 19 | 岩手県  | 2,245  | 4.6%  | 43 | 滋賀県  | 1,647  | 2.4% |
| 20 | 熊本県  | 2,906  | 4.6%  | 44 | 神奈川県 | 7,675  | 2.2% |
| 21 | 大阪府  | 18,753 | 4.6%  | 45 | 茨城県  | 2,471  | 1.8% |
| 22 | 福岡県  | 9,059  | 4.5%  | 46 | 愛知県  | 6,575  | 1.6% |
| 23 | 島根県  | 1,189  | 4.4%  | 47 | 埼玉県  | 2,538  | 1.1% |
| 24 | 栃木県  | 4,066  | 4.4%  |    |      |        |      |

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」、内閣府「県民経済計算」

注：東京都、沖縄県を除く

## 2. ②来訪者満足度・再訪意向



- 外国人旅行者のせとうちの『認知度』は2022年度に大きく増加しており、来訪意向、来訪経験は2022年度以降増加傾向にある。また、せとうち来訪者の満足度・再訪意向は2023年度に大きく増加している（図表1）。
- 「2年以上前」と比べて「2年以内」の来訪者では満足度、再訪意向とも増加している（図表2）。
- 2021年度から2022年度はコロナ禍の収束による旅行マインドの変化、2023年度からは実際の移動が増加していることに加え、円安の効果もあり訪日外客数の増加とともに、国内各地への来訪意向が高まっているものと推察される。
- 訪日経験者に占める「せとうち来訪者」の割合は、2023年度の71.0%から2024年度では86.6%と増加している（図表3）。

【図表1】

|               |           | 認知度                          |                              | 来訪意向                         |                              | 来訪経験                         |              | 来訪者の評価と意向 |  | 訪日外客数<br>(人) |
|---------------|-----------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------|-----------|--|--------------|
|               |           |                              |                              |                              |                              | 満足度                          | 再訪意向         |           |  |              |
| 2020年度        |           | <div><div></div></div> 44.9% | <div><div></div></div> 13.1% | <div><div></div></div> 10.2% | <div><div></div></div> 62.3% | <div><div></div></div> 62.7% | 242,154      |           |  |              |
| 2021年度        |           | <div><div></div></div> 42.2% | <div><div></div></div> 11.0% | <div><div></div></div> 9.8%  | <div><div></div></div> 61.8% | <div><div></div></div> 61.5% | 280,315      |           |  |              |
| 2022年度        |           | <div><div></div></div> 61.4% | <div><div></div></div> 14.2% | <div><div></div></div> 12.2% | <div><div></div></div> 59.2% | <div><div></div></div> 57.1% | 8,522,047    |           |  |              |
| 2023年度        |           | <div><div></div></div> 72.9% | <div><div></div></div> 20.5% | <div><div></div></div> 19.2% | <div><div></div></div> 76.6% | <div><div></div></div> 76.6% | 28,834,290   |           |  |              |
| 2024年度        |           | <div><div></div></div> 74.0% | <div><div></div></div> 22.3% | <div><div></div></div> 25.8% | <div><div></div></div> 94.2% | <div><div></div></div> 76.5% | 39,501,786 * |           |  |              |
| 旅行<br>タイ<br>プ | 知的旅行者     | <div><div></div></div> 81.3% | <div><div></div></div> 24.1% | <div><div></div></div> 25.0% | <div><div></div></div> 97.0% | <div><div></div></div> 82.5% |              |           |  |              |
|               | 趣味目的旅行者   | <div><div></div></div> 84.5% | <div><div></div></div> 30.9% | <div><div></div></div> 34.4% | <div><div></div></div> 94.5% | <div><div></div></div> 80.3% |              |           |  |              |
|               | バケーション旅行者 | <div><div></div></div> 79.6% | <div><div></div></div> 28.7% | <div><div></div></div> 33.4% | <div><div></div></div> 96.1% | <div><div></div></div> 78.6% |              |           |  |              |
|               | 物見旅行者     | <div><div></div></div> 79.5% | <div><div></div></div> 23.9% | <div><div></div></div> 24.7% | <div><div></div></div> 96.2% | <div><div></div></div> 84.0% |              |           |  |              |
|               | 友人親戚訪問旅行者 | <div><div></div></div> 88.8% | <div><div></div></div> 47.4% | <div><div></div></div> 57.7% | <div><div></div></div> 95.9% | <div><div></div></div> 77.6% |              |           |  |              |
|               | 低予算自由旅行者  | <div><div></div></div> 76.4% | <div><div></div></div> 21.7% | <div><div></div></div> 27.4% | <div><div></div></div> 94.2% | <div><div></div></div> 72.2% |              |           |  |              |
| 対<br>象<br>国   | アメリカ      | <div><div></div></div> 67.1% | <div><div></div></div> 16.8% | <div><div></div></div> 21.7% | <div><div></div></div> 91.6% | <div><div></div></div> 73.4% |              |           |  |              |
|               | イギリス      | <div><div></div></div> 75.1% | <div><div></div></div> 25.5% | <div><div></div></div> 32.3% | <div><div></div></div> 95.3% | <div><div></div></div> 74.8% |              |           |  |              |
|               | フランス      | <div><div></div></div> 76.2% | <div><div></div></div> 16.9% | <div><div></div></div> 18.9% | <div><div></div></div> 96.0% | <div><div></div></div> 80.8% |              |           |  |              |
|               | ドイツ       | <div><div></div></div> 75.3% | <div><div></div></div> 18.9% | <div><div></div></div> 23.2% | <div><div></div></div> 93.6% | <div><div></div></div> 68.6% |              |           |  |              |
|               | オーストラリア   | <div><div></div></div> 76.2% | <div><div></div></div> 33.1% | <div><div></div></div> 32.8% | <div><div></div></div> 94.0% | <div><div></div></div> 83.4% |              |           |  |              |

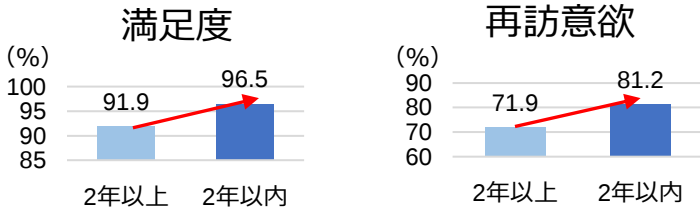
※来訪時期別の評価と意向

満足度

再訪意向

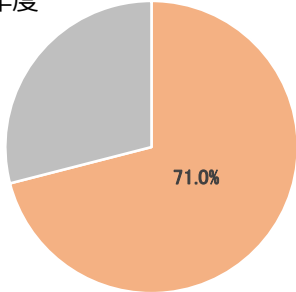
\* 2024年度は4月～11月度の実績からの推計値

【図表2】



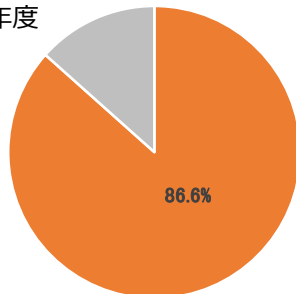
【図表3】

※訪日経験者のうち「せとうち来訪者」の割合  
2023年度



2023年度せとうち来訪者  
(n=3301)

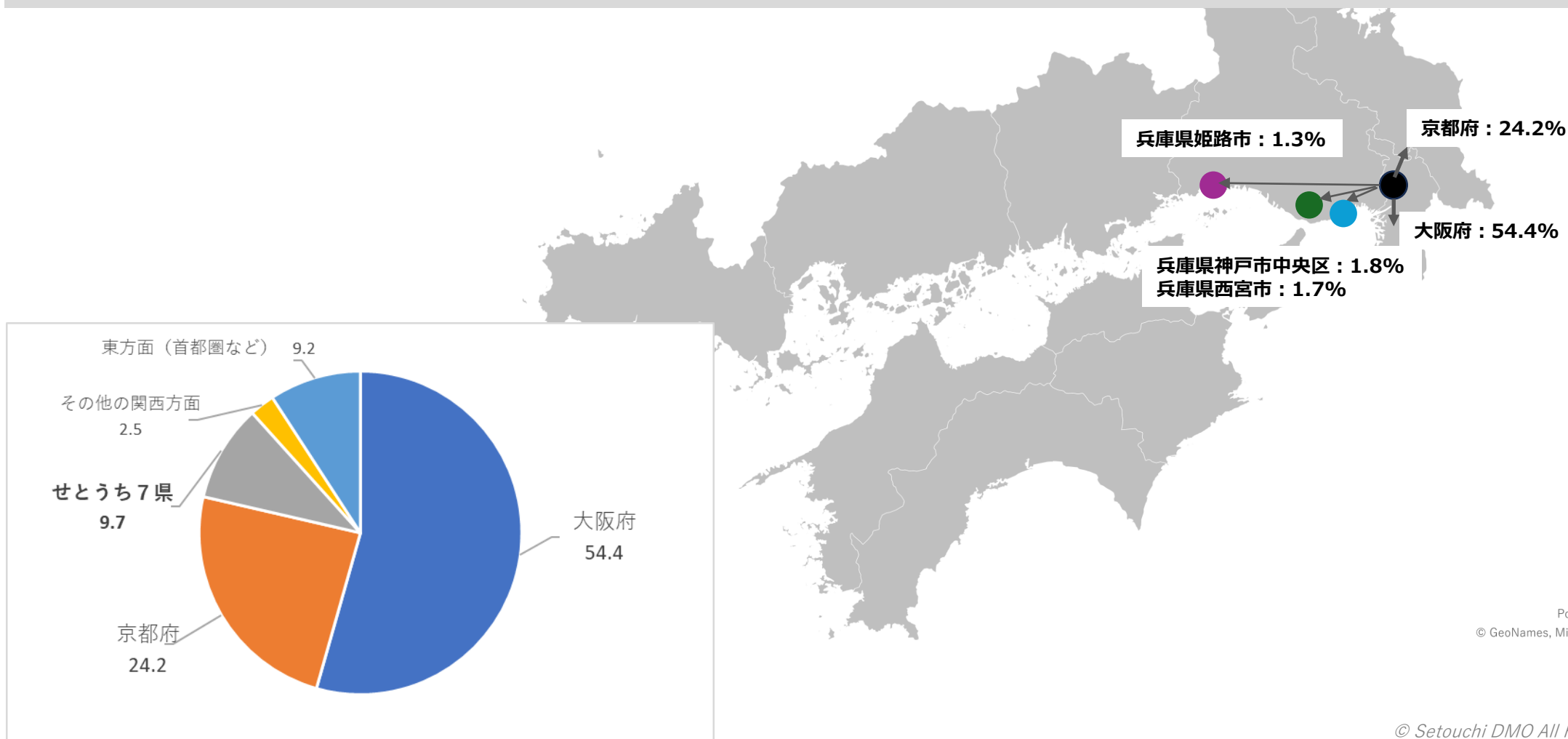
2024年度



2024年度せとうち来訪者  
(n=3316)

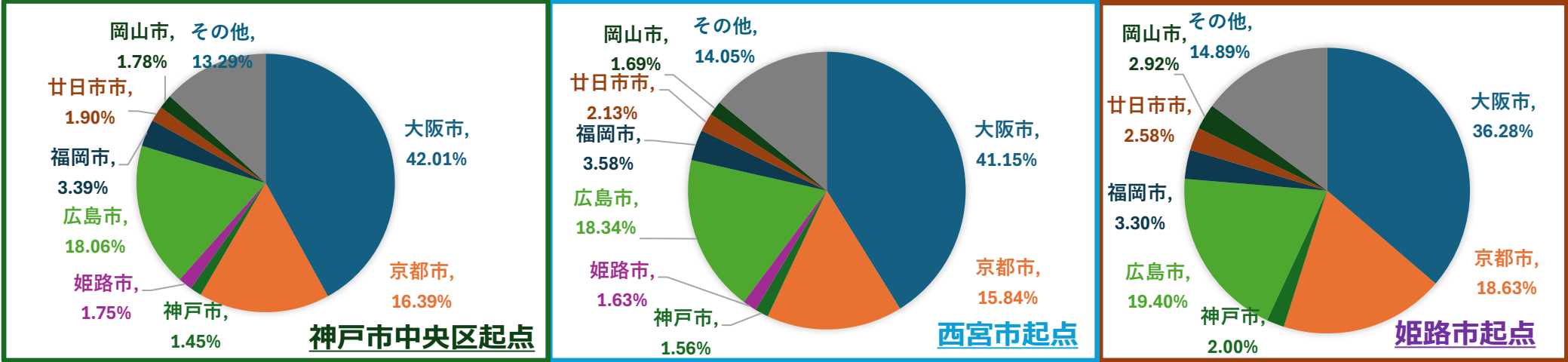
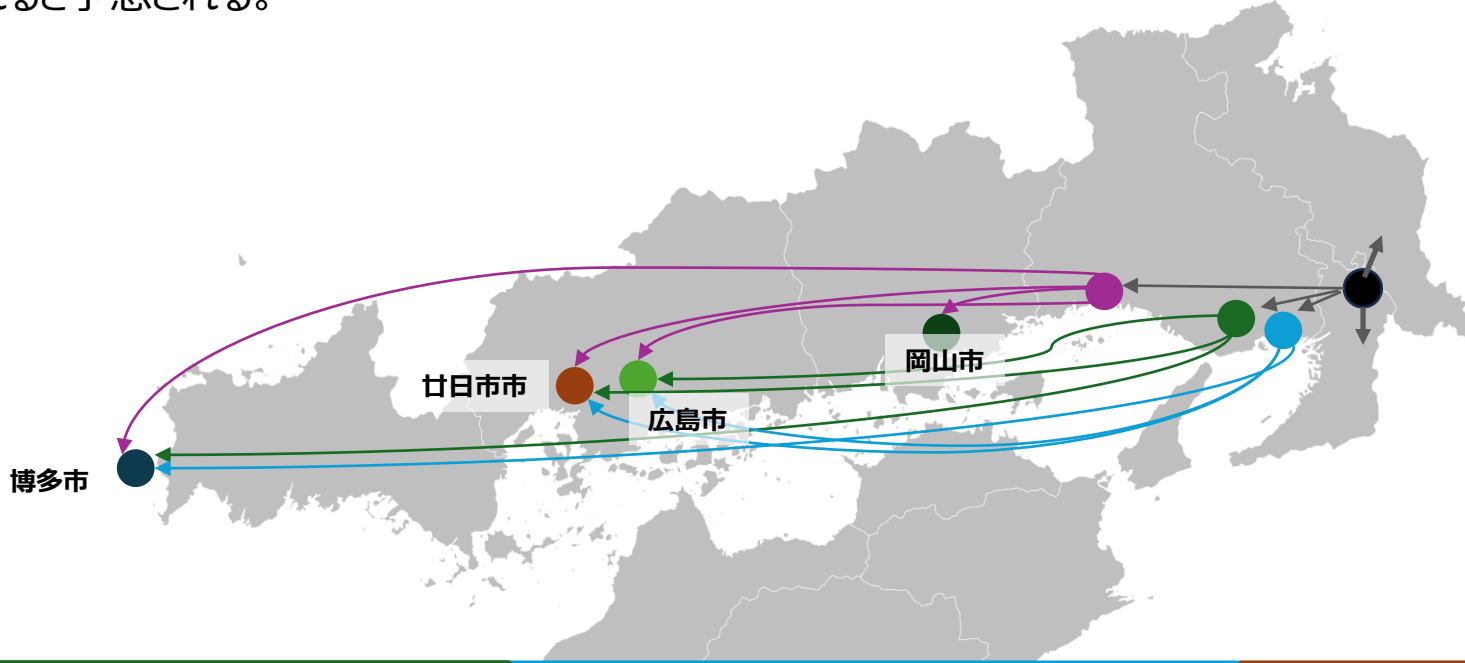
## 2. ③外国人動態調査\_大阪市北区宿泊後の経由地への動態

- ・ 欧米豪5か国の人流データの合計値で推定した。
- ・ 大阪市北区宿泊後は、約80%が大阪・京都へ移動し、約10%がせとうち7県（兵庫8%、広島・岡山各1%）へ移動している。
- ・ こうした中、せとうち7県への移動割合を高める施策として、「せとうちエリア内の宿泊施設に対するコンシェルジュを活用したホスピタリティ人材育成研修の開催事業」などに取り組んでいる。



## 2. ③外国人動態調査\_兵庫エリアからの宿泊目的地への動態

兵庫エリアの経由地から先の宿泊目的地を整理すると以下の通り。関西へ戻るルートが減り、広島市・廿日市市・岡山市・博多ルートが増える。地域の主要観光地への遷移が目立つことから、ここから次の動態では県内・周辺エリアへの周遊が促進されると予想される。



## 2. ③外国人動態調査\_兵庫県：兵庫県神戸市中央区（JR：新神戸駅）



### 要約

新神戸駅周辺からは、大阪・京都への動態が多くを占めるが、一部、姫路・岡山・広島方面へも移動する。また宿泊目的で福岡への移動も確認できる。四国への動態は少ない。

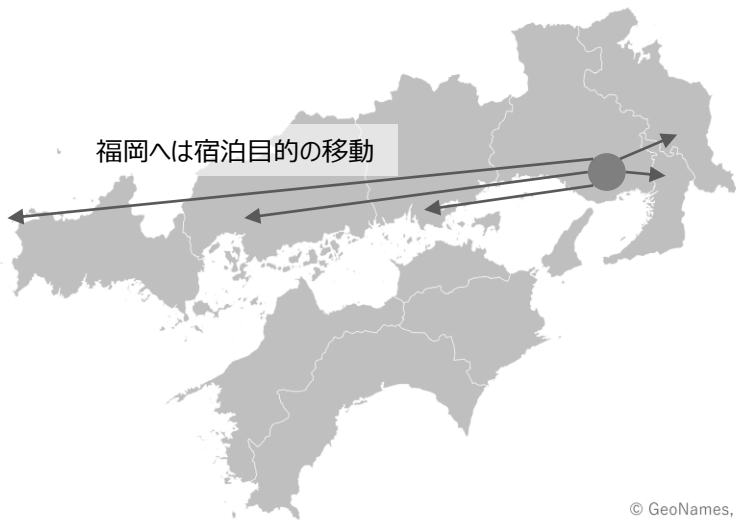
### 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡国際空港 | その他  |
|--------|--------|--------|--------|------|
| 40.8%  | 36.2%  | 20.8%  | 1.2%   | 1.0% |

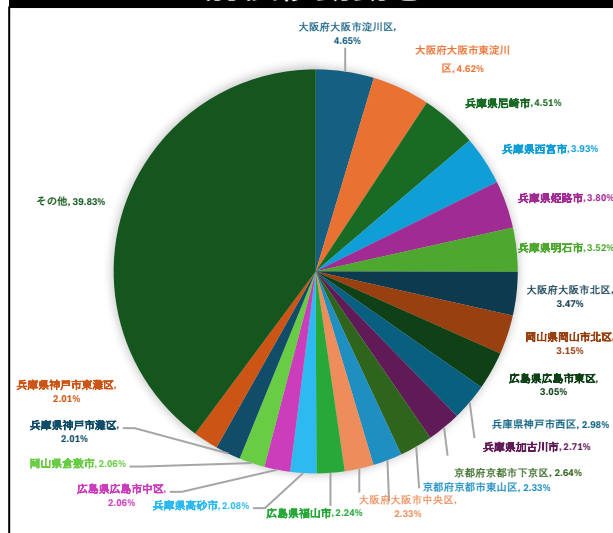
### 来訪している観光客の訪日リピート率

31.9%

### 主要な動態ルート

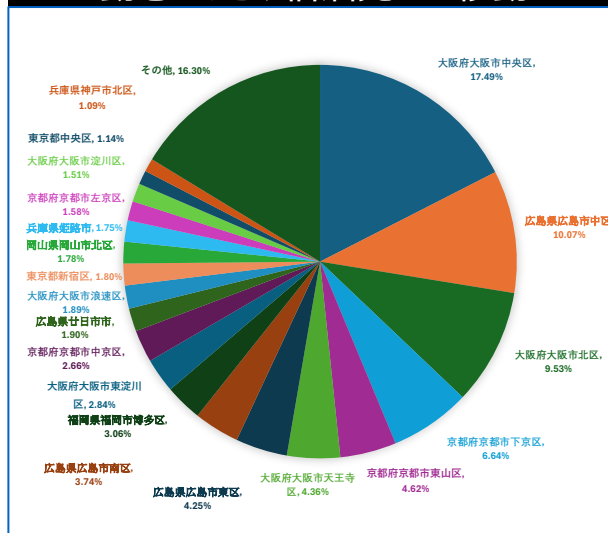


### 前後移動動態



|            |        |
|------------|--------|
| 大阪府大阪市淀川区  | 4.65%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 4.62%  |
| 兵庫県尼崎市     | 4.51%  |
| 兵庫県西宮市     | 3.93%  |
| 兵庫県姫路市     | 3.80%  |
| 兵庫県明石市     | 3.52%  |
| 大阪府大阪市北区   | 3.47%  |
| 岡山県岡山市北区   | 3.15%  |
| 広島県広島市東区   | 3.05%  |
| 兵庫県神戸市西区   | 2.98%  |
| 兵庫県加古川市    | 2.71%  |
| 京都府京都市下京区  | 2.64%  |
| 京都府京都市東山区  | 2.33%  |
| 大阪府大阪市中央区  | 2.33%  |
| 広島県福山市     | 2.24%  |
| 兵庫県高砂市     | 2.08%  |
| 広島県広島市中区   | 2.06%  |
| 岡山県倉敷市     | 2.06%  |
| 兵庫県神戸市灘区   | 2.01%  |
| 兵庫県神戸市東灘区  | 2.01%  |
| その他        | 39.83% |

### 動態のうち、宿泊先への移動



|            |        |
|------------|--------|
| 大阪府大阪市中央区  | 17.49% |
| 広島県広島市中区   | 10.07% |
| 大阪府大阪市北区   | 9.53%  |
| 京都府京都市下京区  | 6.64%  |
| 京都府京都市東山区  | 4.62%  |
| 大阪府大阪市天王寺区 | 4.36%  |
| 広島県広島市東区   | 4.25%  |
| 広島県広島市南区   | 3.74%  |
| 福岡県福岡市博多区  | 3.06%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 2.84%  |
| 京都府京都市中京区  | 2.66%  |
| 広島県廿日市市    | 1.90%  |
| 大阪府大阪市浪速区  | 1.89%  |
| 東京都新宿区     | 1.80%  |
| 岡山県岡山市北区   | 1.78%  |
| 兵庫県姫路市     | 1.75%  |
| 京都府京都市左京区  | 1.58%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 1.51%  |
| 東京都中央区     | 1.14%  |
| 兵庫県神戸市北区   | 1.09%  |
| その他        | 16.30% |

# 2. ③外国人動態調査\_岡山県：岡山県岡山市北区（JR：岡山駅）

## 要約

岡山駅からは新神戸駅と比べて大阪・京都への動態が減り、倉敷・姫路・広島・廿日市への動態が増える。また高松/直島への移動動態も出現し、四国へのターミナルとなっていると推察

## 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡国際空港 | その他  |
|--------|--------|--------|--------|------|
| 40.2%  | 36.7%  | 20.4%  | 2.0%   | 0.7% |

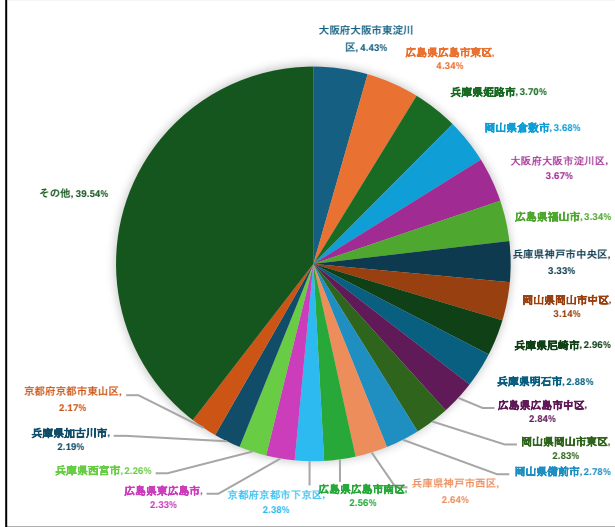
## 来訪している観光客の訪日リピート率

32.5%

## 主要な動態ルート

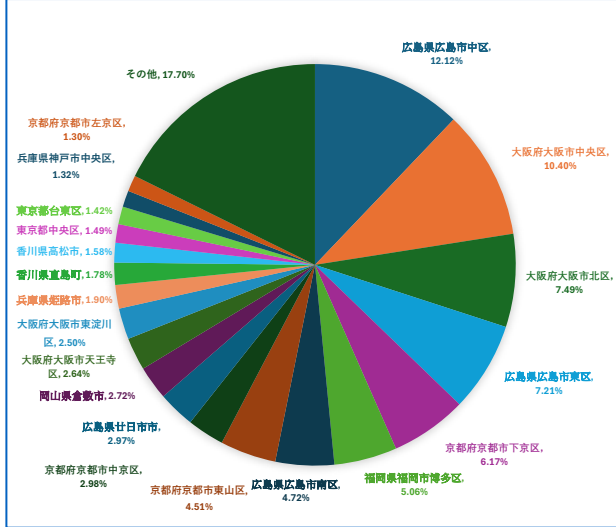


## 前後移動動態



|            |        |
|------------|--------|
| 大阪府大阪市東淀川区 | 4.43%  |
| 広島県広島市東区   | 4.34%  |
| 兵庫県姫路市     | 3.70%  |
| 岡山県倉敷市     | 3.68%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 3.67%  |
| 広島県福山市     | 3.34%  |
| 兵庫県神戸市中央区  | 3.33%  |
| 岡山県岡山市中区   | 3.14%  |
| 兵庫県尼崎市     | 2.96%  |
| 兵庫県明石市     | 2.88%  |
| 広島県広島市中区   | 2.84%  |
| 岡山県岡山市東区   | 2.83%  |
| 岡山県備前市     | 2.78%  |
| 兵庫県神戸市西区   | 2.64%  |
| 広島県広島市南区   | 2.56%  |
| 京都府京都市下京区  | 2.38%  |
| 広島県東広島市    | 2.33%  |
| 兵庫県西宮市     | 2.26%  |
| 兵庫県加古川市    | 2.19%  |
| 京都府京都市東山区  | 2.17%  |
| Power その他  | 39.54% |

## 動態のうち、宿泊先への移動



|            |        |
|------------|--------|
| 広島県広島市中区   | 12.12% |
| 大阪府大阪市中央区  | 10.40% |
| 大阪府大阪市北区   | 7.49%  |
| 広島県広島市東区   | 7.21%  |
| 京都府京都市下京区  | 6.17%  |
| 福岡県福岡市博多区  | 5.06%  |
| 広島県広島市南区   | 4.72%  |
| 京都府京都市東山区  | 4.51%  |
| 京都府京都市中京区  | 2.98%  |
| 広島県廿日市市    | 2.97%  |
| 岡山県倉敷市     | 2.72%  |
| 大阪府大阪市天王寺区 | 2.64%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 2.50%  |
| 兵庫県姫路市     | 1.90%  |
| 香川県直島町     | 1.78%  |
| 香川県高松市     | 1.58%  |
| 東京都中央区     | 1.49%  |
| 東京都台東区     | 1.42%  |
| 兵庫県神戸市中央区  | 1.32%  |
| 京都府京都市左京区  | 1.30%  |
| その他        | 17.70% |

## 2. ③外国人動態調査\_広島県広島市南区（JR：広島駅）

### 要約

広島市内への周遊が多く、大阪・岡山・福山・廿日市・京都への動態も見られる。福岡・四国への動態は少ない。初回訪問者が多いことも特徴であり別地域と別のターゲティングが可能と推察。

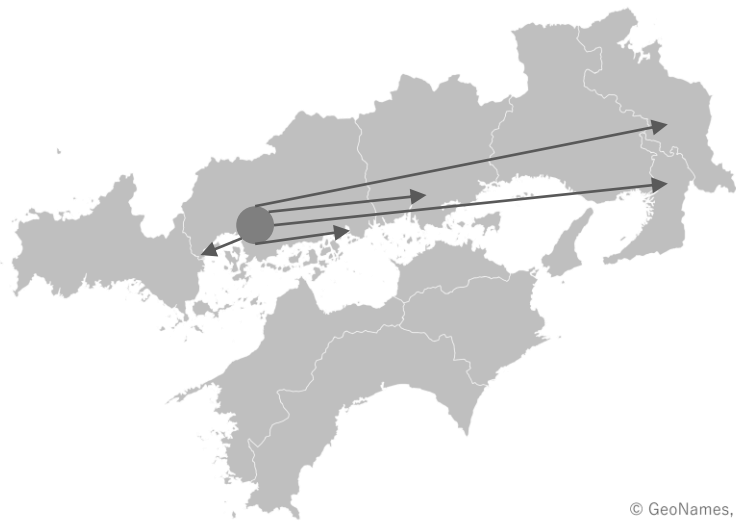
### 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡国際空港 | その他  |
|--------|--------|--------|--------|------|
| 42.0%  | 36.2%  | 18.5%  | 2.5%   | 0.9% |

### 来訪している観光客の訪日リピート率

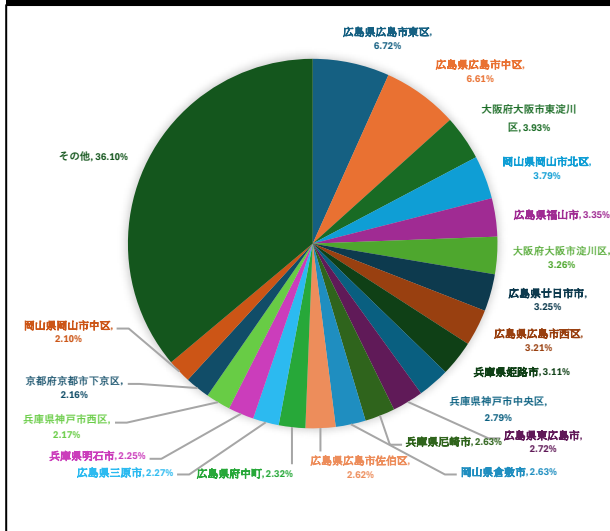
21.4%

### 主要な動態ルート



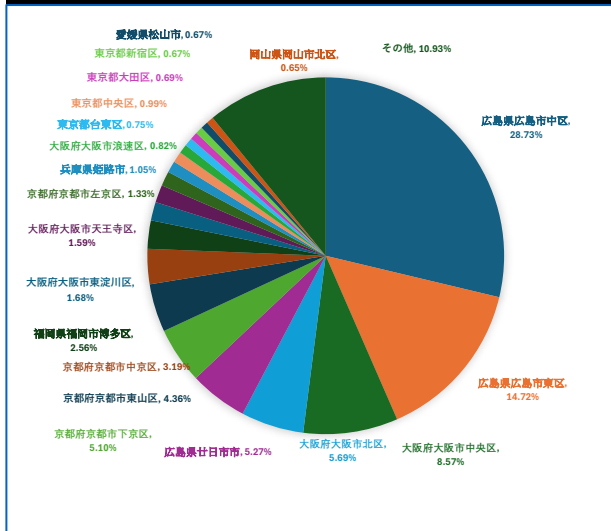
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

### 前後移動動態



|            |        |
|------------|--------|
| 広島県広島市東区   | 6.72%  |
| 広島県広島市中区   | 6.61%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 3.93%  |
| 岡山県岡山市北区   | 3.79%  |
| 広島県福山市     | 3.35%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 3.26%  |
| 広島県廿日市市    | 3.25%  |
| 広島県広島市西区   | 3.21%  |
| 兵庫県姫路市     | 3.11%  |
| 兵庫県神戸市中央区  | 2.79%  |
| 広島県東広島市    | 2.72%  |
| 兵庫県尼崎市     | 2.63%  |
| 岡山県倉敷市     | 2.63%  |
| 広島県広島市佐伯区  | 2.62%  |
| 広島県府中町     | 2.32%  |
| 広島県三原市     | 2.27%  |
| 兵庫県明石市     | 2.25%  |
| 兵庫県神戸市西区   | 2.17%  |
| 京都府京都市下京区  | 2.16%  |
| 岡山県岡山市中区   | 2.10%  |
| その他        | 36.10% |

### 動態のうち、宿泊先への移動



|            |        |
|------------|--------|
| 広島県広島市中区   | 28.73% |
| 広島県広島市東区   | 14.72% |
| 大阪府大阪市中央区  | 8.57%  |
| 大阪府大阪市北区   | 5.69%  |
| 広島県廿日市市    | 5.27%  |
| 京都府京都市下京区  | 5.10%  |
| 京都府京都市東山区  | 4.36%  |
| 京都府京都市中京区  | 3.19%  |
| 福岡県福岡市博多区  | 2.56%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 1.68%  |
| 大阪府大阪市天王寺区 | 1.59%  |
| 京都府京都市左京区  | 1.33%  |
| 兵庫県姫路市     | 1.05%  |
| 東京都中央区     | 0.99%  |
| 大阪府大阪市浪速区  | 0.82%  |
| 東京都台東区     | 0.75%  |
| 東京都大田区     | 0.69%  |
| 東京都新宿区     | 0.67%  |
| 愛媛県松山市     | 0.67%  |
| 岡山県岡山市北区   | 0.65%  |
| その他        | 10.93% |

# 2. ③外国人動態調査\_山口県：山口県岩国市（JR：新岩国駅）

## 要約

広島/山口県内での周遊だけでなく、福岡/熊本/長崎への宿泊目的移動が増える。大阪への移動は減少。関空経由が減り、福岡空港利用者が増える。リピート客の来訪が多い。

## 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡国際空港 | その他  |
|--------|--------|--------|--------|------|
| 48.0%  | 33.9%  | 11.8%  | 5.2%   | 1.1% |

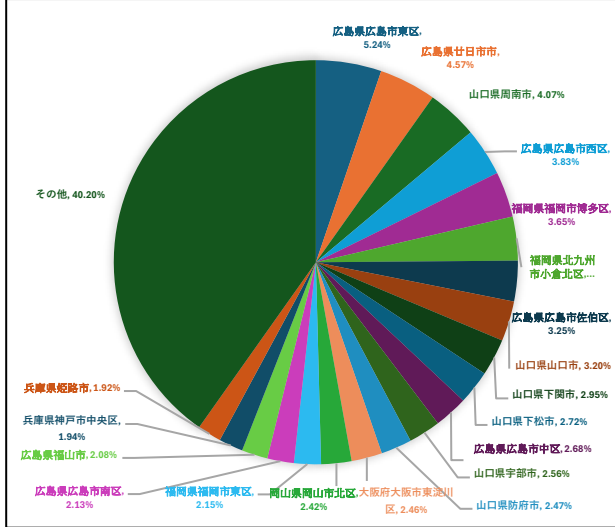
## 来訪している観光客の訪日リピート率

51.6%

## 主要な動態ルート

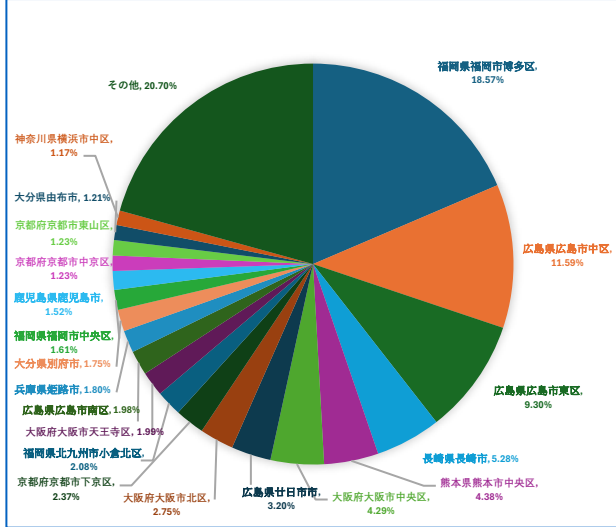


## 前後移動動態



|             |        |
|-------------|--------|
| 広島県広島市東区    | 5.24%  |
| 広島県廿日市市     | 4.57%  |
| 山口県周南市      | 4.07%  |
| 広島県広島市西区    | 3.83%  |
| 福岡県福岡市博多区   | 3.65%  |
| 福岡県北九州市小倉北区 | 3.51%  |
| 広島県広島市佐伯区   | 3.25%  |
| 山口県山口市      | 3.20%  |
| 山口県下関市      | 2.95%  |
| 山口県下松市      | 2.72%  |
| 広島県広島市中区    | 2.68%  |
| 山口県宇部市      | 2.56%  |
| 山口県防府市      | 2.47%  |
| 大阪府大阪市東淀川区  | 2.46%  |
| 岡山県岡山市北区    | 2.42%  |
| 福岡県福岡市東区    | 2.15%  |
| 広島県広島市南区    | 2.13%  |
| 広島県福山市      | 2.08%  |
| 兵庫県神戸市中央区   | 1.94%  |
| 兵庫県姫路市      | 1.92%  |
| Power その他   | 40.20% |

## 動態のうち、宿泊先への移動



|             |        |
|-------------|--------|
| 福岡県福岡市博多区   | 18.57% |
| 広島県広島市中区    | 11.59% |
| 広島県広島市東区    | 9.30%  |
| 長崎県長崎市      | 5.28%  |
| 熊本県熊本市中央区   | 4.38%  |
| 大阪府大阪市中央区   | 4.29%  |
| 広島県廿日市市     | 3.20%  |
| 大阪府大阪市北区    | 2.75%  |
| 京都府京都市下京区   | 2.37%  |
| 福岡県北九州市小倉北区 | 2.08%  |
| 大阪府大阪市天王寺区  | 1.99%  |
| 広島県広島市南区    | 1.98%  |
| 兵庫県姫路市      | 1.80%  |
| 大分県別府市      | 1.75%  |
| 福岡県福岡市中央区   | 1.61%  |
| 鹿児島県鹿児島市    | 1.52%  |
| 京都府京都市中京区   | 1.23%  |
| 京都府京都市東山区   | 1.23%  |
| 大分県由布市      | 1.21%  |
| 神奈川県横浜市中区   | 1.17%  |
| その他         | 20.70% |

※リピート率については米軍基地影響も想定。ただし本影響を差し引いても高い値の傾向は想定できる  
出典：せとうち観光推進機構「外国人動態調査」（令和6年度） 欧米豪5か国の人流データを積算

# 2. ③外国人動態調査\_徳島県：徳島県鳴門市（淡路島からの流入経路）



## 要約

鳴門市の前後動態は徳島市側が多い。本州との経路は兵庫・淡路と、香川・岡山側のルートが存在。宿泊先は徳島・高松・岡山以外に関東や大阪・尾道も存在。訪日リピート客の来訪が多い。

## 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 鹿児島空港 | その他  |
|--------|--------|--------|-------|------|
| 42.9%  | 30.3%  | 22.1%  | 2.4%  | 2.2% |

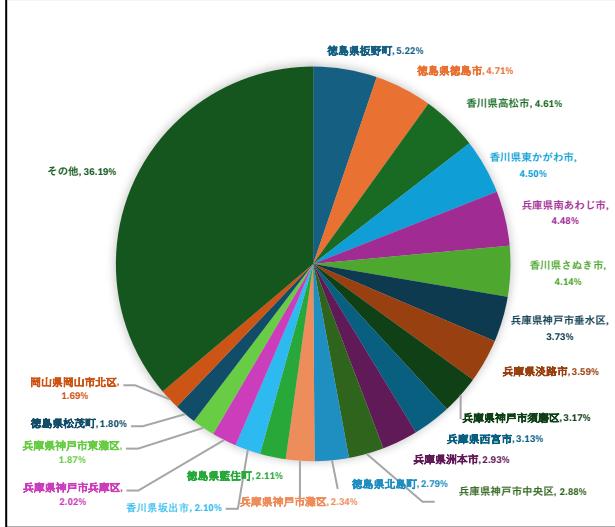
## 来訪している観光客の訪日リピート率

45.9%

## 主要な動態ルート

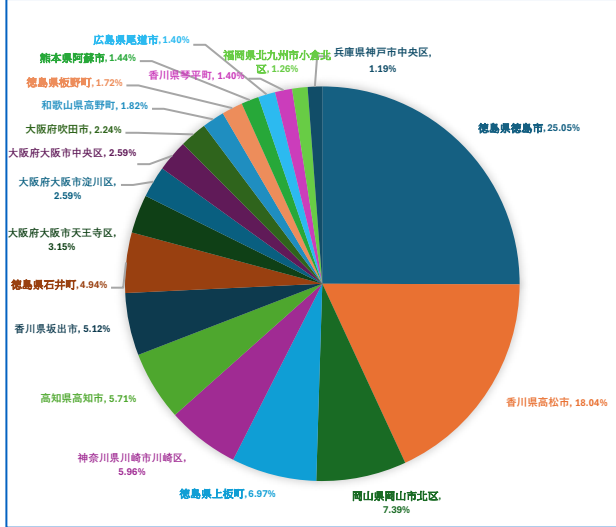


## 前後移動動態



|           |        |
|-----------|--------|
| 徳島県板野町    | 5.22%  |
| 徳島県徳島市    | 4.71%  |
| 香川県高松市    | 4.61%  |
| 香川県東かがわ市  | 4.50%  |
| 兵庫県南あわじ市  | 4.48%  |
| 香川県さぬき市   | 4.14%  |
| 兵庫県神戸市垂水区 | 3.73%  |
| 兵庫県淡路市    | 3.59%  |
| 兵庫県神戸市須磨区 | 3.17%  |
| 兵庫県西宮市    | 3.13%  |
| 兵庫県洲本市    | 2.93%  |
| 兵庫県神戸市中央区 | 2.88%  |
| 徳島県北島町    | 2.79%  |
| 兵庫県神戸市灘区  | 2.34%  |
| 徳島県藍住町    | 2.11%  |
| 香川県坂出市    | 2.10%  |
| 兵庫県神戸市兵庫区 | 2.02%  |
| 兵庫県神戸市東灘区 | 1.87%  |
| 徳島県松茂町    | 1.80%  |
| 岡山県岡山市北区  | 1.69%  |
| その他       | 36.19% |

## 動態のうち、宿泊先への移動



|             |        |
|-------------|--------|
| 徳島県徳島市      | 25.05% |
| 香川県高松市      | 18.04% |
| 岡山県岡山市北区    | 7.39%  |
| 徳島県上板町      | 6.97%  |
| 神奈川県川崎市川崎区  | 5.96%  |
| 高知県高知市      | 5.71%  |
| 香川県坂出市      | 5.12%  |
| 徳島県石井町      | 4.94%  |
| 大阪府大阪市天王寺区  | 3.15%  |
| 大阪府大阪市淀川区   | 2.59%  |
| 大阪府大阪市中央区   | 2.59%  |
| 大阪府吹田市      | 2.24%  |
| 和歌山県高野町     | 1.82%  |
| 徳島県板野町      | 1.72%  |
| 熊本県阿蘇市      | 1.44%  |
| 広島県尾道市      | 1.40%  |
| 香川県琴平町      | 1.40%  |
| 福岡県北九州市小倉北区 | 1.26%  |
| 兵庫県神戸市中央区   | 1.19%  |

# 2. ③外国人動態調査\_香川県：香川県坂出市（瀬戸大橋からの流入経路）

## 要約

岡山県からの動態がほとんどであり、特に倉敷經由(JR)が多い。香川県内の周遊がほとんど。宿泊先は高松・岡山・大阪・今治・徳島と続き、直島町も存在。来訪者のリピート観光客割合は高い

## 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡空港 | その他  |
|--------|--------|--------|------|------|
| 41.5%  | 37.8%  | 14.2%  | 4.5% | 2.0% |

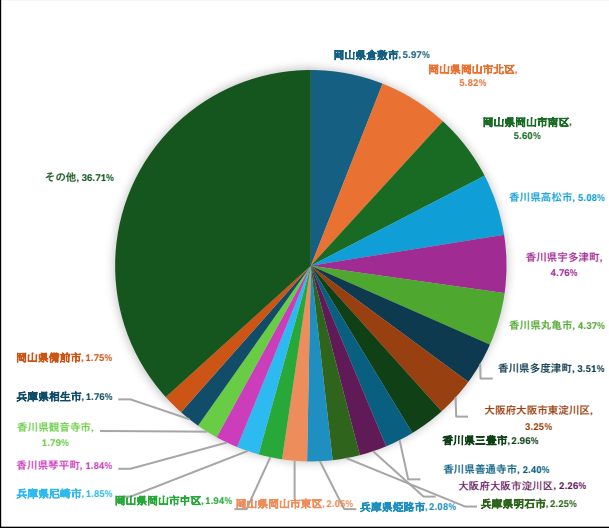
## 来訪している観光客の訪日リピート率

49.7%

## 主要な動態ルート

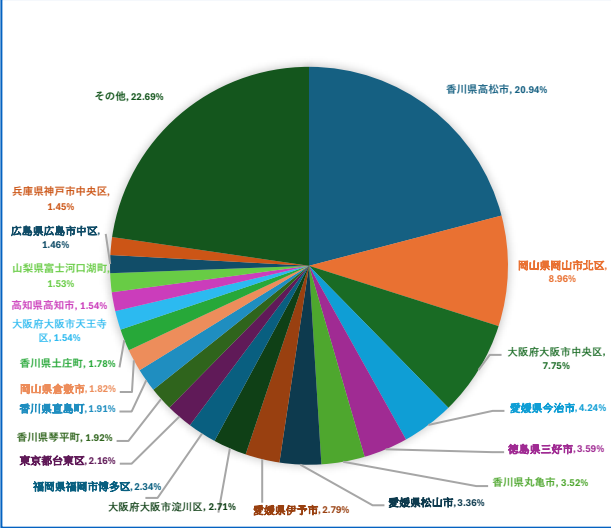


## 前後移動動態



|            |        |
|------------|--------|
| 岡山県倉敷市     | 5.97%  |
| 岡山県岡山市北区   | 5.82%  |
| 岡山県岡山市南区   | 5.60%  |
| 香川県高松市     | 5.08%  |
| 香川県宇多津町    | 4.76%  |
| 香川県丸亀市     | 4.37%  |
| 香川県多度津町    | 3.51%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 3.25%  |
| 香川県三豊市     | 2.96%  |
| 香川県善通寺市    | 2.40%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 2.26%  |
| 兵庫県明石市     | 2.25%  |
| 兵庫県姫路市     | 2.08%  |
| 岡山県岡山市東区   | 2.05%  |
| 岡山県岡山市中区   | 1.94%  |
| 兵庫県尼崎市     | 1.85%  |
| 香川県琴平町     | 1.84%  |
| 香川県観音寺市    | 1.79%  |
| 兵庫県相生市     | 1.76%  |
| 岡山県備前市     | 1.75%  |
| その他        | 36.71% |

## 動態のうち、宿泊先への移動



|            |        |
|------------|--------|
| 香川県高松市     | 20.94% |
| 岡山県岡山市北区   | 8.96%  |
| 大阪府大阪市中央区  | 7.75%  |
| 愛媛県今治市     | 4.24%  |
| 徳島県三好市     | 3.59%  |
| 香川県丸亀市     | 3.52%  |
| 愛媛県松山市     | 3.36%  |
| 愛媛県伊予市     | 2.79%  |
| 大阪府大阪市淀川区  | 2.71%  |
| 福岡県福岡市博多区  | 2.34%  |
| 東京都台東区     | 2.16%  |
| 香川県琴平町     | 1.92%  |
| 香川県直島町     | 1.91%  |
| 岡山県倉敷市     | 1.82%  |
| 香川県土庄町     | 1.78%  |
| 大阪府大阪市天王寺区 | 1.54%  |
| 高知県高知市     | 1.54%  |
| 山梨県富士河口湖町  | 1.53%  |
| 広島県広島市中区   | 1.46%  |
| 兵庫県神戸市中央区  | 1.45%  |
| その他        | 22.69% |

出典：せとうち観光推進機構「外国人動態調査」（令和6年度） 欧米豪5か国の人流データを積算

## 2. ③外国人動態調査\_愛媛県今治市（しまなみ海道からの流入経路）



### 要約

松山市、尾道市からが多く、次いで愛媛/香川県内の周遊。宿泊先は松山・尾道・広島・高松の順だが、京都市も存在。来訪者のリピート率割合は高くなく初回の観光者が多い傾向。

### 本エリア経由観光客の入出国空港割合

| 東京国際空港 | 成田国際空港 | 関西国際空港 | 福岡空港 | その他  |
|--------|--------|--------|------|------|
| 40.5%  | 32.3%  | 22.2%  | 4.1% | 0.9% |

### 来訪している観光客の訪日リピート率

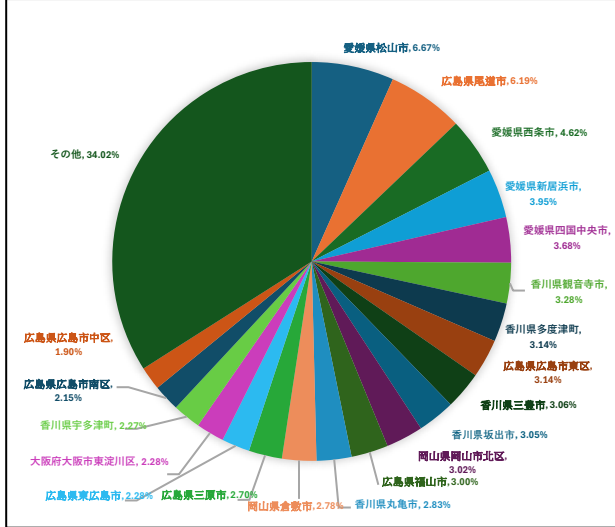
27.6%

### 主要な動態ルート



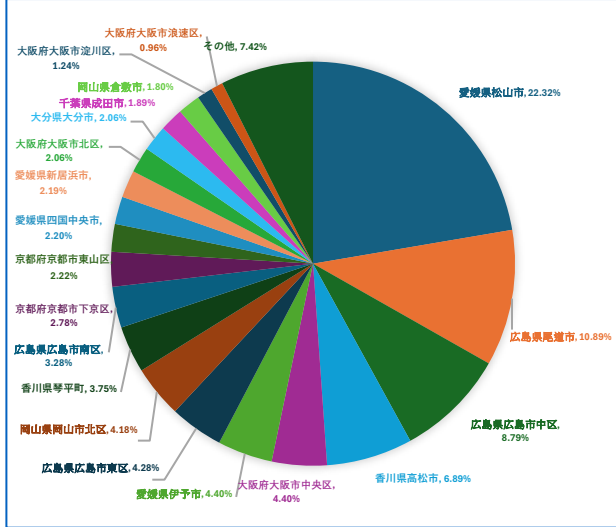
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

### 前後移動動態



|            |        |
|------------|--------|
| 愛媛県松山市     | 6.67%  |
| 広島県尾道市     | 6.19%  |
| 愛媛県西条市     | 4.62%  |
| 愛媛県新居浜市    | 3.95%  |
| 愛媛県四国中央市   | 3.68%  |
| 香川県観音寺市    | 3.28%  |
| 香川県多度津町    | 3.14%  |
| 広島県広島市東区   | 3.14%  |
| 香川県三豊市     | 3.06%  |
| 香川県坂出市     | 3.05%  |
| 岡山県岡山市北区   | 3.02%  |
| 広島県福山市     | 3.00%  |
| 香川県丸亀市     | 2.83%  |
| 岡山県倉敷市     | 2.78%  |
| 広島県三原市     | 2.70%  |
| 広島県東広島市    | 2.28%  |
| 大阪府大阪市東淀川区 | 2.28%  |
| 香川県宇多津町    | 2.27%  |
| 広島県広島市南区   | 2.15%  |
| 広島県広島市中区   | 1.90%  |
| その他        | 34.02% |

### 動態のうち、宿泊先への移動



|           |        |
|-----------|--------|
| 愛媛県松山市    | 22.32% |
| 広島県尾道市    | 10.89% |
| 広島県広島市中区  | 8.79%  |
| 香川県高松市    | 6.89%  |
| 大阪府大阪市中央区 | 4.40%  |
| 愛媛県伊予市    | 4.40%  |
| 広島県広島市東区  | 4.28%  |
| 岡山県岡山市北区  | 4.18%  |
| 香川県琴平町    | 3.75%  |
| 広島県広島市南区  | 3.28%  |
| 京都府京都市下京区 | 2.78%  |
| 京都府京都市東山区 | 2.22%  |
| 愛媛県四国中央市  | 2.20%  |
| 愛媛県新居浜市   | 2.19%  |
| 大阪府大阪市北区  | 2.06%  |
| 大分県大分市    | 2.06%  |
| 千葉県成田市    | 1.89%  |
| 岡山県倉敷市    | 1.80%  |
| 大阪府大阪市淀川区 | 1.24%  |
| 大阪府大阪市浪速区 | 0.96%  |
| その他       | 7.42%  |

出典：せとうち観光推進機構「外国人動態調査」（令和6年度） 欧米豪5か国の人流データを積算

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

### 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」の分析について

- 本資料は観光庁が作成されたインバウンド消費動向調査全国調査（※）の「個票データ」を基に分析したものである。
- 対象期間は、観光庁HPから取り寄せ可能な2024年4-12月である。
- 本調査の各項目は日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」等と照らし合わせウェイトをかけた上で、日本全体の数字として推計されている。
- 本データを分析することでインバウンドの訪問先や入出国都道府県が明らかになるため、各県のインバウンドの動態の特徴を把握することが可能になる。

#### ※全国調査の概要

##### ●調査対象

日本を出国する外国人（乗員や滞在期間 1 年以上を除く）

##### ●調査方法

外国語会話可能な調査員による聞き取り調査

##### ●調査地点

全国17空海港の国際線出発ロビー等

新千歳空港、函館空港、仙台空港、成田空港、羽田空港、富士山静岡空港、小松空港、中部空港、関西空港、広島空港、関門港、高松空港、厳原港、博多港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港

##### ●目標サンプルサイズ

1四半期当たり6,900票

##### ●主な調査項目

入国空海港、在留資格、国籍・地域、同行者、来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、泊数、旅行手配方法、滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、その他意識調査

### 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_兵庫県

- 兵庫を訪れたインバウンド人数はせとうち7県の中で最も多く、大阪・京都・奈良等の関西地域を周遊する割合が高い。
- せとうちエリアの中では広島を訪れている割合が最も高く、広島とセットにしたモデルルートの設定等が有効と推測される。
- 入国は大阪（関西空港）が圧倒的に多い一方で、千葉（成田空港）・東京（羽田空港）からのゴールデンルート経由での来県が一定数あることが読み取れる。

|                        |            |
|------------------------|------------|
| インバウンド推計人数（2024年4-12月） | 1,472,475人 |
|------------------------|------------|

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数        | 訪問率 |
|----|------|-----------|-----|
| 1  | 大阪府  | 1,398,716 | 95% |
| 2  | 京都府  | 1,043,440 | 71% |
| 3  | 東京都  | 488,586   | 33% |
| 4  | 奈良県  | 469,149   | 32% |
| 5  | 千葉県  | 290,808   | 20% |
| 6  | 広島県  | 178,550   | 12% |
| 7  | 神奈川県 | 122,593   | 8%  |
| 8  | 山梨県  | 94,237    | 6%  |
| 9  | 愛知県  | 86,396    | 6%  |
| 10 | 和歌山県 | 78,022    | 5%  |

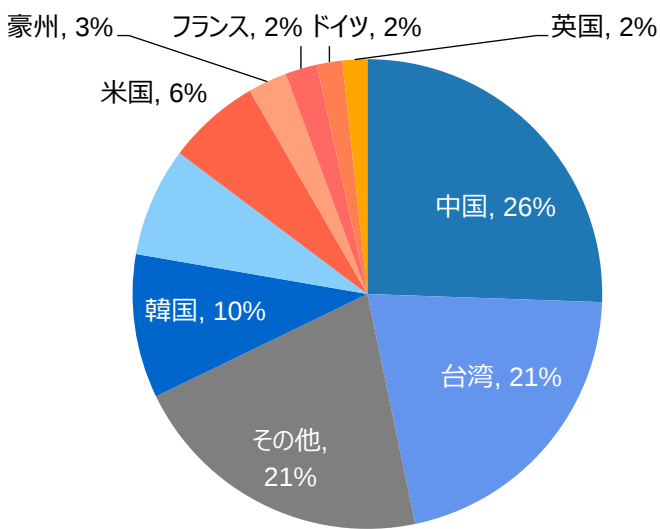
(トップ10を掲載)

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数        | 割合  |
|----|--------|-----------|-----|
| 1  | 大阪府    | 1,039,855 | 71% |
| 2  | 千葉県    | 195,975   | 13% |
| 3  | 東京都    | 174,295   | 12% |

(割合1%超を掲載)

(参考) 国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※ 自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

# 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_岡山県

- 岡山を訪れたインバウンドの大阪訪問率は62%と、入国が大阪（関西空港）が多いことを反映している。
- 広島、兵庫、香川、愛媛が訪問率トップ10に入っていることから、せとうち周遊の拠点となっていると推測される。
- 入国は地元・岡山（岡山空港）、香川（高松空港）の割合が一定数あり、兵庫や広島のインバウンドに比べて地方空港の利用者割合が高い。高松空港との空港相互利用連携等が有効であると考えられる。

インバウンド推計人数（2024年4-12月）

300,270人

## 他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数      | 訪問率 |
|----|------|---------|-----|
| 1  | 大阪府  | 185,975 | 62% |
| 2  | 京都府  | 127,121 | 42% |
| 3  | 広島県  | 113,696 | 38% |
| 4  | 東京都  | 105,480 | 35% |
| 5  | 兵庫県  | 71,850  | 24% |
| 6  | 香川県  | 67,615  | 23% |
| 7  | 千葉県  | 58,958  | 20% |
| 8  | 福岡県  | 42,952  | 14% |
| 9  | 奈良県  | 40,165  | 13% |
| 10 | 愛媛県  | 30,667  | 10% |

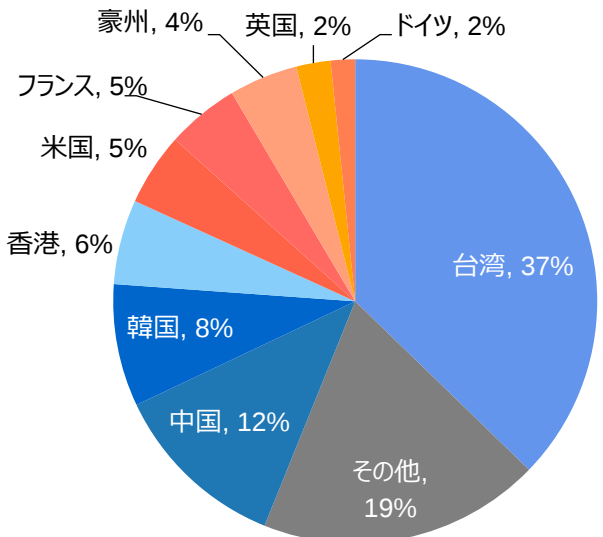
（トップ10を掲載）

## 入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数     | 割合  |
|----|--------|--------|-----|
| 1  | 大阪府    | 95,472 | 32% |
| 2  | 岡山県    | 64,840 | 22% |
| 3  | 東京都    | 43,971 | 15% |
| 4  | 千葉県    | 42,944 | 14% |
| 5  | 香川県    | 23,348 | 8%  |
| 6  | 福岡県    | 18,371 | 6%  |
| 7  | 広島県    | 5,838  | 2%  |

（割合1%超を掲載）

## （参考）国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※ 自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

### 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_広島県

- 広島を訪れたインバウンドの80%が東京を訪問していること、またトップ10に大阪・京都・神奈川（箱根）・山梨（富士山）・石川（金沢）が入っていることから、ゴールデンルートを含む広域を移動する傾向がある。
- 京都訪問率は74%と、せとうち7県の中では最も高く、広島を訪れるインバウンドが京都を好む傾向があることがわかる。
- 入国は東京（羽田空港）・千葉（成田空港）合計で71%と大きな割合を占めている一方、地元・広島（広島空港）からの入国は5%に留まっている。

|                        |            |
|------------------------|------------|
| インバウンド推計人数（2024年4-12月） | 1,125,012人 |
|------------------------|------------|

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数      | 訪問率 |
|----|------|---------|-----|
| 1  | 東京都  | 904,922 | 80% |
| 2  | 大阪府  | 835,294 | 74% |
| 3  | 京都府  | 829,971 | 74% |
| 4  | 千葉県  | 503,729 | 45% |
| 5  | 奈良県  | 302,925 | 27% |
| 6  | 神奈川県 | 249,011 | 22% |
| 7  | 兵庫県  | 178,550 | 16% |
| 8  | 福岡県  | 169,375 | 15% |
| 9  | 山梨県  | 153,487 | 14% |
| 10 | 石川県  | 147,642 | 13% |

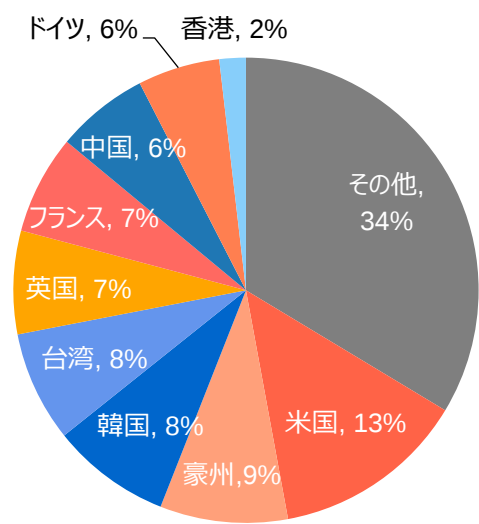
（トップ10を掲載）

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数      | 割合  |
|----|--------|---------|-----|
| 1  | 東京都    | 412,607 | 37% |
| 2  | 千葉県    | 382,482 | 34% |
| 3  | 大阪府    | 159,642 | 14% |
| 4  | 福岡県    | 76,329  | 7%  |
| 5  | 広島県    | 59,072  | 5%  |

（割合1%超を掲載）

（参考）国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※ 自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

# 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_山口県

- 山口を訪れたインバウンドの福岡訪問率は74%と他都道府県を圧倒しており、また入国も福岡からが46%と、福岡とのつながりの深さが見てとれる。
- せとうち内での周遊の観点では広島との連携と、その先への延伸施策が必要となる。
- 東京・大阪それぞれの訪問率が19%・12%と低く、地方で完結する周遊が多いことが読み取れる。

|                        |          |
|------------------------|----------|
| インバウンド推計人数（2024年4-12月） | 153,240人 |
|------------------------|----------|

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数      | 訪問率 |
|----|------|---------|-----|
| 1  | 福岡県  | 112,912 | 74% |
| 2  | 広島県  | 29,946  | 20% |
| 3  | 東京都  | 28,958  | 19% |
| 4  | 大分県  | 22,159  | 14% |
| 5  | 大阪府  | 18,922  | 12% |
| 6  | 京都府  | 18,116  | 12% |
| 7  | 熊本県  | 14,139  | 9%  |
| 8  | 千葉県  | 13,879  | 9%  |
| 9  | 長崎県  | 13,755  | 9%  |
| 10 | 岡山県  | 10,525  | 7%  |

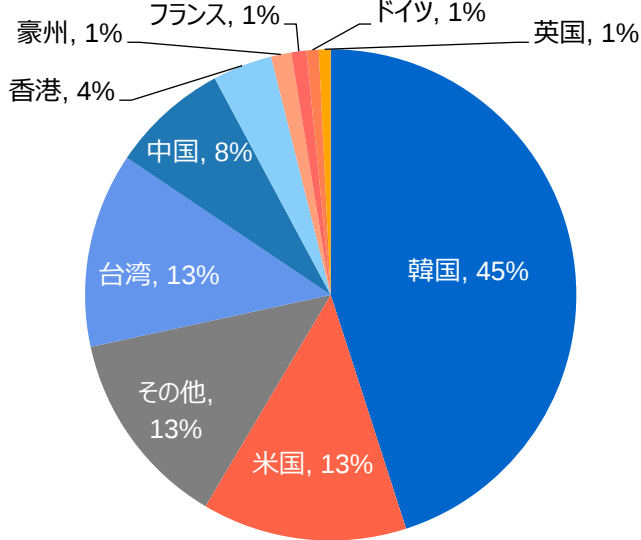
(トップ10を掲載)

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数     | 割合  |
|----|--------|--------|-----|
| 1  | 福岡県    | 69,862 | 46% |
| 2  | 山口県    | 47,048 | 31% |
| 3  | 東京都    | 14,479 | 9%  |
| 4  | 千葉県    | 8,320  | 5%  |
| 5  | 大阪府    | 5,112  | 3%  |
| 6  | 広島県    | 3,463  | 2%  |

(割合1%超を掲載)

(参考) 国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

# 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_徳島県

- 徳島を訪れたインバウンドが訪問している都道府県トップ4の中に、他の四国3県が入っていることから四国内での周遊の割合が高いことが見てとれる。
- 入国は香川（高松空港）が大阪（関西空港）・東京（羽田空港）・千葉（成田空港）を上回っている。
- 四国内の周遊を更に促すような二次交通をはじめとした受入体制整備が重要である。

|                        |         |
|------------------------|---------|
| インバウンド推計人数（2024年4-12月） | 79,711人 |
|------------------------|---------|

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数     | 訪問率 |
|----|------|--------|-----|
| 1  | 香川県  | 54,127 | 68% |
| 2  | 愛媛県  | 39,964 | 50% |
| 3  | 大阪府  | 33,370 | 42% |
| 4  | 高知県  | 30,748 | 39% |
| 5  | 東京都  | 18,612 | 23% |
| 6  | 兵庫県  | 17,789 | 22% |
| 7  | 岡山県  | 14,783 | 19% |
| 8  | 京都府  | 14,103 | 18% |
| 9  | 広島県  | 11,584 | 15% |
| 10 | 千葉県  | 11,131 | 14% |

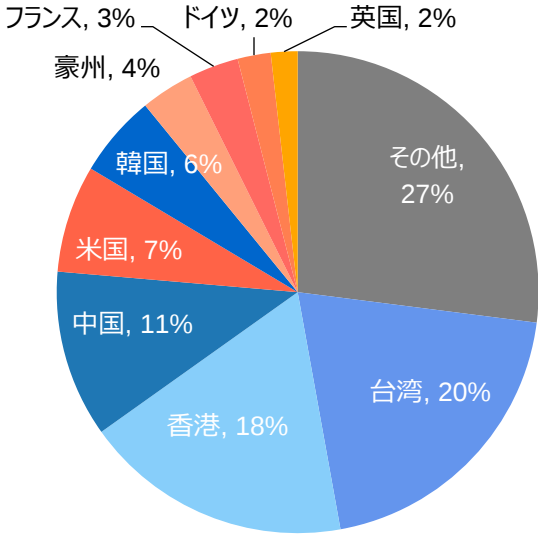
（トップ10を掲載）

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数     | 割合  |
|----|--------|--------|-----|
| 1  | 香川県    | 31,375 | 39% |
| 2  | 大阪府    | 24,844 | 31% |
| 3  | 東京都    | 8,398  | 11% |
| 4  | 千葉県    | 7,775  | 10% |
| 5  | 岡山県    | 2,234  | 3%  |
| 6  | 福岡県    | 1,674  | 2%  |

（割合1%超を掲載）

（参考）国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※ 自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

### 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_香川県



- 香川を訪れたインバウンドの、他の都道府県への訪問率は1位の大阪でも35%と低い数字（他の6県はいずれも1位は50%超）となっており、周遊ルートが多様であることが伺える。
- 入国は地元・香川（高松空港）が最も多く、せとうち7県の中で唯一自県での入国割合がトップとなっている。
- これは、韓国（ソウル）毎日2便、台北毎日1便、台中週5便、香港毎日1便、上海週4便と近隣の地方空港に比べて充実した国際路線によるものと推測される。（2025年5月現在）

|                        |          |
|------------------------|----------|
| インバウンド推計人数（2024年4-12月） | 282,131人 |
|------------------------|----------|

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数     | 訪問率 |
|----|------|--------|-----|
| 1  | 大阪府  | 99,889 | 35% |
| 2  | 京都府  | 74,698 | 26% |
| 3  | 東京都  | 73,614 | 26% |
| 4  | 愛媛県  | 72,028 | 26% |
| 5  | 岡山県  | 67,615 | 24% |
| 6  | 徳島県  | 54,127 | 19% |
| 7  | 広島県  | 49,536 | 18% |
| 8  | 千葉県  | 45,864 | 16% |
| 9  | 兵庫県  | 42,387 | 15% |
| 10 | 高知県  | 41,396 | 15% |

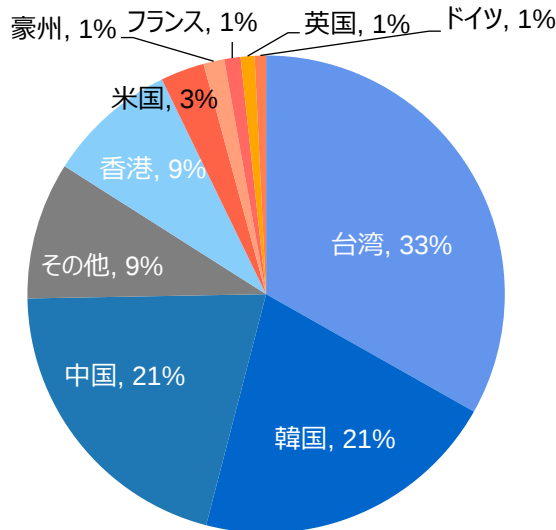
（トップ10を掲載）

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数      | 割合  |
|----|--------|---------|-----|
| 1  | 香川県    | 148,161 | 53% |
| 2  | 大阪府    | 42,211  | 15% |
| 3  | 千葉県    | 35,386  | 13% |
| 4  | 東京都    | 28,182  | 10% |
| 5  | 岡山県    | 12,866  | 5%  |
| 6  | 福岡県    | 6,047   | 2%  |

（割合1%超を掲載）

（参考）国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

### 3. インバウンド消費動向調査「個票データ」\_愛媛県

- 愛媛を訪れたインバウンドの香川訪問率は61%と1位となっている一方、大阪・東京の訪問率が2・3位となっている。これは、ゴールデンルートからの訪問が一定数あることを示している。
- 入国は香川（高松空港）が大阪（関西空港）・東京（羽田空港）・千葉（成田空港）を上回っている。
- 過半数が訪問する香川との往来を促進するための二次交通の整備や、3人に1人が訪れている広島との連携施策が有効であると考えられる。

インバウンド推計人数（2024年4-12月）

117,962人

他に訪問している都道府県

| 順位 | 都道府県 | 人数     | 訪問率 |
|----|------|--------|-----|
| 1  | 香川県  | 72,028 | 61% |
| 2  | 大阪府  | 53,057 | 45% |
| 3  | 東京都  | 44,463 | 38% |
| 4  | 広島県  | 40,213 | 34% |
| 5  | 徳島県  | 39,964 | 34% |
| 6  | 高知県  | 35,503 | 30% |
| 7  | 京都府  | 34,726 | 29% |
| 8  | 岡山県  | 30,667 | 26% |
| 9  | 兵庫県  | 26,117 | 22% |
| 10 | 千葉県  | 24,436 | 21% |

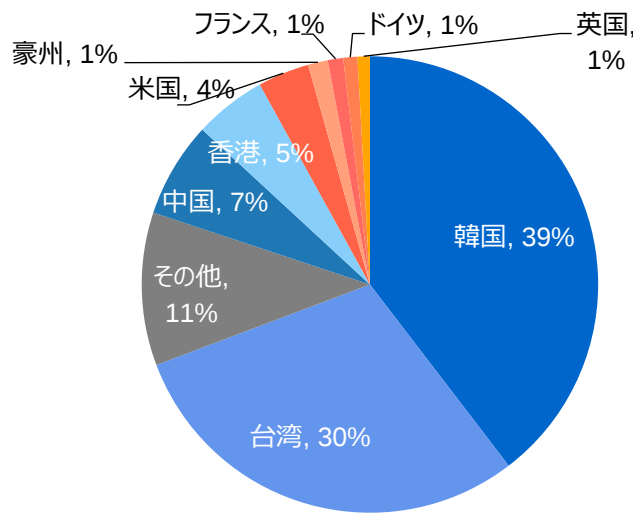
（トップ10を掲載）

入国都道府県

| 順位 | 入国都道府県 | 人数     | 割合  |
|----|--------|--------|-----|
| 1  | 香川県    | 32,720 | 28% |
| 2  | 大阪府    | 25,816 | 22% |
| 3  | 東京都    | 18,861 | 16% |
| 4  | 千葉県    | 18,701 | 16% |
| 5  | 岡山県    | 6,159  | 5%  |
| 6  | 愛媛県    | 5,916  | 5%  |
| 7  | 福岡県    | 3,976  | 3%  |
| 8  | 広島県    | 3,741  | 3%  |

（割合1%超を掲載）

（参考）国籍別延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2024年1-12月

※ 自県：赤色、せとうち：オレンジ色、東京都市圏：青色、大阪都市圏：緑色

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

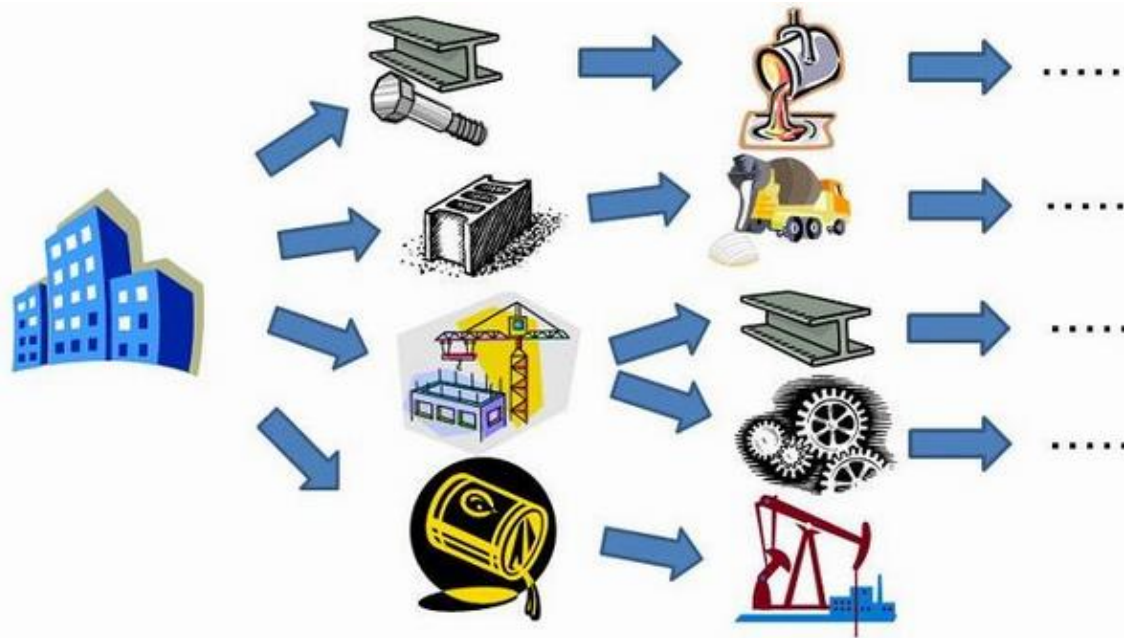
7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

## 4. 「経済波及効果」とは

- 経済波及効果とは、新たに需要が発生したときに、その需要を満たすために次々と新たな生産が誘発されていくことを言う。まるで波（波紋）が移動するように次々と波及していくことから、生産波及効果とも呼ばれる。
- 例えば、建設部門で需要増加（新たな建物の建築など）があった場合を、建物などを建設するには鉄骨やコンクリートなどの建設資材や設備、それを動かすための燃料や電気などの原材料が必要となる。さらに、それらの建設資材等を得るために、その原材料（砂利や鋼材など）の生産が必要になる。そしてさらに、それらの原材料の原材料の生産が必要になる...というように、生産が生産を呼んで、いろいろな産業へと次々と生産が波及していく。

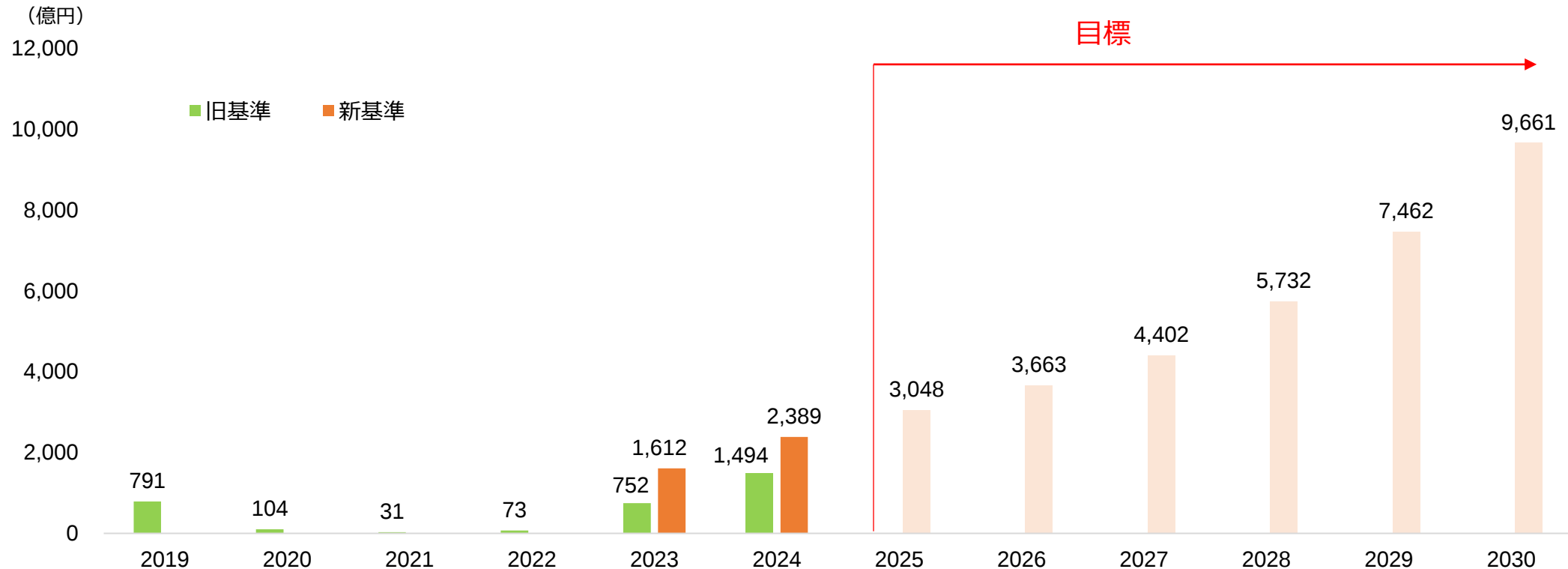


出典：福井県

- まず、建築などの直接的な需要増加のうち、地域内で調達できる分を「直接効果」と呼ぶ。
- これに加えて、その建設に必要な資材等の生産による波及を「第1次間接効果」とし、両者をあわせて「1次波及効果」と定義する。
- さらに、1次波及効果によって得られた所得が消費にまわり、それが新たな生産を誘発し、再び所得を生む連鎖を「2次波及効果」と呼ぶ。
- このように所得→消費→生産の循環は3次以降も続くが、通常は効果が小さくなるため、分析では2次までに留めるのが一般的である。地域経済への純粋な貢献を測る指標である。

## 4. せとうち7県の経済波及効果の推移\_外国

- 外国人の経済波及効果は1,494億円、「せとうちエリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくりマスタープラン」の目標である740億円を上回った。
- なお、2025年以降の目標は新基準で設定している。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」等より推計、せとうちDMO「せとうち観光成長戦略2023-2025」

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## **せとうち7県の実績と目標**

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

# 5. せとうち7県の実績と目標



## <旅行消費額> (単位：億円)

|                          |     | 2024年 |       | 2025年<br>目標 | 2026年<br>目標 | 2027年<br>目標 | 2028年<br>目標 | 2029年<br>目標 | 2030年<br>目標 |
|--------------------------|-----|-------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                          |     | 目標    | 実績    |             |             |             |             |             |             |
| せとうち7県<br>外国人            | 旧基準 | 627   | 1,211 |             |             |             |             |             |             |
|                          | 新基準 |       | 1,873 | 2,386       | 2,863       | 3,435       | 4,466       | 5,805       | 7,500       |
| せとうち7県<br>外国人<br>(対象5カ国) | 旧基準 | 115   | 275   |             |             |             |             |             |             |
|                          | 新基準 |       | 441   | 583         | 729         | 911         | 1,230       | 1,661       | 2,250       |

## <来訪者満足度・再訪意向度・住民満足度>

|                   | 2022年<br>実績 | 2023年<br>実績 | 2024年 |       | 2025年<br>目標 |
|-------------------|-------------|-------------|-------|-------|-------------|
|                   |             |             | 目標    | 実績    |             |
| 来訪者満足度<br>(対象5カ国) | 61.8%       | 82.9%       | 70.0% | 94.2% | 75.0%       |
| 再訪意向度<br>(対象5カ国)  | 61.5%       | 82.9%       | 70.0% | 76.5% | 75.0%       |
| 住民満足度             | 45.8%       | 48.5%       | 55.0% | 44.2% | 60.0%       |

## <延べ宿泊者数> (単位：万人泊)

|                          |  | 2024年 |     | 2025年<br>目標 | 2026年<br>目標 | 2027年<br>目標 | 2028年<br>目標 | 2029年<br>目標 | 2030年<br>目標 |
|--------------------------|--|-------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                          |  | 目標    | 実績  |             |             |             |             |             |             |
| せとうち7県<br>外国人            |  | 323   | 495 | 599         | 689         | 792         | 990         | 1,237       | 1,550       |
| せとうち7県<br>外国人<br>(対象5カ国) |  | 64    | 106 | 134         | 154         | 177         | 221         | 276         | 350         |

## <経済波及効果> (単位：億円)

|                                  |     | 2024年 |       | 2025年<br>目標 | 2026年<br>目標 | 2027年<br>目標 | 2028年<br>目標 | 2029年<br>目標 | 2030年<br>目標 |
|----------------------------------|-----|-------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                                  |     | 目標    | 見込    |             |             |             |             |             |             |
| 経済波<br>及効果<br>(外国人<br>旅行消<br>費分) | 旧基準 | 740   | 1,494 |             |             |             |             |             |             |
|                                  | 新基準 |       | 2,389 | 3,048       | 3,663       | 4,402       | 5,732       | 7,462       | 9,661       |

## (参考)：旅行消費額算出方法の見直しについて

|         | 旧基準                             | 新基準                                                                                                                                                      |
|---------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資料      | 観光庁「訪日外国人消費動向調査」、「宿泊旅行統計」       | 観光庁「インバウンド消費動向調査」の個票データ                                                                                                                                  |
| 外国人旅行者数 | 宿泊旅行統計（従業者10人以上の施設）の延べ宿泊者数      | 訪日外客数（≡日本を訪れた外国人総数）                                                                                                                                      |
| 旅行消費額   | 訪日外国人の1泊当たり旅行消費額（全国平均）×県別延べ宿泊者数 | 個票データの県別旅行消費額に人数ウェイト※を掛けて、全回答者の金額を合算することにより、訪日外客全体による旅行消費額を算出<br>※ウェイトとは、「アンケートの回答者1人を〇〇人分」と重み付けすることにより、アンケートの全回答にウェイトを掛けて合計すると、訪日外客数の回答になるように調整するための係数。 |

1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

## 6. インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較\_全国

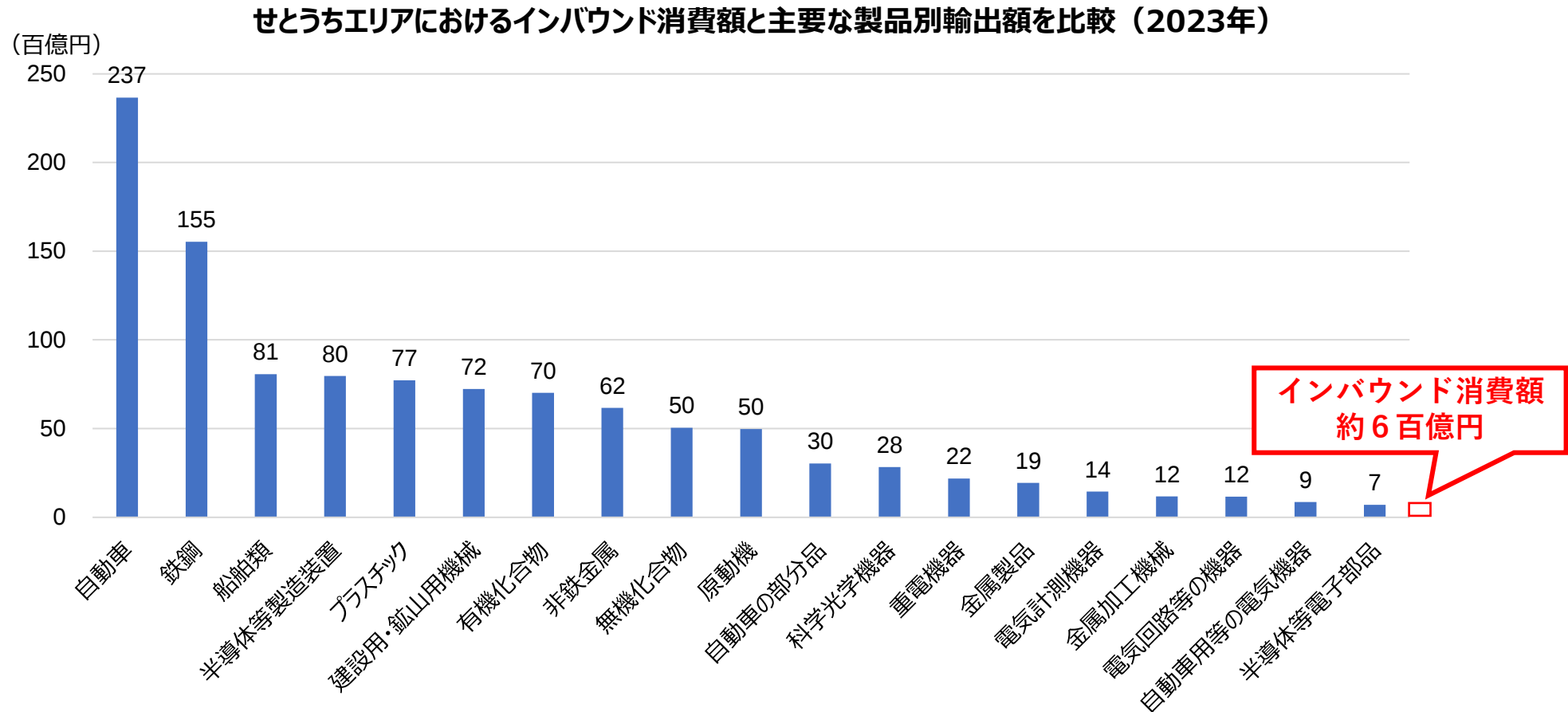
- 訪日外国人旅行消費額は、自動車に次ぐ規模で、半導体等電子部品を上回る第2位の輸出産業に位置づけられており、日本経済に与える影響は極めて大きい。
- 2024年のインバウンド消費額は8.1兆円と過去最高を記録しており、「観光」はもはや単なるサービス業ではなく、日本を代表する主要産業の一つとなっている。経済成長や地域活性化の柱として、その存在感はますます高まっている。



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」、財務省「貿易統計」に基づき観光庁作成  
出典：観光庁ホームページ

## 6. インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較\_せとうち7県

- 一方、せとうち7県においては、インバウンド消費額は他の主要輸出品と比べて小さく、1位の自動車産業と比べて約1/40の規模にすぎない。
- これは、全国的な観光消費の成長とは裏腹に、せとうち地域が持つポテンシャルを十分に活かできていない可能性を示唆している。

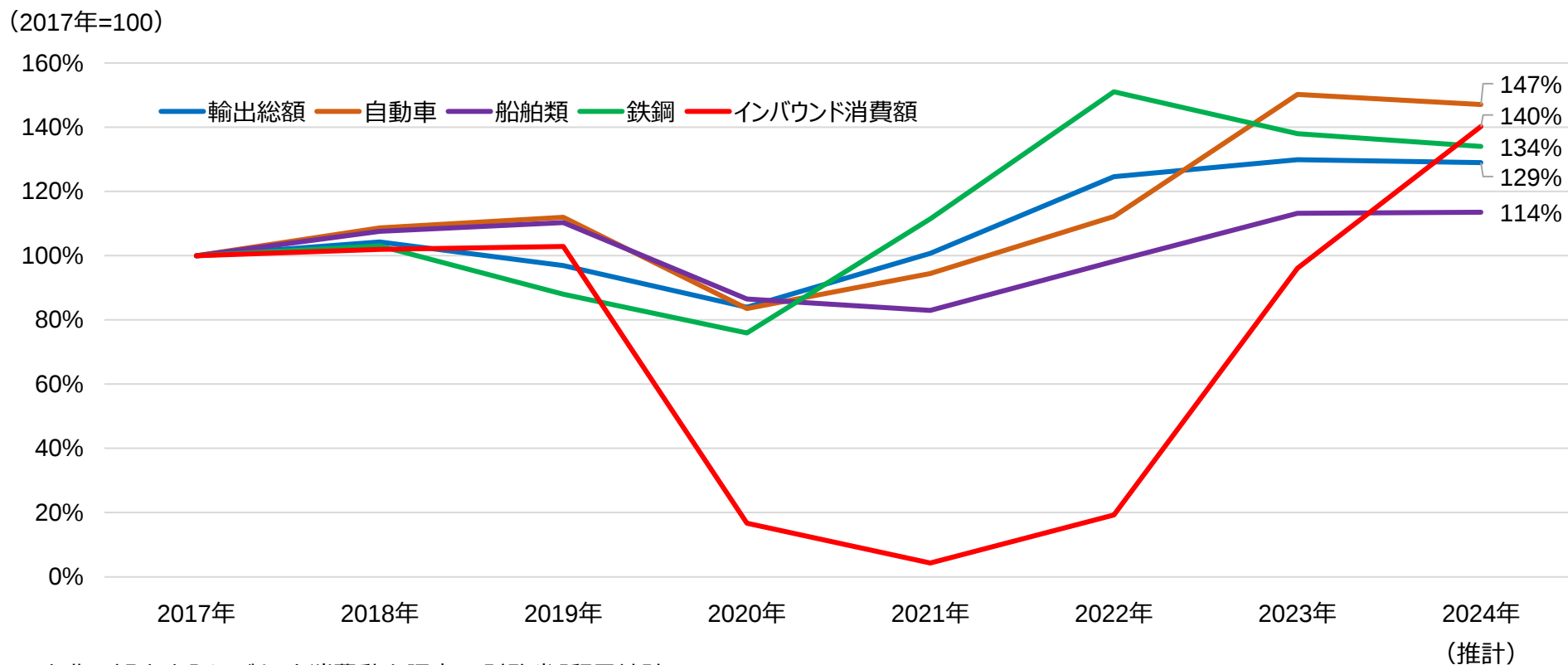


## 6. インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較\_せとうち7県



- せとうち7県において、2017年からの主要輸出品目の伸び率は、自動車147%、造船114%、鉄鋼134%といずれも高い成長を示しているが、インバウンド消費額も140%増と、それら輸出産業に匹敵する伸びを見せている。
- 観光消費が輸出産業並みに地域経済に貢献していることを示しており、インバウンドの存在が「外貨を稼ぐ輸出」として確立しつつあることを意味している。観光は雇用波及も大きいため、地域経済にとって非常に重要な成長分野といえる。

### インバウンド消費額と主要品目別輸出額の推移



1

## インバウンド市場の動向

- ① 訪日外客数・訪日外国人旅行者数と増減要因 ……P. 2
- ② 平均宿泊数・平均滞在日数 ……P. 9
- ③ 1人当たり旅行支出額 ……P.13
- ④ 延べ宿泊者数 ……P.17
- ⑤ 旅行消費額 ……P.26

2

## アンケート調査

- ① 住民満足度 ……P.29
- ② 来訪者満足度・再訪意向 ……P.35
- ③ 外国人動態 ……P.36

3

## せとうち7県の個票データ分析

……P.46

4

## 経済波及効果

……P.55

5

## せとうち7県の実績と目標

……P.58

6

## インバウンド消費額と主要品目別輸出額の比較

……P.60

7

## (参考) 対象5カ国の基礎データ

……P.64

# 7. 【参考】対象5カ国の基礎データ（英国）



## 英国

©日本政府観光局（JNTO）

英国

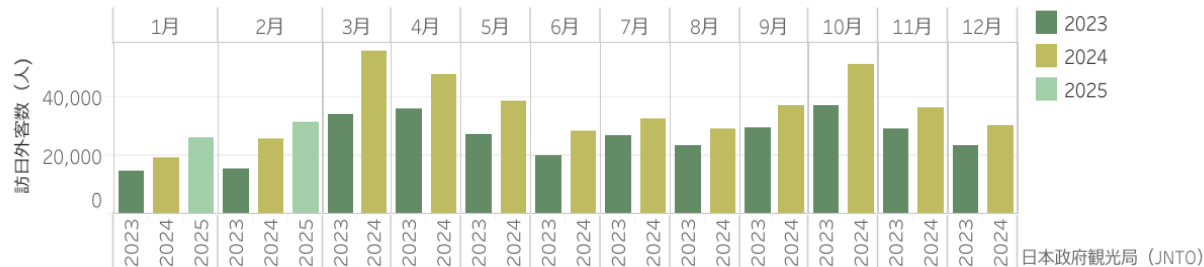
### ■英国に関する基礎データ

| 項目               | 2019   |       | 2020   |       | 2021   |       | 2022   |       | 2023   |        |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
|                  | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%)  |
| 人口（万人）           | 6,711  |       | 6,735  | 0.4   | 6,767  | 0.5   | 6,818  | 0.8   |        | -100.0 |
| 国際旅行収入(億米ドル)     | 584    |       | 267    | -54.3 | 330    | 23.6  | 676    | 104.8 |        | -100.0 |
| 国際旅行支出(億米ドル)     | 859    |       | 245    | -71.5 | 300    | 22.4  | 817    | 172.3 |        | -100.0 |
| 1人当たりの名目GDP（米ドル） | 42,713 |       | 40,246 | -5.8  | 46,704 | 16.0  | 45,730 | -2.1  | 49,099 | 7.4    |

人口：国際連合（UN）

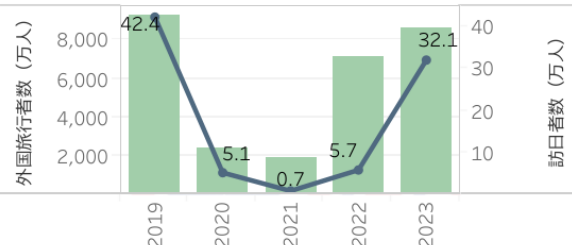
国際旅行収入・支出：国連世界観光機関（UNWTO）、1人当たりの名目GDP：国際通貨基金（IMF）

### ■月・年別 訪日者数



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

### ■外国旅行者数と訪日外客数の推移



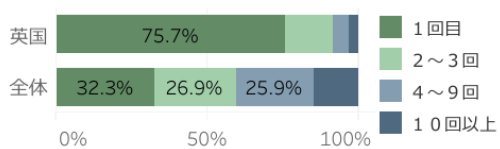
注：英国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。

出典：国連世界観光機関（UN Tourism）、日本政府観光局（JNTO）

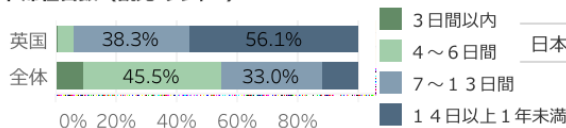
### ■世界各国・地域への英国人訪問者数ランキング（上位10ヶ国）

| 訪問先    | 2018年      | 2019年      | 2020年     | 2021年     | 2022年      |
|--------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| スペイン   | 18,523,957 | 18,012,484 | 3,150,204 | 4,302,634 | 15,121,910 |
| フランス   | 7,391,769  | 6,812,787  | 1,756,653 | 1,508,749 | 5,800,075  |
| イタリア   | 5,658,509  | 6,006,435  | 1,756,074 | 908,615   | 4,446,328  |
| 米国     | 4,659,178  | 4,779,997  | 730,032   | 460,749   | 3,466,107  |
| アイルランド | 4,797,000  | 4,764,000  |           |           |            |
| ギリシャ   | 2,942,763  | 3,499,325  | 1,068,581 | 1,591,191 | 4,485,257  |
| ドイツ    | 2,679,009  | 2,552,384  | 648,477   | 359,364   | 1,577,439  |
| トルコ    | 2,220,291  | 2,504,339  | 820,509   | 386,959   | 3,254,053  |
| オランダ   | 2,212,000  | 2,402,000  | 595,000   | 209,000   | 1,362,000  |
| ポルトガル  | 2,127,389  | 2,220,240  | 491,881   | 719,842   | 2,178,611  |

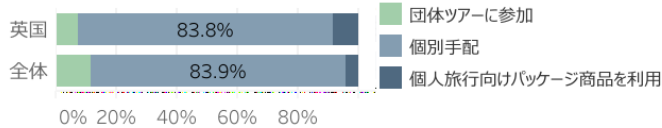
### ■2023年 訪日回数（観光・レジャー）



### ■2023年 滞在日数（観光・レジャー）



### ■2023年 旅行形態（観光・レジャー）



### ■アジア各国・地域への英国人訪問者数ランキング（上位5ヶ国+日本）

| 訪問先    | 2018年   | 2019年   | 2020年   | 2021年  | 2022年   |
|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| タイ     | 986,666 | 992,574 | 223,087 | 43,206 |         |
| 中国     | 607,846 | 612,213 |         |        |         |
| シンガポール | 589,009 | 607,821 | 133,367 | 8,552  | 226,742 |
| 日本     | 333,979 | 424,279 | 51,024  | 7,294  | 57,496  |
| 香港     | 452,436 | 402,090 | 32,334  | 638    | 12,200  |

|    | 2018年   | 2019年   | 2020年  | 2021年 | 2022年  |
|----|---------|---------|--------|-------|--------|
| 日本 | 333,979 | 424,279 | 51,024 | 7,294 | 57,496 |

2023年12月時点

### ■2023年 都道府県別訪問率（観光・レジャー）

| ランキング | 都道府県 | 訪問率 (%) |
|-------|------|---------|
| 1     | 東京都  | 89.8    |
| 2     | 京都府  | 66.0    |
| 3     | 大阪府  | 56.6    |
| 4     | 千葉県  | 44.1    |
| 5     | 広島県  | 25.1    |

観光庁「インバウンド消費動向調査」

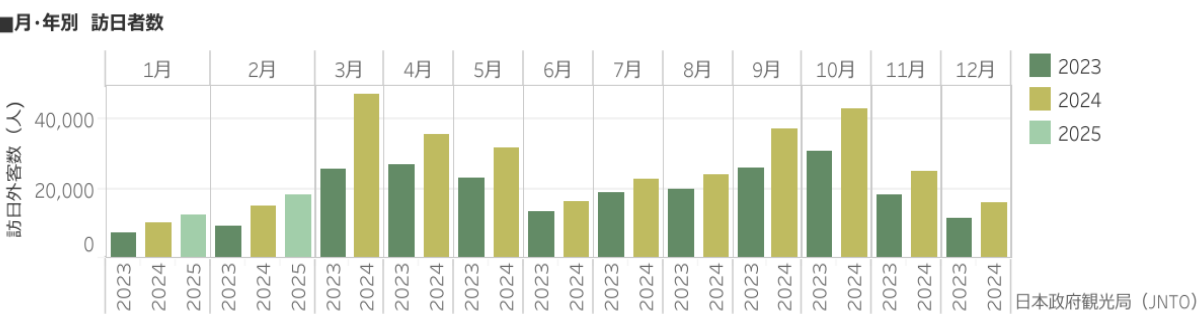
# 7. 【参考】対象5カ国の基礎データ（ドイツ）



■ドイツに関する基礎データ

| 項目               | 2019   |       | 2020   |       | 2021   |       | 2022   |       | 2023   |        |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
|                  | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%)  |
| 人口(万人)           | 8,356  |       | 8,363  | 0.1   | 8,370  | 0.1   | 8,409  | 0.5   |        | -100.0 |
| 国際旅行収入(億米ドル)     | 418    |       | 221    | -47.1 | 221    | 0.0   | 313    | 41.6  |        | -100.0 |
| 国際旅行支出(億米ドル)     | 931    |       | 388    | -58.3 | 506    | 30.4  | 883    | 74.5  |        | -100.0 |
| 1人当たりの名目GDP(米ドル) | 46,810 |       | 46,712 | -0.2  | 51,461 | 10.2  | 48,756 | -5.3  | 52,727 | 8.1    |

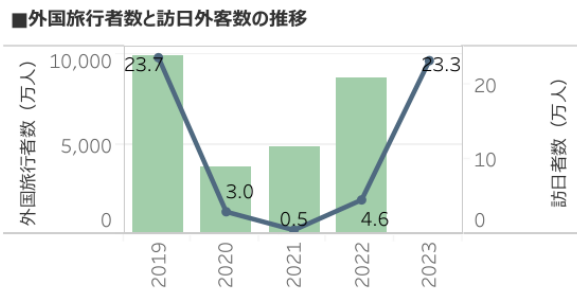
人口：国際連合（UN）  
国際旅行収入・支出：国連世界観光機関（UNWTO）、1人当たりの名目GDP：国際通貨基金（IMF）



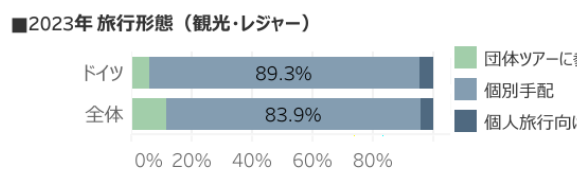
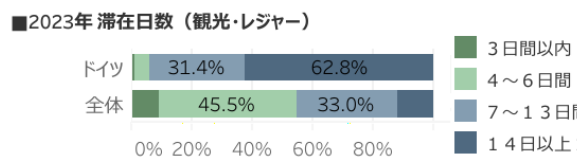
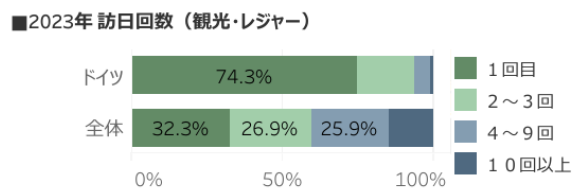
出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

©日本政府観光局（JNTO）

ドイツ



注：ドイツ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
出典：国連世界観光機関（UN Tourism）、日本政府観光局（JNTO）



■世界各国・地域へのドイツ人訪問者数ランキング（上位10ヶ国）

| 訪問先    | 2018年      | 2019年      | 2020年      | 2021年      | 2022年      |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ポーランド  | 34,717,000 | 35,820,000 | 25,466,700 | 26,239,800 | 34,586,100 |
| オーストリア | 14,092,157 | 14,383,461 | 8,550,057  | 7,809,805  | 13,525,543 |
| イタリア   | 13,518,339 | 13,950,511 | 5,160,770  | 4,603,678  | 10,179,059 |
| スペイン   | 11,414,954 | 11,158,021 | 2,391,437  | 5,208,894  | 9,768,600  |
| フランス   | 6,341,964  | 6,526,380  | 2,313,143  | 3,348,335  | 6,621,216  |
| オランダ   | 5,689,000  | 6,175,000  | 3,283,000  | 2,471,000  | 5,936,000  |
| トルコ    | 4,464,324  | 4,992,815  | 1,118,871  | 3,083,043  | 5,580,541  |
| ギリシャ   | 4,381,448  | 4,026,286  | 1,526,439  | 3,001,163  | 4,352,348  |
| デンマーク  | 3,451,664  | 3,964,026  | 2,548,407  | 2,754,620  | 4,472,174  |
| 英国     | 3,170,209  | 3,232,912  |            | 389,760    | 2,232,751  |

■アジア各国・地域へのドイツ人訪問者数ランキング（上位5ヶ国+日本）

| 訪問先    | 2018年   | 2019年   | 2020年   | 2021年  | 2022年   |
|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| タイ     | 886,450 | 852,481 | 231,782 | 50,551 |         |
| 中国     | 643,074 | 622,198 |         |        |         |
| シンガポール | 356,807 | 380,757 | 95,563  | 5,412  | 130,586 |
| インドネシア | 274,166 | 277,653 | 46,361  | 3,429  | 128,634 |
| 日本     | 215,336 | 236,544 | 29,785  | 5,197  | 45,748  |

|    | 2018年   | 2019年   | 2020年  | 2021年 | 2022年  |
|----|---------|---------|--------|-------|--------|
| 日本 | 215,336 | 236,544 | 29,785 | 5,197 | 45,748 |

2023年12月時点

■2023年 都道府県別訪問率（観光・レジャー）

| ランキング | 都道府県 | 訪問率（%） |
|-------|------|--------|
| 1     | 東京都  | 95.8   |
| 2     | 京都府  | 68.5   |
| 3     | 大阪府  | 59.3   |
| 4     | 千葉県  | 52.8   |
| 5     | 広島県  | 31.9   |

# 7. 【参考】対象5カ国の基礎データ（フランス）

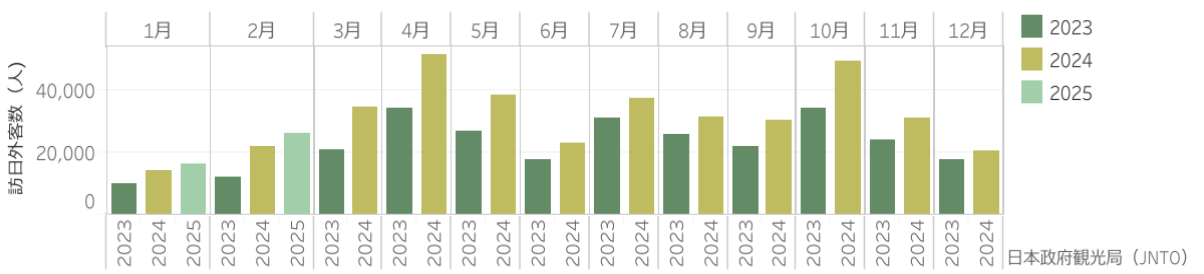


## ■フランスに関する基礎データ

| 項目               | 2019   |       | 2020   |       | 2021   |       | 2022   |       | 2023   |        |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
|                  | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%)  |
| 人口(万人)           | 6,573  |       | 6,591  | 0.3   | 6,608  | 0.3   | 6,628  | 0.3   |        | -100.0 |
| 国際旅行収入(億米ドル)     | 634    |       | 326    | -48.6 | 406    | 24.5  | 592    | 45.8  |        | -100.0 |
| 国際旅行支出(億米ドル)     | 505    |       | 287    | -43.2 | 359    | 25.1  | 409    | 13.9  |        | -100.0 |
| 1人当たりの名目GDP(米ドル) | 41,925 |       | 40,529 | -3.3  | 45,161 | 11.4  | 42,306 | -6.3  | 46,001 | 8.7    |

人口：国際連合（UN）  
国際旅行収入・支出：国連世界観光機関（UNWTO）、1人当たりの名目GDP：国際通貨基金（IMF）

## ■月・年別 訪日者数

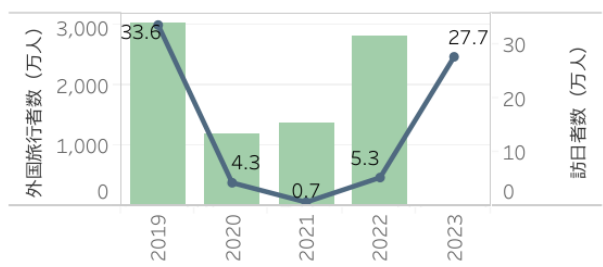


出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

©日本政府観光局（JNTO）

フランス

## ■外国旅行者数と訪日外客数の推移

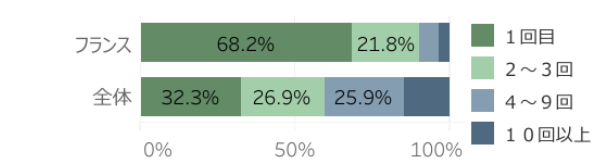


注：フランス人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
出典：国連世界観光機関（UN Tourism）、日本政府観光局（JNTO）

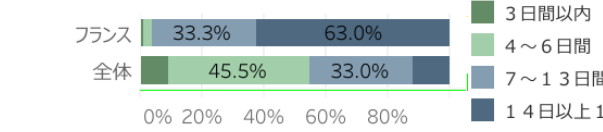
## ■世界各国・地域へのフランス人訪問者数ランキング（上位10ヶ国）

| 訪問先   | 2018年      | 2019年      | 2020年     | 2021年     | 2022年      |
|-------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| スペイン  | 11,293,323 | 11,147,396 | 3,887,750 | 5,822,671 | 10,096,040 |
| イタリア  | 7,640,667  | 7,977,514  | 3,687,243 | 3,910,414 | 5,667,428  |
| 英国    | 3,599,256  | 3,560,517  |           | 676,898   | 2,829,844  |
| モロッコ  | 1,844,397  | 1,990,813  | 412,179   | 493,933   | 1,505,443  |
| ドイツ   | 1,852,786  | 1,923,420  | 653,688   | 692,078   | 1,511,311  |
| 米国    | 1,767,461  | 1,843,782  | 297,785   | 222,036   | 1,317,882  |
| ポルトガル | 1,850,630  | 1,816,360  | 518,419   | 841,404   | 1,741,813  |
| ギリシャ  | 1,524,001  | 1,541,793  | 468,803   | 1,174,504 | 1,757,612  |
| ベルギー  | 1,408,958  | 1,425,743  | 526,017   | 719,842   | 1,335,456  |
| オランダ  | 893,000    | 963,000    | 386,000   | 413,000   | 839,000    |

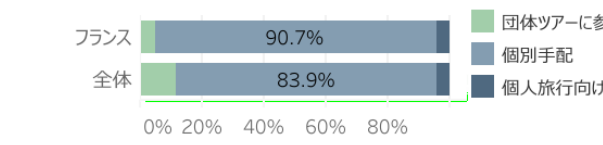
## ■2023年 訪日回数（観光・レジャー）



## ■2023年 滞在日数（観光・レジャー）



## ■2023年 旅行形態（観光・レジャー）



## ■アジア各国・地域へのフランス人訪問者数ランキング（上位5ヶ国+日本）

| 訪問先    | 2018年   | 2019年   | 2020年   | 2021年  | 2022年   |
|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| タイ     | 749,508 | 745,346 | 237,317 | 27,283 |         |
| 中国     | 499,160 | 490,963 |         |        |         |
| 日本     | 304,896 | 336,333 | 43,102  | 7,024  | 52,782  |
| ベトナム   | 279,659 | 287,655 | 75,223  | 1,900  | 81,575  |
| インドネシア | 287,917 | 283,814 | 43,438  | 3,776  | 134,541 |

|    | 2018年   | 2019年   | 2020年  | 2021年 | 2022年  |
|----|---------|---------|--------|-------|--------|
| 日本 | 304,896 | 336,333 | 43,102 | 7,024 | 52,782 |

2023年12月時点

## ■2023年 都道府県別訪問率（観光・レジャー）

| ランキング | 都道府県 | 訪問率 (%) |
|-------|------|---------|
| 1     | 東京都  | 94.5    |
| 2     | 京都府  | 73.6    |
| 3     | 大阪府  | 62.2    |
| 4     | 千葉県  | 48.2    |
| 5     | 広島県  | 27.1    |

観光庁「インバウンド消費動向調査」

# 7. 【参考】対象5カ国の基礎データ（豪州）



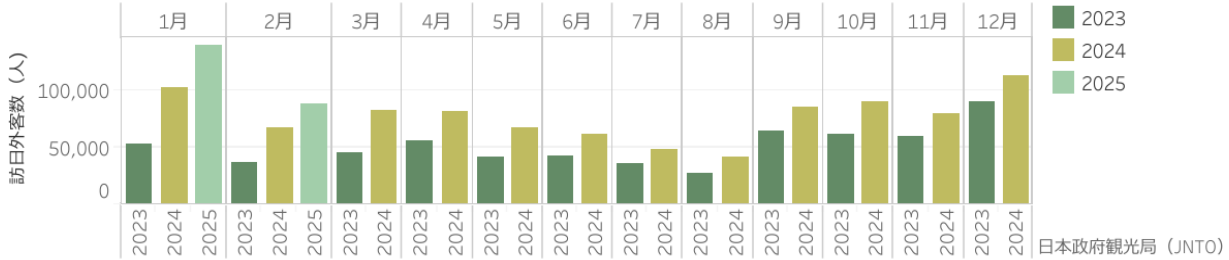
豪州

■豪州に関する基礎データ

| 項目               | 2019   |       | 2020   |       | 2021   |       | 2022   |         | 2023   |        |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|---------|--------|--------|
|                  | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%)   | 値      | 伸率(%)  |
| 人口(万人)           | 2,548  |       | 2,574  | 1.0   | 2,596  | 0.9   | 2,620  | 0.9     | 2,645  | 1.0    |
| 国際旅行収入(億米ドル)     | 457    |       | 257    | -43.8 | 171    | -33.5 | 232    | 35.7    |        | -100.0 |
| 国際旅行支出(億米ドル)     | 347    |       | 66     | -81.0 | 12     | -81.8 | 161    | 1,241.7 |        | -100.0 |
| 1人当たりの名目GDP(米ドル) | 54,396 |       | 53,253 | -2.1  | 64,327 | 20.8  | 65,575 | 1.9     | 65,434 | -0.2   |

人口：国際連合（UN）  
国際旅行収入・支出：国連世界観光機関（UNWTO）、1人当たりの名目GDP：国際通貨基金（IMF）

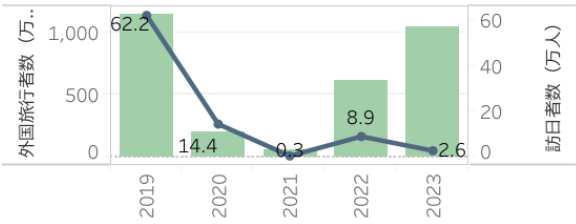
■月・年別 訪日者数



出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

©日本政府観光局（JNTO）  
豪州

■外国旅行者数と訪日外客数の推移

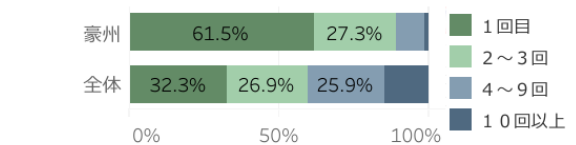


注：豪州人の外国旅行者数には、1年未満の外国旅行をして帰国した該当者が計上されている。国連世界観光機関（UN Tourism）、日本政府観光局（JNTO）

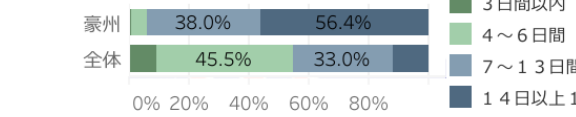
■世界各国・地域への豪州人訪問者数ランキング（上位10ヶ国）

| 訪問先      | 2018年     | 2019年     | 2020年   | 2021年   | 2022年   |
|----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| ニュージーランド | 1,494,541 | 1,537,988 | 359,781 | 160,248 | 829,168 |
| インドネシア   | 1,301,478 | 1,386,803 | 256,291 | 3,196   | 655,370 |
| 米国       | 1,362,431 | 1,319,238 | 208,707 | 52,439  | 641,772 |
| シンガポール   | 1,107,224 | 1,143,336 | 206,239 | 10,052  | 565,684 |
| 英国       | 1,039,029 | 1,063,404 |         | 23,816  | 722,671 |
| イタリア     | 784,455   | 816,467   | 103,317 | 12,190  | 291,016 |
| タイ       | 801,014   | 767,291   | 123,827 | 10,869  |         |
| 中国       | 751,865   | 734,511   |         |         |         |
| 日本       | 552,440   | 621,771   | 143,508 | 3,265   | 88,648  |
| フランス     | 472,690   | 434,884   | 55,561  | 41,775  | 292,511 |

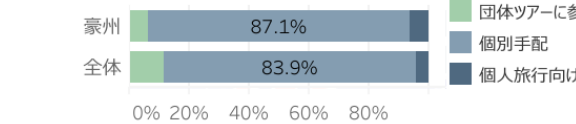
■2023年 訪日回数（観光・レジャー）



■2023年 滞在日数（観光・レジャー）



■2023年 旅行形態（観光・レジャー）



■アジア各国・地域への豪州人訪問者数ランキング（上位5ヶ国+日本）

| 訪問先    | 2018年     | 2019年     | 2020年   | 2021年  | 2022年   |
|--------|-----------|-----------|---------|--------|---------|
| インドネシア | 1,301,478 | 1,386,803 | 256,291 | 3,196  | 655,370 |
| シンガポール | 1,107,224 | 1,143,336 | 206,239 | 10,052 | 565,684 |
| タイ     | 801,014   | 767,291   | 123,827 | 10,869 |         |
| 中国     | 751,865   | 734,511   |         |        |         |
| 日本     | 552,440   | 621,771   | 143,508 | 3,265  | 88,648  |

|    | 2018年   | 2019年   | 2020年   | 2021年 | 2022年  |
|----|---------|---------|---------|-------|--------|
| 日本 | 552,440 | 621,771 | 143,508 | 3,265 | 88,648 |

2023年12月時点

■2023年 都道府県別訪問率（観光・レジャー）

| ランキング | 都道府県 | 訪問率(%) |
|-------|------|--------|
| 1     | 東京都  | 91.7   |
| 2     | 大阪府  | 67.9   |
| 3     | 京都府  | 60.6   |
| 4     | 千葉県  | 53.6   |
| 5     | 広島県  | 22.1   |

観光庁「インバウンド消費動向調査」

# 7. 【参考】対象5カ国の基礎データ（米国）



## 米国

©日本政府観光局（JNTO）

米国

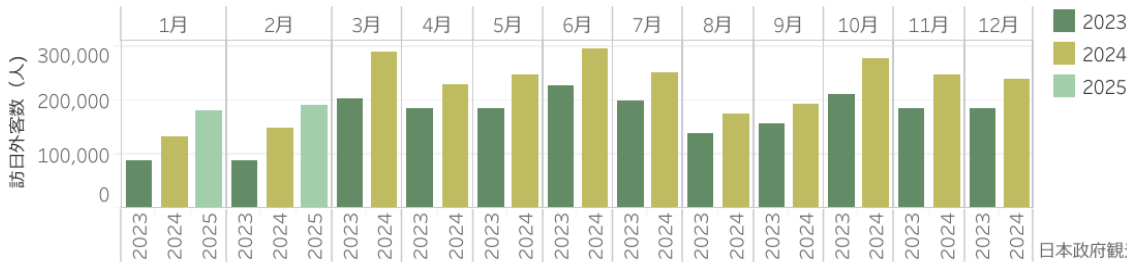
### ■米国に関する基礎データ

| 項目               | 2019   |       | 2020   |       | 2021   |       | 2022   |       | 2023   |        |
|------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
|                  | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%) | 値      | 伸率(%)  |
| 人口（万人）           | 33,779 |       | 33,944 | 0.5   | 34,016 | 0.2   | 34,153 | 0.4   | 34,348 | 0.6    |
| 国際旅行収入(億米ドル)     | 1,990  |       | 725    | -63.6 | 714    | -1.5  | 1,369  | 91.7  |        | -100.0 |
| 国際旅行支出(億米ドル)     | 1,323  |       | 342    | -74.1 | 568    | 66.1  | 1,149  | 102.3 |        | -100.0 |
| 1人当たりの名目GDP（米ドル） | 65,505 |       | 64,367 | -1.7  | 70,996 | 10.3  | 77,192 | 8.7   | 81,632 | 5.8    |

人口：国際連合（UN）

国際旅行収入・支出：国連世界観光機関（UNWTO）、1人当たりの名目GDP：国際通貨基金（IMF）

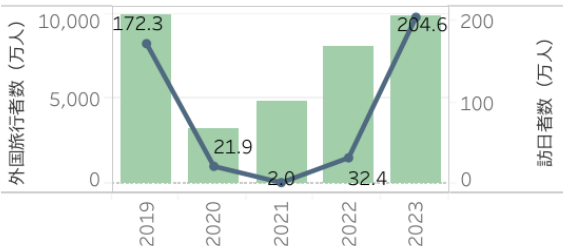
### ■月・年別 訪日者数



日本政府観光局（JNTO）

出典：日本政府観光局（JNTO）「日本の観光統計データ」

### ■外国旅行者数と訪日外客数の推移



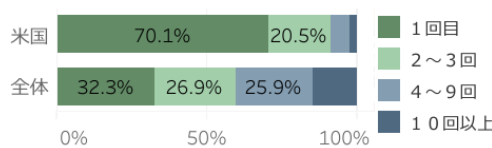
注：米国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：米国商務省国際貿易局、日本政府観光局（JNTO）

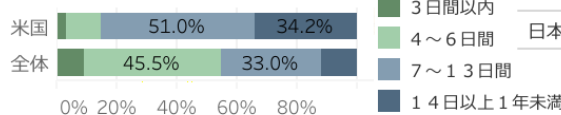
### ■世界各国・地域への米国人訪問者数ランキング（上位10ヶ国）

| 訪問先     | 2018年      | 2019年      | 2020年      | 2021年      | 2022年      |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| メキシコ    | 33,254,129 | 36,679,206 | 21,557,757 | 28,200,360 | 30,866,555 |
| カナダ     | 14,440,353 | 15,004,542 | 1,928,789  | 2,093,413  | 9,092,758  |
| 英国      | 4,571,476  | 4,498,754  |            | 663,467    | 4,586,786  |
| フランス    | 4,302,950  | 4,478,129  | 771,977    | 1,292,841  | 3,711,813  |
| イタリア    | 3,693,998  | 3,946,029  | 525,678    | 706,191    | 2,464,352  |
| スペイン    | 2,959,486  | 3,324,869  | 405,810    | 797,844    | 2,801,476  |
| ドイツ     | 2,969,190  | 3,057,411  | 594,071    | 701,120    | 2,320,501  |
| プエルトリコ  | 2,667,400  | 2,838,000  | 2,372,700  | 2,696,100  | 3,069,660  |
| 中国      | 2,483,554  | 2,406,657  |            |            |            |
| ドミニカ共和国 | 2,334,987  | 2,186,722  | 709,772    | 2,070,980  | 3,753,072  |

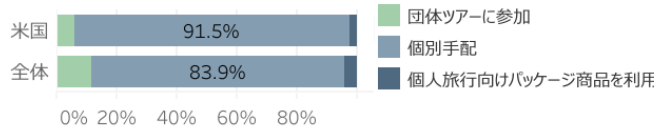
### ■2023年 訪日回数（観光・レジャー）



### ■2023年 滞在日数（観光・レジャー）



### ■2023年 旅行形態（観光・レジャー）



### ■アジア各国・地域への米国人訪問者数ランキング（上位5ヶ国＋日本）

| 訪問先   | 2018年     | 2019年     | 2020年   | 2021年   | 2022年   |
|-------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| 中国    | 2,483,554 | 2,406,657 |         |         |         |
| 日本    | 1,526,407 | 1,723,861 | 219,307 | 20,026  | 323,513 |
| タイ    | 1,122,088 | 1,165,950 | 212,669 | 43,458  |         |
| フィリピン | 1,034,471 | 1,064,440 | 211,816 | 39,326  | 492,699 |
| 韓国    | 967,992   | 1,044,038 | 220,417 | 204,025 | 543,648 |

|    | 2018年     | 2019年     | 2020年   | 2021年  | 2022年   |
|----|-----------|-----------|---------|--------|---------|
| 日本 | 1,526,407 | 1,723,861 | 219,307 | 20,026 | 323,513 |

2023年12月時点

### ■2023年 都道府県別訪問率（観光・レジャー）

| ランキング | 都道府県 | 訪問率 (%) |
|-------|------|---------|
| 1     | 東京都  | 93.9    |
| 2     | 京都府  | 54.8    |
| 3     | 千葉県  | 52.0    |
| 4     | 大阪府  | 48.9    |
| 5     | 神奈川県 | 17.4    |

観光庁「インバウンド消費動向調査」